
会 告 ・ 通 知

————— 平成 24 年 1 月号 会 告 ・ 通 知 目 次 —————

| | |
|---|----|
| ◇第一種研究会開催案内（平成 24 年 1 月 10 日～2 月 8 日） | 2 |
| ◇第二種研究会開催案内・発表募集案内 | 43 |
| ◇研究専門委員会新設 | |
| ・情報・システムサイエティ「サービスコンピューティング」研究専門委員会新設 | 46 |
| ◇2012 年総合大会開催案内 | 47 |
| ◇講演会・講習会・学術研究集会等 | |
| ・信越支部 講演会 | 48 |
| ・関西支部 電子情報通信学会関西支部第 17 回学生会研究発表講演会 | 48 |
| ・本会が協賛等のもの | 48 |
| ◇国際会議 | 48 |
| ◇受賞候補者募集等 | 49 |
| ◇求人欄 | 50 |
| ◇国際会議開催案内一覧 | 51 |
| ◇お知らせ | |
| ・シニア会員申請登録は 1 月 31 日が締切です！ | 51 |
| ・平成 24 年度会費お払込みのお願い | 51 |
| ・登録情報の変更・確認はマイページを御利用下さい | 51 |
| ・英文論文誌 B レターカテゴリ廃止について | 52 |
| ・平成 24 年 1 月号及び 2 月号和・英論文誌特集・小特集テーマ | 52 |
| ・平成 24 年度各研究会（第一種）開催予定 | 52 |
| ◇論文特集号原稿募集 | |
| ・ワイドバンドシステム小特集号（英文論文誌 A） | 63 |
| ・暗号と情報セキュリティ小特集号（英文論文誌 A） | 63 |
| ・システム数理科学と応用小特集号（英文論文誌 A） | 64 |
| ・無線通信のための符号化及び符号理論に基づく信号処理小特集号（英文論文誌 B） | 65 |
| ・ネットワーク社会の更なる発展を支える光通信技術論文特集号（和文論文誌 B） | 65 |
| ・マイクロ波論文（大学発）特集号（和文論文誌 C） | 66 |
| ・理論計算機科学～アルゴリズムと計算理論の新展開～小特集号（英文論文誌 D） | 67 |
| ・学生論文特集号（和文論文誌 D） | 67 |
| ◇論文特集号論文募集カレンダー | 69 |
| ◇IEICE Communications Express（ComEX）創刊のお知らせ | 71 |
| ◇FIT2012 第 11 回情報科学技術フォーラム論文講演募集予告 | 72 |
| ◇複写される方へ | 68 |
| ◇総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開について | 46 |

電子情報通信学会各研究会開催通知

第一種研究会

平成 24 年 1 月 10 日～2 月 8 日

◎基礎・境界ソサイエティ

| 研究会名 | 日 時 | | 会 場 | 告 頁 |
|---|--------------------|-----------------------------------|-------------------------|-----|
| 情 報 理 論 | 20 日(金) | 13 : 00～17 : 15 | 筑波大学・筑波キャンパス | 6 |
| V L S I 設 計 技 術 コ ン ピ ュ ー タ シ ス テ ム リ コ ン フ ィ ェ ャ ラ ブ ル シ ス テ ム | 25 日(水) 26 日(木) | 10 : 00～18 : 00 9 : 00～17 : 05 | 慶應義塾大学・日吉キャンパス | 8 |
| 非 線 形 問 題 | 23 日(月) 24 日(火) | 13 : 00～17 : 30 9 : 20～12 : 25 | 會津稽古堂 (会津若松市生涯学習総合センター) | 13 |
| 超 音 波 応 用 音 響 | 26 日(木) 27 日(金) | 10 : 30～17 : 45 9 : 45～16 : 30 | 関西大学・千里山キャンパス | 23 |
| シ ス テ ム 数 理 と 応 用 ソ フ ト ウ ェ ア サ イ エ ン ス | 26 日(木) 27 日(金) | 9 : 30～18 : 15 9 : 00～12 : 15 | 高知市文化プラザかるぼーと | 28 |
| 回 路 と シ ス テ ム | 19 日(木) 20 日(金) | 9 : 00～17 : 15 9 : 00～14 : 25 | 九州大学 | 31 |
| 信 号 処 理 無 線 通 信 シ ス テ ム | 26 日(木) 27 日(金) | 9 : 00～17 : 50 9 : 00～17 : 25 | 福岡大学・七隈キャンパス | 36 |
| 1 月 休 会 の 研 究 会 ; 信 頼 性 , 情 報 セ キ ュ リ テ ィ , ワ イ ド バ ン ド シ ス テ ム , 思 考 と 言 語 , 技 術 と 社 会 ・ 倫 理 , 安 全 性 , I T S , ス マ ー ト イ ン フ ォ メ デ ィ ア シ ス テ ム , イ メ ー ジ ・ メ デ ィ ア ・ ク オ リ テ ィ | | | | |

◎通信ソサイエティ

| 研究会名 | 日 時 | | 会 場 | 告 頁 |
|--|-------------------------------|--|---------------------|-----|
| 情 報 ネ ッ ト ワ ー ク | 26 日(木) 27 日(金) | 13 : 00～17 : 30 10 : 30～16 : 00 | 旭川ターミナルホテル | 11 |
| モ バ イ ル マ ル チ メ デ ィ ア 通 信 ア ド ホ ッ ク ネ ッ ト ワ ー ク ユ ビ キ タ ス ・ セ ン サ ネ ッ ト ワ ー ク | 19 日(木) 20 日(金) | 9 : 00～16 : 50 9 : 45～16 : 50 | 戸田屋 (鳥羽市) | 15 |
| 通 信 方 式 光 通 信 シ ス テ ム | 26 日(木) 27 日(金) | 9 : 00～17 : 50 9 : 00～16 : 05 | 伊勢市観光文化会館 | 18 |
| イ ン タ ー ネ ッ ト ア ー キ テ ク チ ャ | 18 日(水) | 11 : 50～18 : 15 | 和歌山市民会館 | 19 |
| コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ク オ リ テ ィ パ タ ー ン 認 識 ・ メ デ ィ ア 理 解 マ ル チ メ デ ィ ア ・ 仮 想 環 境 基 礎 | 19 日(木) 20 日(金) | 9 : 00～18 : 45 9 : 00～18 : 00 | 大阪電気通信大学・寝屋川駅前キャンパス | 20 |
| フ ォ ト ニ ッ ク ネ ッ ト ワ ー ク 電 磁 界 理 論 光 エ レ ク ト ロ ニ ッ ク ス レ ー ザ ・ 量 子 エ レ ク ト ロ ニ ッ ク ス エ レ ク ト ロ ニ ッ ク ス シ ミ ュ レ ー シ ョ ン マ イ ク ロ 波 ・ ミ リ 波 フ ォ ト ニ ッ ク ス | 26 日(木) 27 日(金) | 9 : 00～18 : 45 9 : 00～18 : 00 | 大阪大学・コンベンションセンター | 24 |
| 光 フ ァ イ バ 応 用 技 術 | 19 日(木) 20 日(金) | 13 : 30～18 : 10 9 : 00～12 : 10 | サンポートホール高松 | 27 |
| ア ン テ ナ ・ 伝 播 | 10 日(火) | 9 : 30～17 : 00 | Tenbusu Naha | 28 |
| ア ン テ ナ ・ 伝 播 | 18 日(水) 19 日(木) 20 日(金) | 9 : 45～17 : 00 9 : 35～17 : 00 9 : 55～16 : 50 | 九州工業大学・工学部・戸畑キャンパス | 29 |
| 情 報 通 信 マ ネ ジ メ ン ト ラ イ フ ィ ン テ リ ジ ェ ン ス と オ フ ィ ス 情 報 シ ス テ ム | 19 日(木) 20 日(金) | 11 : 00～17 : 20 10 : 00～17 : 10 | 崇城大学 | 31 |
| 電 子 通 信 エ ネ ル ギ ー 技 術 | 25 日(水) 26 日(木) | 9 : 55～16 : 55 9 : 00～14 : 15 | 長崎大学・文教キャンパス | 36 |
| 無 線 通 信 シ ス テ ム 信 号 処 理 | 26 日(木) 27 日(金) | 9 : 00～17 : 50 9 : 00～17 : 25 | 福岡大学・七隈キャンパス | 36 |
| 宇 宙 ・ 航 行 エ レ ク ト ロ ニ ッ ク ス | 26 日(木) 27 日(金) | 13 : 00～17 : 15 10 : 15～15 : 45 | 長崎県美術館 | 38 |

| | | | | |
|---------------|------------------|---------------------------|------------------|----|
| ネットワークシステム | 26日(木) 27日(金) | 8:40~18:40 8:40~17:20 | 琉球大学・工学部・千原キャンパス | 39 |
| ソフトウェア無線 | 26日(木) 27日(金) | 13:00~18:05 8:30~17:10 | 霧島ホテル | 40 |
| 環境電磁工学 | 27日(金) | 9:00~17:40 | 九州大学・伊都キャンパス | 41 |
| 1月休会の研究会；衛星通信 | | | | |

◎エレクトロニクスソサイエティ

| 研究会名 | 日時 | | 会場 | 告頁 |
|---|------------------|----------------------------|-------------------|----|
| 電子デバイス マイクロ波 | 11日(水) 12日(木) | 10:10~16:50 10:10~16:50 | 機械振興会館 | 5 |
| 集積回路 | 19日(木) 20日(金) | 10:00~18:20 9:30~16:50 | 電気通信大学 | 6 |
| 機構デバイス | 20日(金) | 13:30~15:20 | レンタルホール湘南平塚 | 7 |
| 超伝導エレクトロニクス | 26日(木) | 10:30~15:10 | 機械振興会館 | 10 |
| シリコン材料・デバイス | 27日(金) | 9:30~17:00 | 機械振興会館 | 10 |
| 電子デバイス シリコン材料・デバイス | 2月7日(火) 8日(水) | 13:30~17:20 9:30~14:40 | 北海道大学・百年記念会館 | 12 |
| 電子ディスプレイ | 27日(金) 28日(土) | 13:30~17:00 9:30~14:30 | 秋田大学・手形キャンパス | 14 |
| 有機エレクトロニクス | 20日(金) | 10:00~16:40 | 名古屋大学・IB電子情報館 | 17 |
| 磁気記録・情報ストレージ | 19日(木) 20日(金) | 13:00~17:00 9:00~12:00 | パナソニック企業年金基金・松心会館 | 22 |
| 電磁界理論 光エレクトロニクス レーザ・量子エレクトロニクス エレクトロニクスシミュレーション マイクロ波・ミリ波フォトンクス フォトニックネットワーク | 26日(木) 27日(金) | 9:00~18:45 9:00~18:00 | 大阪大学・コンベンションセンター | 24 |
| 1月休会の研究会；電子部品・材料 | | | | |

◎情報・システムソサイエティ

| 研究会名 | 日時 | | 会場 | 告頁 |
|---|------------------|----------------------------|---------------------|----|
| 教育工学 | 21日(土) | 10:00~16:55 | 千葉工業大学 | 7 |
| 知能ソフトウェア工学 | 23日(月) 24日(火) | 10:25~17:00 10:00~17:10 | 機械振興会館 | 8 |
| コンピュータシステム リコンフィギャラブルシステム VLSI設計技術 | 25日(水) 26日(木) | 10:00~18:00 9:00~17:05 | 慶應義塾大学・日吉キャンパス | 8 |
| ニューロコンピューティング | 26日(木) 27日(金) | 9:00~16:05 9:30~16:15 | 公立はこだて未来大学 | 11 |
| パターン認識・メディア理解 コミュニケーションクオリティ マルチメディア・仮想環境基礎 | 19日(木) 20日(金) | 9:00~18:45 9:00~18:00 | 大阪電気通信大学・寝屋川駅前キャンパス | 20 |
| ソフトウェアサイエンス システム数理と応用 | 26日(木) 27日(金) | 9:30~18:15 9:00~12:15 | 高知市文化プラザかるぼーと | 28 |
| ライフインテリジェンスとオフィス情報システム 情報通信マネジメント | 19日(木) 20日(金) | 11:00~17:20 10:00~17:10 | 崇城大学 | 31 |
| 医用画像 | 19日(木) 20日(金) | 9:50~17:30 9:15~16:25 | 那覇市ぶんかテンプス館 | 32 |
| MEとバイオサイバネティクス | 27日(金) 28日(土) | 9:00~17:35 9:30~17:40 | 九州大学・病院キャンパス | 42 |
| 1月休会の研究会；画像工学，言語理解とコミュニケーション，コンピューテーション，人工知能と知識処理，データ工学，ディペンダブルコンピューティング，音声，ソフトウェアインタプライズモデリング，情報通信システムセキュリティ，情報論的学習理論と機械学習，マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント，クラウドネットワークロボット | | | | |

◎ヒューマンコミュニケーショングループ

| 研究会名 | 日 | 時 | 会 場 | 告頁 |
|---|------------------|--------------------------|---------------------|----|
| ヒューマンコミュニケーション基礎 | 20日(金) | 10:00~17:15 | ウイंकあいち | 17 |
| 福 祉 情 報 工 学 | 27日(金) 28日(土) | (未定) | 名古屋工業大学 | 19 |
| マルチメディア・仮想環境基礎 コミュニケーションクオリティ パターン認識・メディア理解 | 19日(木) 20日(金) | 9:00~18:45 9:00~18:00 | 大阪電気通信大学・寝屋川駅前キャンパス | 20 |
| 1月休会の研究会；ヒューマン情報処理 | | | | |

◇第二種研究会開催案内

| | | | |
|---------------------------|----------------|------------------------|----|
| 次世代ナノ技術に関する時限研究専門委員会主催研究会 | 1月16日(月) | 産業技術総合研究所・臨海副都心センター | 43 |
| 平成23年度第3回高信頼制御通信研究会 | 1月27日(金) | 奈良県新公会堂 | 44 |
| 第3回集積光デバイスと応用技術研究会 | 2月2日(木), 3日(金) | 古河電工健康保険組合・逗子保養所研修センター | 44 |
| テラヘルツ応用システム研究会 | 2月10日(金) | 情報通信研究機構 | 45 |

◇第二種研究会発表募集案内

| | | | |
|-------------------|---------|-----------------|----|
| 第47回機能集積情報システム研究会 | 3月9日(金) | 金沢工業大学・扇が丘キャンパス | 45 |
|-------------------|---------|-----------------|----|

★電子デバイス研究会 (ED)

専門委員長 加地 徹 副委員長 原 直紀

幹事 津田邦男・須原理彦 幹事補佐 上田哲三・葛西誠也

★マイクロ波研究会 (MW)

専門委員長 大平 孝

副委員長 黒木太司・中津川征士・川上憲司

幹事 西川健二郎・加屋野博幸 幹事補佐 佐藤 圭・鴨田浩和

日時 1月11日(水) 10:10~16:50

12日(木) 10:10~16:50

会場 機械振興会館地下3階研修1号室(港区芝公園3-5-8. 東京メトロ日比谷線:神谷町駅下車徒歩10分, JR:浜松町駅下車徒歩20分, 都営地下鉄三田線:御成門駅・大江戸線:赤羽橋駅下車徒歩10分. http://www.jcmanet.or.jp/gaiyo/map_kaikan.htm TEL [03] 3434-8211)

議題 化合物半導体デバイス及び超高周波デバイス/一般

11日午前

- カナダ・トロントとハワイでの宇宙太陽発電衛星用マイクロ波ビーム制御実験 ○賀谷信幸・岩下真士(神戸大)
- マイクロ波帯における高損失誘電材料を用いた超薄型一層電波吸収体の基礎検討 ○藤田敬人・津田祐己・安住壮紀・橋本 修(青学大)・和野隆司・福田佑紀(日東電工)
- CMOSプロセスの使用を想定したLPFとHPFの組み合わせによる77GHz帯BPFに関する一検討 ○谷井宏成・和田光司(電通大)
- 多層型SIWデュアルモード共振器を利用した準ミリ波帯域通過フィルタの設計 ○飛田和哉・馬 哲旺(埼玉大)

11日午後

- ミリ波帯導波管/マイクロストリップライン変換器の広帯域化 ○鈴木俊達・内海要三・森田 登・平栗健史(日本工大)・横田宗大・亀井利久(防衛大)・千野聖純・青木生朗・鈴木洋介(キョーム)
- ダイレクトサンプリングミキサ方式WLAN受信機の設計手法 ○齊藤典昭・森下陽平・森田忠士(パソニック)
- フォトン・リサイクリングGaN p+nダイオード ○望月和浩(日立)・野本一貴・畠山義智・片寄秀雄(法政大)・三島友義・金田直樹・土屋忠巖(日立電線)・寺野昭久・石垣隆士・土屋朋信・土屋龍太(日立)・中村 徹(法政大)
- 広帯域増幅器のモデリング及び高調波歪み補償 ○Nhu Quyen Duong・荒木純道(東工大)・山田貴之・加保貴奈・山口 陽・赤羽和徳・上原一浩(NTT)

- 包絡線パルス幅変調信号を入力した時のE級電力増幅器の歪み補償 ○藤岡翔太・榎田洋太郎(東京理科大)・田久 修(信州大)
- 多段バランス型RF整流回路 ○山田康太・荒川 孝・武田政宗・植村 順(マテ電工)・榊原久二男・菊間信良(名工大)・大平 孝(豊橋技科大)
- 〔特別講演〕単構造空間とベクトルポテンシャル 黒川兼行(元富士通研)

12日午前

- InGaAs MOSFETにおけるソース充電時間の検討 ○宮本恭幸・山田真之・内田 建(東工大)

- MOCVD成長狭バンドギャップInGaAsSbベースを有する低ターン・オン電圧動作ヘテロ接合バイポーラトランジスタ

○星 拓也・杉山弘樹・横山春喜・栗島賢二・井田 実(NTT)

- 0.5- μm InP HBTによる光通信用60-GS/s D/A変換器

○長谷宗彦・野坂秀之・佐野公一・村田浩一・栗島賢二・井田 実(NTT)

- Components in 0.5- μm -emitter-width InP-HBT Technology for High-Speed and Low-Power Applications

○Yves Bouvier・Munehiko Nagatani・Kimikazu Sano・Koichi Murata・Kenji Kurishima・Minoru Ida(NTT)

12日午後(12:50~)

- 微細AlGaIn/GaN HEMTの耐圧特性に与えるバッファ層内不純物とフィールドプレートの影響の解析 ○小野寺 啓・中島 敦・堀尾和重(芝浦工大)

- Step-stress Reliability Studies on AlGaIn/GaN HEMTs on Silicon with Buffer Thickness Dependence

○Amalraj Frank Wilson・Akio Wakejima・Takashi Egawa(Nagoya Inst. of Tech.)

- AlGaIn チャネル HEMT の高温高周波特性評価

○畑野舞子(福井大)・矢船憲成(シャープ)・徳田博邦(福井大)・山本喜之・橋本 信・秋田勝史(住友電工)・葛原正明(福井大)

- GaN及びAlGaIn/GaN上に形成した絶縁ゲート構造への表面処理の影響 ○堀 祐臣・金 聖植(北大)・橋詰 保(北大/JST)

- P型障壁制御層を有する大電流・高耐圧GaNマルチジャンクションダイオード ○柴田大輔・海原一裕・村田智洋・山田康博・森田竜夫・按田義治・石田昌宏・石田秀俊・上田哲三・田中 毅・上田大助(パソニック)

- L/S帯高出力GaN HEMTの耐久性及び信頼性

○菊池 憲・八巻史一・井上和孝(住友電工)・西 眞弘・生松 均・宇井範彦・蛭原 要・新田 敦(住友電工デバイス・イノベーション)・佐野征吾(住友電工)

- Si基板上AlGaIn/GaN HFETの高出力・高利得化に向けたフィールドプレート設計 ○中澤敏志・鶴見直大・西嶋将明・按田義治・石田昌宏・上田哲三・田中 毅(パソニック)

- X帯30W級高利得高効率小型PAモジュールの開発

○森谷 修・黒田健太・松下景一・副島知英・高木一考・高塚真治(東芝)

- X帯200W AlGaIn/GaN HEMTの開発 ○西原 信・山本高史(住友電工デバイス・イノベーション)・水野慎也・佐野征吾(住友電工)・長谷川裕一(住友電工デバイス・イノベーション)

- ◆IEEE MTT-S Japan Chapter, IEEE MTT-S Kansai Chapter 協賛 ☆ED研究会今後の予定

2月7日(火), 8日(水) 北大百年記念会館 テーマ:機能ナノデバイス及び関連技術

- 2月7日(火), 8日(水) 北大百年記念会館 テーマ:機能ナノデバイス及び関連技術

- 2月7日(火), 8日(水) 北大百年記念会館 テーマ:機能ナノデバイス及び関連技術

- 2月7日(火), 8日(水) 北大百年記念会館 テーマ:機能ナノデバイス及び関連技術

- 2月7日(火), 8日(水) 北大百年記念会館 テーマ:機能ナノデバイス及び関連技術

- 2月7日(火), 8日(水) 北大百年記念会館 テーマ:機能ナノデバイス及び関連技術

- 2月7日(火), 8日(水) 北大百年記念会館 テーマ:機能ナノデバイス及び関連技術

- 2月7日(火), 8日(水) 北大百年記念会館 テーマ:機能ナノデバイス及び関連技術

TEL [075] 956-8273, FAX [075] 956-9110

E-mail : ueda.tetsuzo@jp.panasonic.com

葛西誠也 (北大)

TEL [011] 706-6509, FAX [011] 716-6004

E-mail : kasai@rciqe.hokudai.ac.jp

☆MW 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

3月1日(木), 2日(金) 佐賀大 [1月13日(金)] テーマ:
マイクロ波一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

佐藤 圭 (NTTドコモ)

TEL [046] 840-6230, FAX [046] 840-3789

E-mail : satokei@nttdocomo.co.jp

西川健二郎 (鹿児島大)

E-mail : nisikawa@ieee.org

★集積回路研究会 (ICD)

専門委員長 吉本雅彦 副委員長 山村 毅

幹事 鈴木弘明・松岡俊匡

幹事補佐 竹内 健・渡辺 理・土谷 亮

日時 1月19日(木) 10:00~18:20

20日(金) 9:30~16:50

会場 電気通信大学東3号館(総合研究棟)3階301室(マルチ
メディアホール)(調布市調布ヶ丘1-5-1. <http://www.uec.ac.jp/about/profile/access/> TEL [042] 443-5640 近藤正章)

議題 集積回路とアーキテクチャの協創—ノーマリオフコン
ピューティングによる低消費電力化への挑戦—

19日午前 低消費電力技術

1. データ保持性を利用したキャッシュのパワーゲーティング手
法 ○金 均東・武田清大・三輪 忍・中村 宏(東大)

2. アイドル時のキャッシュ電源遮断による性能ペナルティとそ
の削減手法 ○有間英志・薦田登志矢・三輪 忍・
中村 宏(東大)

ICD-3. MTJ 素子を用いた高密度・低電力不揮発 Logic Element
の構成 ○鈴木大輔・羽生貴弘(東北大)

招待講演

ICD-4. [招待講演] スケーリング則から見た低電力技術とその
方向 石橋孝一郎(電通大)

19日午後 招待講演 (13:30~)

5. [招待講演] ノーマリオフコンピューティング課題と挑戦
清水 徹(ルネサスエレクトロニクス)

ICD-6. [招待講演] ノーマリオフプロセッサ実現に向けた不揮
発メモリの課題と展望—『不揮発ロジックのジレンマ』を如何
に解決するか?— ○藤田 忍・安部恵子・野村久美子・
奥田博明(東芝)

7. [招待講演] 省電力計算機アーキテクチャと OS の資源管理
並木美太郎(東京農工大)

パネルセッション

ICD-8. [パネル討論] ノーマリオフコンピューティングによる
低消費電力化への挑戦 中村 宏(東大)

オーガナイザ・モデレータ: 中村 宏(東大)

パネリスト: 石橋孝一郎(電通大)・清水 徹(ルネサスエレクトロニクス)・
藤田 忍(東芝)・並木美太郎(東京農工大)

20日午前 プロセッサ・アーキテクチャ

1. 仮想リオーダー・バッファ方式におけるロード/ストア・
キューの単純化 ○稲垣貴範・塩谷亮太・安藤秀樹(名大)

2. L1 データ・キャッシュ・ミスに着目した命令発行キューの動
的リサイジング ○有松 優・塩谷亮太・安藤秀樹(名大)

ICD-3. 7T/14T SRAM を用いた適応的信頼性を有する連想度可
変キャッシュ構造 ○鄭 晋旭・中田洋平・奥村俊介・
川口 博・吉本雅彦(神戸大)

要素技術

ICD-4. 積層方式 Chain 構造 PRAM の読出 ○加藤 翔・
渡辺重佳(湘南工科大)

5. 改良カナリア FF を利用した高信頼性 VLSI 設計手法の提案
○矢野 憲・佐藤寿倫・林田隆則・吉木崇人(福大)

20日午後 招待講演 (13:10~)

ICD-6. [招待講演] 高性能デジタル分野の技術動向
林 宏雄(東芝)

評価

7. FPGA を用いたメニーコア・アーキテクチャ SMYLEref の評
価環境の構築 ○グエン チュオン ソン・雷・
近藤正章(電通大)・平尾智也・井上弘士(九大)

8. アーキテクチャレベルシミュレータにおける消費電力推定の
研究 ○木村光隆・寺内 衛・北村俊明(広島市大)

ICD-9. 同期/非同期ハイブリッドアーキテクチャに基づく低消
費電力 FPGA の評価 ○小松与志也・張山昌論・
石原翔太・土屋亮人・亀山充隆(東北大)

ICD-10. A 115 mW 1 Gbps QC-LDPC Decoder ASIC for
WiMAX in 65 nm CMOS ○Xiao Peng・Zhixiang Chen・
Xiongxin Zhao・Dajiang Zhou・Satoshi Goto (Waseda Univ.)

ICD-11. 実時間ロボット制御のための75変数MIQP問題ソル
バープロセッサ ○西野允雅・野口紘希・嶋井優介・
和泉慎太郎・川口 博・吉本雅彦(神戸大)

◆情報処理学会; 計算機アーキテクチャ研究会連催. IEEE-
SSCS Japan/Kansai Chapter 共催

◎19日研究会終了後, 懇親会を予定していますので御参加下さ
い. 懇親会参加を希望される方は1月11日までに幹事渡辺

(下記参照) まで御連絡下さい。

☆ICD 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

3月26日(月) (予定) 阪大銀杏会館 [1月12日(木)]
テーマ: 最先端の脳科学と集積化技術の融合

4月23日(月), 24日(火) つなぎ温泉清温荘(岩手県) [未定]
テーマ: メモリ(DRAM, SRAM, フラッシュ, 新規メモリ) 技術

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

渡辺 理(東芝)

TEL [044] 549-2280, FAX [044] 520-1806
E-mail : osamu7.watanabe@toshiba.co.jp

★情報理論研究会 (IT)

専門委員長 鎌部 浩 副委員長 大橋正良
幹事 古賀弘樹・井坂元彦 幹事補佐 桑門秀典

日時 1月20日(金) 13:00~17:15
会場 筑波大学筑波キャンパス総合研究棟 B 公開講義室(つく

ば市天王台1-1-1. つくばエクスプレス線つくば駅からバス10分「第一エリア前」下車. または JR 東京駅八重洲南口から「筑波大学」行き「学会館前」下車. http://www.tsukuba.ac.jp/access/tsukuba_access.html TEL [029] 853-6476)

議題

1. [招待講演] 符号理論と理論計算機科学の接点—グラフのカット問題を中心として— 和田山 正 (名工大)
2. pure involution 置換符号に基づく新しい置換符号について ○不破和広・和田山 正 (名工大)
3. K-ユーザ多重アクセス消失通信路のための空間結合符号 ○辻本亮之・笠井健太・坂庭好一 (東工大)
4. バイアス項を導入した3ビットBF復号法の性能比較 ○小野 洋・鎌部 浩 (岐阜大)
5. 対称通信路におけるPolar符号の動的計画法を用いた符号構成に関する考察 ○鈴木佑輔・岩田賢一 (福井大)
6. Performance Evaluation of Index-Less Flash Codes for Non-Uniform Write Operations Yuichi Kaji (NAIST)
7. 増分分解と算術符号の組合せによる副情報を伴う情報源符号化 ○浜田大祐・葛岡成晃 (和歌山大)
8. CSE 無ひずみデータ圧縮法の情報理論的解釈 横尾英俊 (群馬大)

◆IEEE IT Society Japan Chapter 共催

☆IT 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

3月1日(木), 2日(金) 慶大[未定] テーマ:一般(情報通信基礎サブソサイエティとの合同研究会)

[発表申込先] 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい.

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

[問合せ先]

情報理論研究会幹事 E-mail: it-sec@mail.ieice.org

★機構デバイス研究会 (EMD)

専門委員長 吉田 清 副委員長 長谷川 誠・関川純哉

幹事 久我宣裕・服部康弘 幹事補佐 阿部宜輝

日時 1月20日(金) 13:30~15:20

会場 レンタルホール湘南平塚スカイルーム(平塚市宝町5-27 GAUDIビル4階. JR 東海道線平塚駅北口より徒歩1分. <http://www.gaudi-jp.com/hall/access.html> TEL [0463] 22-5541)

議題

1. ハンマリング加振機構及び微摺動機構による電気接点の劣化現象—コネクタ1ピンの微摺動機構による可視化— ○和田真一・越田圭治・川述真裕・サインダーノロプリン・益田直樹・石黒 明・柳 国男・久保田洋彰 (TMCシステム)・澤 孝一郎 (日本工大)
2. 直流48V回路における開離時アークの移動範囲と曲率半径の関係 ○杉浦 徹・関川純哉・窪野隆能 (静岡大)
3. 開離時アーク後の接点表面における領域ごとの表面状態と接触抵抗の速度依存性 ○宮司勝吉・関川純哉・窪野隆能 (静岡大)
4. 定在波同軸管を用いたプリント基板のPIM特性評価 ○星野啓大・石橋大二郎・齋藤健介・久我宣裕 (横浜国大)

☆EMD 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

2月17日(金) オムロンラーニングセンタ[締切済] テーマ:機構デバイスの信頼性, 信頼性一般(継電器・コンタクトテクノロジー研究会, IEEE CPMT JAPAN 共催)

第一種研究会開催案内

3月2日(金) 玉川大[1月16日(月)] テーマ:卒論・修論特集(ショートノート)

[発表申込先] 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい.

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

[問合せ先]

長谷川 誠 (千歳科大)

TEL & FAX [0123] 27-6059

E-mail: hasegawa@photon.chitose.ac.jp

関川純哉 (静岡大)

TEL & FAX [053] 478-1618

E-mail: tjsekik@ipc.shizuoka.ac.jp

服部康弘 (住友電装)

TEL [059] 382-8970, FAX [059] 382-8591

E-mail: yasuihiro-hattori@gate.sws.co.jp

◎EMD 研究会に関する最新の情報は, <http://www.ieice.org/es/emd/jpn/>を御参照下さい.

★教育工学研究会 (ET)

専門委員長 中村直人 副委員長 宮寺庸造

幹事 小尻智子・渡辺健次 幹事補佐 森田裕介

日時 1月21日(土) 10:00~16:55

会場 千葉工業大学(習志野市津田沼2-17-1 TEL [043] 433-0512 中村直人)

議題 Web 技術と先端的学習支援/一般

1. LAN 管理者教育におけるクラウド型学習支援環境の開発

○中川泰宏・浮貝雅裕 (千葉工大)

2. Web ベース学習支援環境 MeSH によるプログラミング学習支援 ○須田宇宙・増田孝博 (千葉工大)

3. パソコンエクササイズによる「社会人基礎力」育成の検討

○関水浩一 (東芝原子力エンジニアリングサービス)・兼本 茂・

渡辺孝信・川田悦次 (会津大)・犬塚文雄 (横浜国大)

4. 学生個々の授業参加意識の遷移タイプを用いた学習者特性の把握 ○宇治典貞・横山 宏・森石峰一・稲浦 綾・

魚井宏高 (阪電通大)

午後

5. 無線 LAN 対応の携帯情報端末や多機能情報端末による先端的学習支援—iPod touch や iPad を使った教育アプリケーションの開発— ○笹岡勇佑・今井一雅・岡田直也 (高知高専)

6. 高専版組込みスキル標準の開発と実践 ○杉本和英・野口健太郎・山田親稔 (沖縄高専)・奥那嶺尚弘 (仙台高専)

7. 障害のある子どもの教育において ICT はどのように用いられてきたか 榎方哲弥 (特総研)

8. 高等教育機関に在籍する聴覚障害学生に対する支援の一考察 ○杉中拓央 (早大)・土井幸輝 (特総研)・畠山卓朗 (早大)

9. Ruby を用いた組織内行事推進支援システム開発のインターンシップ事例 ○岡田朋也・伊永洋輔・濱田雄治・

池田大貴・清水淳基・竹林辰弥・船曳信生 (岡山大)・

石原洋之・佐藤淳行・大鳥善教・河本崇幸・

太田真由美 (シナカマ)

10. 双方向授業のための CMS モジュール

飯高敏和 (熊本学園大)

11. Imposing Discipline of Good Students to Poor Students to Improve Learning Behavior ○Dinh Thi Dong Phuong・

Hiromitsu Shimakawa (Ritsumeikan Univ.)

12. 地域コンソーシアム AWBC での連携教育を目指した e ラーニング・システムの構築 ○森川 一・小山貴夫 (旭川高専)
13. 制御工学 e ラーニング・システムの導入と高専学生の意識調査 森川 一 (旭川高専)

◆IEEE Education Society Japan Chapter 協賛

☆ET 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

3月10日(土) 香川高専 [1月12日(木)] テーマ: 主体的学習支援環境/一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

渡辺健次 (佐賀大)

TEL [0952] 28-8828 E-mail: watanabe@is.saga-u.ac.jp

◎原稿締切日までに原稿がアップロードされない場合には、自動的に発表キャンセルとなります。原稿がない発表は認めていませんので御注意下さい。

★知能ソフトウェア工学研究会 (KBSE)

専門委員長 中谷多哉子 副委員長 松浦佐江子

幹事 阿萬裕久・白銀純子 幹事補佐 樋山淳雄・猿渡卓也

日時 1月23日(月) 10:25~17:00

24日(火) 10:00~17:10

会場 機械振興会館地下3階1号室

議題

23日午前

- 人工知能技術を用いた多層型 GMDH-type ニューラルネットワークによる肝臓癌の医用画像診断 ○近藤 正・上野淳二 (徳島大)
- ニューロン構造の自己選択機能を備えたフィードバック GMDH-type ニューラルネットワークによる肺癌の医用画像診断 ○近藤 正・上野淳二 (徳島大)

23日午後 (12:50~)

- 要件定義書へのビジネスルールの記述方法に関する事例調査と考察 ○佐藤 学・斎藤 忍・萩原 淳 (NTT テク)
- 要件定義書の品質とプロジェクトにおける問題の相関分析 ○竹内睦貴・並川 顕・斎藤 忍・平岡正寿・木谷 強 (NTT テク)
- UML シナリオを活用したインタラクションの実現性の検査手法 ○小形真平・松浦佐江子 (芝浦工大)
- 原因指向脆弱性モデルに基づく Web アプリケーションのセキュリティ分析支援 ○西野裕範・阪井隼也・海谷治彦・海尻賢二 (信州大)
- サブモデルの再利用とメトリクスによる i*SD モデルの改訂支援 ○森田峻輔・海谷治彦・海尻賢二 (信州大)
- 開発現場を想定したモデル検査に基づくプログラムの欠陥抽出手法 ○青木善貴 (日本エスエス)・松浦佐江子 (芝浦工大)

24日午前

- 要求表に基づくデバングビリティ情報作成方法 ○猿渡卓也 (名大/NTT テク)・山本修一郎 (名大)
- 受動的コードレビューのためのフローチャート自動生成手法 ○廣瀬義実・服部 峻 (東京工科大)・久保村千明 (山野美容芸術短大)・亀田弘之 (東京工科大)
- オブジェクト指向におけるクラス図の認知言語学的理解 ○金田重郎・世古龍郎 (同志社大)

24日午後

- セマンティックソーシャルネットワークの構築とその応用 ○藤田耕治・鍾 寧 (前橋工科大)
- fMRI・DTI データによる複雑ネットワーク視点を用いた人間の問題解決プロセス理解に関する研究 ○大柳 翔・鍾 寧 (前橋工科大)
- 人間の hoch 認知機能理解のための ACT-R モデリングの最適化に関する研究 ○岩出智史・鍾 寧 (前橋工科大)
- 高品質調達仕様書のための意見書を用いた品質モデルの評価 ○中來田秀樹・中谷多哉子 (筑波大)
- 持続的情報連携サービス分析方法論の構築について 山本修一郎 (名大)
- ソフトウェア品質向上のための設計仕様のメタモデル構築 ○元山 厚・中谷多哉子 (筑波大)

☆KBSE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

3月15日(木), 16日(金) 名大 [未定] テーマ: 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

松浦佐江子 (芝浦工大)

E-mail: matsuura@se.shibaura-it.ac.jp

◎最新の情報は KBSE 研究会ホームページで御確認下さい。

<http://www.sayo.se.shibaura-it.ac.jp/kbse/>

★VLSI 設計技術研究会 (VLD)

専門委員長 宇佐美公良 副委員長 山田晃久

幹事 小林和淑・竹中 崇

★コンピュータシステム研究会 (CPSY)

専門委員長 天野英晴 副委員長 安里 彰・吉永 努

幹事 入江英嗣・中野浩嗣 幹事補佐 井上浩明

★リコンフィギャラブルシステム研究会 (RECONF)

専門委員長 安永守利 副委員長 京 昭倫・弘中哲夫

幹事 堀 洋平・渡邊誠也 幹事補佐 山口佳樹

日時 1月25日(水) 10:00~18:00

26日(木) 9:00~17:05

会場 慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎2階大会議室 (横浜市港北区日吉4-1-1. 東急東横線, 東急目黒線, 横浜市営地下鉄グリーンライン: 日吉駅より徒歩1分. <http://www.keio.ac.jp/ja/access/hiyoshi.html> TEL [045] 560-1063 天野英晴)

議題 FPGA 応用及び一般

25日午前 FPGA 応用

- VLD-1. WEB アプリに用いる FPGA 用 IP: TCP/IP 回路
○藤田琴子・ベルグシュタイン ナダヴ・田向 権・関根優年 (東京農工大)
- VLD-2. シフトレジスタを用いた音声合成回路における声道モデル
○真鍋慧太・上垣利果・田向 権・関根優年 (東京農工大)
- VLD-3. 子音母音認識システムにおける音声前処理回路
○岡本佳太・田向 権・関根優年 (東京農工大)
- VLD-4. 同期シフトデータ転送による2次元アレイ型トラッキングハードウェア
○内苑孝俊・大作一矢・露木明宣・Zhu Li・富岡洋一・北澤仁志 (東京農工大)

VLD-5. 階層型画像特徴の学習機能を有する画像認識システム
○有泉政博・小笠原 麦・田向 権・関根優年(東京農工大)
25日午後 再構成処理とリアルタイム処理(13:05~)
VLD-6. Logarithmic converter using symmetrical linear difference and LUT-based approximation
Van-Phuc Hoang (Univ. of Electro-Comm.)
RECONF-7. クラスタ分割を表現する MTMDD for CF を模擬する多値決定グラフマシンについて
○中原啓貴(鹿児島大)・笹尾 勤・松浦宗寛(九工大)
CPSY-8. 優先度付き SMT プロセッサにおけるリアルタイム処理用 IPC 制御機構
○金田健佑・松本康平・山崎信行(慶大)
CPSY-9. ITRON 仕様 OS のマルチスレッドプロセッサ拡張
○上田陸平・藤井 啓・千代浩之・松谷宏紀・山崎信行(慶大)
ネットワーク応用
CPSY-10. 多電源可変パイプラインルータにおける電源ドメインサイズの解析
○中村武雄・松谷宏紀(慶大)・鯉淵道紘(NII)・宇佐美公良(芝浦工大)・天野英晴(慶大)
RECONF-11. インピーダンス・リコンフィギュレーションによる超高速信号の信号品質改善の提案
○安永守利・島田弘基・秋田翔平・安達拓也・石嶋秀敏・栗原佑輔(筑波大)
CPSY-12. トラフィック解析によるオンチップルータのバンド幅制御
○山崎大輝・山崎信行・松谷宏紀(慶大)
動的再構成とロボット
RECONF-13. リコンフィギュラブルプロセッサ STP を用いた省電力ネットワークポロジの高速近似解法
○平尾明子・竹下秀俊・米津 遥・岡本 聡・山中直明(慶大)
RECONF-14. マルチメディア処理に向けたリコンフィギュラブルプロセッサの実現と評価
○林 明日香・山本修一郎・前島英雄(東工大)
VLD-15. 動的再構成可能な SU(3) スピン回路を用いたロボット制御中枢の設計
○山崎優作・鈴木拓也・田向 権・関根優年(東京農工大)
VLD-16. 移動型ロボットに統合する知能処理回路
○鈴木拓也・山崎優作・田向 権・関根優年(東京農工大)
26日午前 高位合成と演算応用(1)
VLD-1. アセンブリコードを中間表現とする高位合成における関数の併合
○高島史明・石浦菜岐佐・織野真琴(関西学院大)・富山宏之(立命館大)・神原弘之(京都高度技研)
VLD-2. ソフトウェアと再リンク可能なハードウェアの高位合成
○織野真琴・石浦菜岐佐(関西学院大)・富山宏之(立命館大)・高島史明(関西学院大)・神原弘之(京都高度技研)
RECONF-3. UML モデル図からハードウェアを設計する手法の実証実験と評価
○狩野大樹・山崎亮太(東海大)・清水尚彦(東海大/IP ARCH)
高位合成と演算応用(2)
VLD-4. Port Assignment for Interconnect Reduction in High-Level Synthesis
○Hao Cong・Song Chen・Takeshi Yoshimura (Waseda Univ.)
VLD-5. SD 数演算を用いた剰余数系-重み数系変換アルゴリズム
○新井聖哉・田中勇樹・魏 書剛(群馬大)
VLD-6. 2分木構造の剰余 SD 数演算を用いた算術演算エラー検

出回路
○劉 茜・茂木和弘・魏 書剛(群馬大)
26日午後 GPU と HPC (12:40~)
CPSY-7. CUDA 実装された AES のための性能予測モデルの検討
○西川尚紀・岩井啓輔・黒川恭一(防衛大)
RECONF-8. GPU Computing における電力性能向上のための細粒度な動的消費電力最適化手法の開発
○村崎 誠・濱田 剛・Felipe A. Cruz (長崎大)
CPSY-9. Ruby を用いた分散 GPGPU フレームワーク『ParaRuby』の開発と評価
○中村 涼・吉見真聡・三木光範(同志社大)
CPSY-10. 分散 PC グリッドシステムの実装とその評価
○梅本潤志・榎原博之・于 文龍(関西大)
VLD-11. 3次元 FPGA アレイ HPC システムへの数値演算回路の実装評価
○高橋健一・黎 江・集 祐介・嶋崎俊輔・田向 権・関根優年(東京農工大)
RECONF-12. PC-FPGA 複合クラスタにおける部分再構成とその応用
○尾崎 亮・上嶋 明・小畑正貴(岡山理科大)
再構成デバイス
RECONF-13. 再構成デバイス MPLD を対象とした配置配線の改善手法の提案と評価
○埴本 謙・川端英之・稲木雅人・谷川一哉・弘中哲夫(広島市大)・佐藤正幸・石黒 隆(太陽誘電)・北村俊明・中村政智(広島市大)
RECONF-14. 0.18 μ m プロセス光再構成型ゲートアレイ VLSI
○渡邊貴弘・渡邊 実(静岡大)
RECONF-15. 再構成速度調整アナログビットを含む光再構成型ゲートアレイのレーザアレイ故障からの復旧試験
○余座貴志・渡邊 実(静岡大)
VLD-16. MOS ダブルゲート/CNT トランジスタを用いた再構成可能な論理回路とパターン面積の検討
○林 隆程・渡辺重佳(湘南工科大)

◆情報処理学会；システム LSI 設計技術研究会連催

◎25日研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。参加費は、社会人5,000円、学生3,000円です。参加される場合は、1月13日までに、<https://docs.google.com/spreadsheet/viewform?formkey=dF9uaXICQU1DVzkkUkRJOExuMlpFUwC6MQ&ifq> からお申し込み下さい。メールを頂く場合は、vld-party1201@vlsi.es.kit.ac.jp まで下記のフォームでメールを御送り下さい。

代表者氏名：, 所属：, 電子メール：, 社会人/学生：社会人・学生, 参加者：, 社会人/学生：社会人・学生
(必要に応じて参加者を増やして下さい。)

☆VLD 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

3月6日(火), 7日(水) ビーコンプラザ [縮切済] テーマ：システムオンシリコンを支える設計技術

【問合先】

小林和淑(京都工繊大)

TEL(075)724-7452 E-mail:kazutoshi.kobayashi@kit.ac.jp

◎VLD 研究会ホームページも御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~vld/>

☆CPSY 研究会

【問合先】

安里 彰(富士通)

TEL [044] 754-3233, FAX [044] 754-3214

E-mail: asato@jp.fujitsu.com

☆RECONF 研究会

【問合先】

渡邊誠也 (岡山大学院自然科学研究科)
TEL & FAX (086) 251-8251
E-mail: nobuya@cs.okayama-u.ac.jp

★超伝導エレクトロニクス研究会 (SCE)

専門委員長 日高陸夫
幹事 柴田浩行・山田隆宏 幹事補佐 赤池宏之

日時 1月26日(木) 10:30~15:10

会場 機械振興会館地下3階2号室

議題 超伝導センシング基盤技術及びその応用, 一般

1. 磁化材料深部欠陥探査を目的とした高温超伝導 SQUID センサーを用いた非破壊検査装置の開発 ○河野文治・塚本 晃・安達成司・押久保靖夫・波頭経裕・田辺圭一 (超電導工研)
2. HTS-rf-SQUID 及び永久磁石を用いた超低磁場 NMR/MRI システムの開発 ○福元翔平・綱木辰悟・村田隼基・千ヶ崎卓巳・廿日出 好・田中三郎 (豊橋技科大)
3. 高温超伝導 SQUID における太陽電池検査システムの開発 ○紀和利彦・福留陽平・堺 健司 (岡山大)・塚本 晃・安達成司・田辺圭一 (超電導工学研)・神鳥昭彦 (日立)・塚田啓二 (岡山大)

午後

4. [招待講演] SFQ パルス周波数変調に基づく電圧波形成回路 ○黒岩桂介・守屋雅隆・島田 宏・水柿義直 (電通大)・前澤正明 (産総研)
5. SQUID グラジオメータの評価及びその STM-SQUID への応用 ○磯部 良・松井保憲・松澤 英・渡邊騎通・宮戸祐治・糸崎秀夫 (阪大)
6. 高感度交流磁場測定のための冷却銅検出コイルと結合した SQUID の性能評価 ○百富隆二・造牟拓朗・吉田 敬・圓福敬二 (九大)
7. レーザ SQUID 顕微鏡を用いた半導体内の不均一光誘起電流の可視化 ○日野隆志・中谷悦啓・宮戸祐治・糸崎秀夫 (阪大)
8. SQUID を用いた液相磁気的免疫検査のための磁気マーカーの評価 ○渡邊英樹・樋口雄一・内田 忍・松尾政晃・吉田 敬・円福敬二 (九大)

◎13:00~13:05 に第2回電子情報通信学会超伝導エレクトロニクス研究会奨励賞授与式を行います。

【問合先】

柴田浩行 (NTT)
TEL (046) 240-3150, FAX (046) 240-4726
E-mail: shibata.h@lab.ntt.co.jp

★シリコン材料・デバイス研究会 (SDM)

専門委員長 遠藤哲郎 副委員長 奈良安雄
幹事 小野行徳・野村晋太郎 幹事補佐 笹子佳孝

日時 1月27日(金) 9:30~17:00

会場 機械振興会館地下3階研修1号室

議題 IEDM 特集 (先端 CMOS デバイス・プロセス技術)

1. IEDM2011 概要 吉田英司 (富士通研)

2. 超低消費電力 LSI 向けの SiN 電荷捕獲層を有する新規 Vth 自己調整 MISFET ○辰村光介・川澄 篤・川中 繁 (東芝)
3. 超低電圧動作を可能にするチャンネルエンジニアリング

○藤田和司・鳥居泰伸・堀 充明・王 純志 (富士通セミコンダクター)・L. Shifren

P. Ranade (SuVolta)・中川雅樹・岡部堅一・三宅利紀・大越克明・蔵前正樹・森 年史・鶴田智也 (富士通セミコンダクター)・S. Thompson (SuVolta)・江間泰示 (富士通セミコンダクター)

4. 100 億トランジスタのしきい値電圧ばらつき ○水谷朋子・Anil Kumar・平本俊郎 (東大)

午後 (12:30~)

5. トライゲートナノワイヤ MOSFET における自己発熱効果の系統的理解 ○太田健介・齋藤真澄・田中千加・中林幸雄・沼田敏典 (東芝)
6. 引張りひずみ及び MOS 界面パッファ層による $\text{In}_x\text{Ga}_{1-x}\text{As}$ MOSFET の移動度向上とその物理的理解 ○金 相賢・横山正史・田岡紀之・中根了昌 (東大)・安田哲二 (産総研)・市川 磨・福原 昇・秦 雅彦 (住友化学)・竹中 充・高木信一 (東大)
7. 原子スイッチの現状と将来 ○青野正和・長谷川 剛 (物質・材料研究機構)
8. 物理モデルに基づく高信頼性 ReRAM の開発 ○魏志 強・高木 剛・神澤好彦・加藤佳一・二宮健生・河合 賢・岡 俊作・三谷 覚・片山幸治・藤井 覚・宮永良子・川島良男・三河 巧・島川一彦・青野邦年 (パナソニック)
9. 光学モバイル用途に優れた SOQ (シリコン・オン・クォーツ) デバイス ○永田敏雄・金丸 浩・池上正美 (ラピスセミコンダクタ青崎)・長友良樹 (ラピスセミコンダクタ)・半田正人・中村里克・内堀邦彦 (シズンフラインテックミヨタ)
10. High-K/Metal Gate MOSFETs における新しいレイアウト依存性 ○M. Hamaguchi (Toshiba)・D. Nair・D. Jaeger (IBM Semiconductor)・H. Nishimura (Toshiba)・W. Li・M-H. Na (IBM Semiconductor)・C. Bernicot (STMicroelectronics)・J. Liang・K. Stahrenberg・K. Kim・M. Eller (Infineon Tech.)・K-C. Lee (Samsung Electronics)・T. Iwamoto (Renesas Electronics)・Y-W. Teh (GLOBALFOUNDRIES Singapore)・S. Mori・Y. Takasu (Toshiba)・JH Park (Samsung Electronics)・L. Song (IBM Semiconductor)・N-S. Kim (GLOBALFOUNDRIES Singapore)・S. Kohler・H. Kothari (STMicroelectronics)・J-P. Han (Infineon Tech.)・S. Miyake (Renesas Electronics)・H.V. Meer (GLOBALFOUNDRIES)・F. Arnaud・K. Barla (STMicroelectronics)・M. Sherony・R. Donaton (IBM Semiconductor)・M. Celik (STMicroelectronics)・K. Miyashita (Toshiba)・V. Narayanan (IBM)・R. Wachnik・M. Chudzick (IBM Semiconductor)・J. Sudijono (GLOBALFOUNDRIES Singapore)・J.-H. Ku・J.D. Kim (Samsung Electronics)・M. Sekine (Renesas Electronics)・S. Johnson (GLOBALFOUNDRIES)・W. Neumueller (Infineon Tech.)・R. Sampson (STMicroelectronics)・E. Kaste1 (Toshiba)

R. Divakaruni (IBM Semiconductor)・

F. Matsuoka (Toshiba America Electronic Components)

11. 低電圧・極低電力 CMOS ロジック回路における回路特性のデバイスパラメータ依存性の評価 ○更田裕司・安福 正・飯田智士・高宮 真(東大)・野村昌弘・篠原尋史(半導体理工学研究センター)・桜井貴康(東大)

12. 総合討論

◆応用物理学会；シリコンテクノロジー分科会 ULSI デバイス研究委員会共催

◎17:00～懇親会を開催します。

——北海道支部における開催——

★情報ネットワーク研究会 (IN)

専門委員長 鈴木 光 副委員長 浅見 徹

幹事 村山純一・堀 賢治 幹事補佐 外山将司・田坂和之

日時 1月26日(木) 13:00～17:30
27日(金) 10:30～16:00

会場 旭川ターミナルホテル層雲の間(旭川市宮下通7丁目、JR旭川駅西口改札を出てから仮設通路を歩いてホテルへ、<http://www.asahikawa-th.com/access.htm> TEL [0166] 24-0111)

議題 オーバレイネットワーク、P2P ネットワーク、自律分散制御及び一般

26日

- 高速移動体通信システム技術の研究開発—高速移動アドホックネットワーク— ○八木章好・松川康一・石橋孝一(三菱電機)
- 無線メッシュネットワークのための無線ノード移動計画の局所拡散/分散管理手法 ○岩井正敏・千明 陽・松垣博章(東京電機大)
- 経路修正とネットワークコーディングによる無線マルチホップ通信の性能改善 ○村木裕一郎・松垣博章(東京電機大)
- 分断されたアクセス網における自律分散型認証技術の検討 ○水谷昌彦(日立)・楠 慶・川原圭博・浅見 徹(東大)
- ソーシャルネットワークにおけるリンク重みの量子化がノードの中心性指標に与える影響 ○松本幸大・津川 翔・大崎博之・今瀬 真(阪大)
- 携帯電話からのメール転送の即時性に関する調査報告 ○浅見 徹(東大)・磯村 学(KDDI)・朱 イ・川原圭博(東大)

7. [招待講演] Jubatus: Big Data のリアルタイム処理を可能にする大規模データ分散基盤技術 ○小田 哲・中山心太・上西康太・木下真吾(NTT)

8. [招待講演] 影響力が高まる大規模コンテンツ配信事業者の現状とコンテンツキャッシュによるトラフィックエンジニアリングの試み 亀井 聡(NTT)

27日午前

- 実トラフィックに適応する仮想ネットワークプロビジョニング方式の検討 ○小西響児・川原崎雅敏(筑波大)
- 時系列の圧縮性を用いたネットワークトラフィックの適応的パターン分析 ○大関 潮・渡辺俊典・古賀久志(電通大)
- IEEE 802.11 無線 LAN における不正検出のための正規バックオフ測定値推定法の検討 ○武次潤平・

第一種研究会開催案内

榊原勝己(岡山県立大)

4. アトラクタ振動モデルを応用したエンド間遅延の安定化を図る送信レート制御手法の改良と評価 ○脇 みどり・若宮直紀・村田正幸(阪大)

27日午後(13:15～)

5. コンシステント・ハッシュ法におけるノード性能の不均一性を考慮した負荷分散手法 ○入江道生・岩佐絵里子・金子雅志・福元 健・飯尾政美(NTT)

6. A Prototype of Energy Proportional Web Server Cluster ○Takuya Kato・Yoshihiro Kawahara・Tohru Asami (Univ. of Tokyo)

7. uGrid を用いた映像配信システムにおける最大遅延とサービスパーツ利用効率を考慮したコンポジットサービスツリーの構築法 ○阿拉騰松布爾・中原健太・菊田 洸・石井大介・岡本 聡・山中直明(慶大)

8. MPLS 網における QoS を考慮したプロアクティブなパス制御の検討 ○吉田維孝・川原崎雅敏(筑波大)

9. スマートフォンと連携したウェアラブル心疾患監視・警報システムの開発 ○渡邊飛雄馬・川原崎雅敏(筑波大)

10. Detailed analysis of iPad2 TCP behaviours ○Weikai Wang・Celimuge Wu・Satoshi Ohzahata・Toshihiko Kato (Univ. of Electro-Comm.)

☆IN 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

3月8日(木), 9日(金) 宮崎シーガイア [1月6日(金)]
テーマ:一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

IN 研究会幹事及び幹事補佐

E-mail: in_ac-kanji-2007@mail.ieice.org

村山純一(NTT)

TEL [0422] 59-3949, FAX [0422] 59-5652

外山将司(NTT)

TEL [0422] 59-4886, FAX [0422] 59-5652

◎IN 研究会ホームページ <http://www.ieice.org/cs/in/jpn/>

◎なお、原稿の締切日を過ぎますと技報への掲載ができなくなり、原稿無しでの御発表となります。プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注意下さい。

★ニューロコンピューティング研究会 (NC)

専門委員長 岡田真人 副委員長 西井 淳

幹事 花沢明俊・小澤誠一 幹事補佐 三浦健一郎・佐藤直行

日時 1月26日(木) 9:00～16:05

27日(金) 9:30～16:15

会場 公立はこだて未来大学(函館市亀田中野町116-2. <http://www.fun.ac.jp/acces/index.html> TEL [0138]34-6235 佐藤直行)

議題 一般、複雑系とニューロコンピューティング

26日午前

- 0次減衰する連想記憶モデルの記憶容量に関する研究 ○宮田龍太(東工大)・綴木 馴(岡山理科大)・青西 亨(東工大)・倉田耕治(琉球大)
- ネットワーク構造と記銘パターンの違いによる記憶容量への影響 ○中倉昌哉・寺山敬佑・山内ゆかり(日大)
- カオスニューラルネットワークを用いた周期的連想記憶に関

告 11

- する研究 ○佐藤良彰・山内ゆかり (日大)
4. 反学習項を入れた Hopfield model の statics と dynamics
○大谷 遙・吉田 緑・上江渕達也 (奈良女子大)
5. 簡素なパルス結合スパイクニューロンのベース信号に対する分岐現象 ○桐川翔太・小川貴史・斎藤利通 (法政大)
6. 自己組織化デジタルスパイク写像の解析 ○堀本成俊・小川貴史・斎藤利通 (法政大)
7. 類似度に基づき成長する複雑ネットワークの比較と評価
○寺山敬佑・山内ゆかり (日大)

26 日午後 (13:10~)

8. [招待講演] 人工知能の脳科学における役割
松原 仁 (公立ほく未来大)
9. リカレントネットワークによる複数のモダリティから成る感覚情報の統合—視聴覚に対する刺激の発生源特定問題—
○山下 樹 (東大)・片平健太郎 (JST)・五十嵐康彦 (東大)・岡ノ谷一夫 (JST)・岡田真人 (東大)
10. 多次元尺度構成法と混合分布推定に基づく時系列相互相関解析
○伊吹勇郎 (北大)・鈴木 正 (青学大)・井上純一 (北大)
11. 隠れマルチダイナミカルシステムの学習理論とアルゴリズム—高階位相写像による実現—
○古川徹生・大久保貴之 (九工大)
12. 平均場イジングモデルの臨界現象と時系列予測
○日向野隼輔・井上純一 (北大)

27 日午前

1. ノイズあり問題に対するソフトマージン SVM の解析
○船谷浩之・池田和司 (奈良先端大)
2. 精度保証と補正を行うベイジアンネットワーク上の近似確率推論法に関する研究
○和歌崎修平・北越大輔・鈴木雅人 (東京高専)
3. メトロポリス法における平均採択率の漸近解析について
○永田賢二 (東大)・岡田真人 (東大/理研)
4. 不快音圧レベル推定のための純音ペア刺激に対する誘発電位の特徴量分析
○藤居宏平 (奈良先端大)・足立信夫・森川幸治 (パソニク)・池田和司 (奈良先端大)
5. ソーラス符号における量子揺らぎの復号性能
○大坪洋介 (東大)・井上純一 (北大)・永田賢二 (東大)・岡田真人 (東大/理研)
6. テンソル分解型自己組織化マップの開発—非線形テンソル分解の実現—
○岩崎 亘・和田沙織・古川徹生 (九工大)

27 日午後 (13:30~)

7. 強化学習を用いた報酬と行動決定を伴う時系列データのオフライン分析
○麻生英樹・城 真範・神崎敏弘・赤穂昭太郎 (産総研)・興梠貴英 (東大)
8. 強化学習エージェントの方策情報ベクトル表現を用いた学習効率化に関する研究
○安藤大輝・北越大輔・鈴木雅人 (東京高専)
9. 両手運動により誘発される一次運動野ニューロンの最適方位の回転は、脳卒中回復過程を促進する—計算論研究—
○瀧山 健 (東大)・岡田真人 (東大/理研)
10. 上位 M 個の解が得られる疎結合モデルの離散最適化手法
○加藤真志・井上真郷 (早大)
11. メキシカンハット型フィードフォワードネットワークにおける高次相関
○五十嵐康彦・岡田真人 (東大)
12. スパースな局在興奮を持つ神経回路モデル
○萬田 暁 (東大)・大森敏明 (東大/理研)・

北園 淳 (東大/学振)・岡田真人 (東大/理研)

◆日本神経回路学会, IEEE Computational Intelligence Society Japan Chapter 共催

◎懇親会は、26 日研究会終了後を予定しています。

☆NC 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

3月14日(水)~16日(金) 玉川大[1月16日(月)]テーマ:ME, 一般 日本神経回路学会, IEEE CIS-Japan, MBE 研究会共催

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

佐藤直行 (ほく未来大)

TEL [0138] 34-6235 E-mail: satonao@fun.ac.jp

★電子デバイス研究会 (ED)

専門委員長 加地 徹 副委員長 原 直紀

幹事 津田邦男・須原理彦 幹事補佐 上田哲三・葛西誠也

★シリコン材料・デバイス研究会 (SDM)

専門委員長 遠藤哲郎 副委員長 奈良安雄

幹事 小野行徳・野村晋太郎 幹事補佐 笹子佳孝

日時 2月7日(火) 13:30~17:20

8日(水) 9:30~14:40

会場 北海道大学百年記念会館大会議室 (札幌市北区北8条西5丁目。JR北海道札幌駅下車, 徒歩10分。 <http://www.hokudai.ac.jp/bureau/info-j/hyaku.html> TEL [011] 706-6509 葛西誠也)

議題 機能ナノデバイス及び関連技術

7日

1. [招待講演] Deterministic ドープシリコンデバイスと量子輸送現象
○品田賢宏・堀 匡寛 (早大)・Filipo Guagliardo・Giorgio Ferrari (ミラノ工科大)・小野行徳 (NTT)・Enrico Prati (CNR)
2. 第一原理計算によるシリコンナノロッドトランジスタ中の単一リン不純物の電子状態解析
○葛屋陽平・モラル ダニエル・水野武志・田部道晴 (静岡大)・水田 博 (北陸先端大/ザンボン大)
3. KFM observation of individual dopant potentials and electron charging
○Roland Nowak・Miftahul Anwar・Daniel Moraru・Takeshi Mizuno (Shizuoka Univ.)・Ryszard Jablonski (Warsaw Univ. of Tech.)・Michiharu Tabe (Shizuoka Univ.)
4. パターン依存酸化法を用いた Si 単電子トランジスタの高周波特性
○竹中浩人・篠原迪人・内田貴史・有田正志 (北大)・藤原 聡 (NTT)・高橋庸夫 (北大)
5. InAs ナノワイヤ MISFET の高周波特性評価
○渡邊龍郎・乙幡 温・和保孝夫 (上智大)
6. 共鳴トンネル素子を装荷したアクティブ伝送線路を用いた高次高調波発振器の可能性
○潘 傑・早野一起・森 雅之・前澤宏一 (富山大)
7. 共振構造導入によるグラフェンテラヘルツ増幅器の高利得化
○高塚裕也・高萩和宏・佐野栄一 (北大)・リズィー ヴィクトール (会津大)・尾辻泰一 (東北大)
8. シリコン量子井戸におけるトンネル電流注入発光
○登坂仁一郎・西口克彦・影島博之・藤原 聡 (NTT)

8日午前

1. SPM スクラッチ加工を用いた金属チャネル狭窄過程におけるコンダクタンスの量子化 ○須田隆太郎・大山隆宏・白樫淳一 (東京農工大)
2. 電界放射電流誘起型エレクトロマイグレーション法を用いた直列型ナノギャップの集積化と特性制御 ○伊藤光樹・秋元俊介・白樫淳一 (東京農工大)
3. MgF₂/Fe ナノドット/MgF₂ 薄膜における電気伝導特性 ○石川琢磨・佐藤栄太・浜田弘一・有田正志・高橋庸夫 (北大)
4. 外部電圧によりフェルミエネルギー制御した極薄 Si のゼーベック係数 ○ファイズ サレ・三輪一聡・池田浩也 (静岡大)
5. 急峻な電流特性のトランジスタを利用した確率共鳴 ○西口克彦・藤原 聡 (NTT)

8日午後

6. 単層カーボンナノチューブネットワークにおける一次元伝導特性 ○田中 朋・森 健一郎・佐野栄一・古月文志・Hongwen Yu (北大)
7. CNFET における high-k ゲート絶縁膜界面近傍の電荷分布とその影響 ○鈴木耕佑・大野雄高・岸本 茂・水谷 孝 (名大)
8. SiN 絶縁ゲート GaAs ナノワイヤ FET における低周波雑音の評価と解析 村松 徹・葛西誠也・谷田部然治 (北大)
9. 光照射局所コンダクタンス変調法を用いた GaAs ナノワイヤ 3 分岐接合デバイスの非線形伝達特性評価と動作機構の検討 ○佐藤将来・村松 徹・葛西誠也 (北大)

☆ED 研究会

【問合先】

津田邦男 (東芝)
TEL [044] 549-2142, FAX [044] 520-1501
E-mail: kunio.tsuda@toshiba.co.jp

須原理彦 (首都大東京)
TEL [042] 677-2765, FAX [042] 677-2756
E-mail: michihiko.suhara@tmu.ac.jp

上田哲三 (パナソニック)
TEL [075] 956-8273, FAX [075] 956-9110
E-mail: ueda.tetsuzo@jp.panasonic.com

葛西誠也 (北大)
TEL [011] 706-6509, FAX [011] 716-6004
E-mail: kasai@rciqe.hokudai.ac.jp

☆SDM 研究会

【問合先】

小野行徳 (NTT)
TEL [046] 240-2641, FAX [046] 240-4317
E-mail: ono.yukinori@lab.ntt.co.jp

——東北支部における開催——

★非線形問題研究会 (NLP)

専門委員長 堀尾喜彦 副委員長 上田哲史
幹事 安達雅春・高坂拓司 幹事補佐 松浦隆文・坪根 正

日時 1月23日(月) 13:00~17:30
24日(火) 9:20~12:25

会場 會津稽古堂研修室 5・6 (會津若松市生涯学習総合センター) (會津若松市栄町 3-50. http://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/index_php/city_map/show_map.php?cate=c1100&data_id=c672ed44556766ed0760efec074d0390e TEL [0242] 22-4700)

議題

23日

1. スパースな結合をしたカオスニューラルネットワークの動的性質 ○井口清貴・岩井俊哉 (日大)
2. カオスニューラルネットワークを用いたノイズ制御による記憶探索モデル ○越川祐樹・岩井俊哉 (日大)
3. 確率ネットワークモデルを用いたマルチパス環境 CDMA 通信におけるディレイロックループの解析 ○永田啓介・藤坂尚登・神尾武司・生岩量久 (広島市大)
4. 拡散反応現象を模擬するセルラーアレイが生成する擬似乱数の評価 ○永田啓介・藤坂尚登・神尾武司・生岩量久 (広島市大)
5. Golden Ratio Encoder の回路実装に対する検討—オペアンプのオフセットと有限ゲインの影響— ○福島弘貴・堀尾喜彦 (東京電機大)・合原一幸 (東大)
6. 微小外力を含む 4 区分線形 BVP 発振器にみられる振幅死現象とカオスのメカニズムの解明 ○篠塚吉正 (明大)・塚本和孝 (塚本研)・稲葉直彦 (明大)・関川宗久 (東大)・遠藤哲郎 (明大)
7. 2-トラスアーノルドタングの回路実験による観察 関川宗久 (東大)・稲葉直彦 (明大)
8. 極小値が単峰列な傾向をもつ多峰関数の大域的最適化法(2) ○金光秀雄・今野英明 (北海道教大)
9. 鈍感な粒子群最適化と複数解問題 ○丸山一紀・斎藤利通 (法政大)
10. インスタンスに応じた領域分割による TSP の近似解法 ○木村富宏・安達雅春 (東京電機大)

24日

1. 非同期順序回路シナプスモデルとそのスパイクタイミング依存シナプス可塑性 ○浦本拓実・鳥飼弘幸 (阪大)
2. 非同期順序回路内有毛細胞モデルとその応答特性 ○石本裕典・鳥飼弘幸 (阪大)
3. 状態と時間に依存して発火するカオスのスパイク発振器の解析 ○四辻和希・今井聡志 (法政大)・三堀邦彦 (拓殖大)・斎藤利通 (法政大)
4. 混合ルールに基づくセルオートマトンの動作解析 ○上月良太・伊藤 良・斎藤利通 (法政大)
5. 周期外力を加えた電子ホタルにおける分岐と同期現象 ○伊藤大輔・上田哲史 (徳島大)・川上 博 (JST)
6. スイッチング遅れを伴う断続回路にみられるカオスアトラクタの分岐現象 ○松尾彰人・麻原寛之・高坂拓司 (大分大)
7. 周期軌道のための安定性変換システムの回路実装と安定性評価 川井雄貴・坪根 正 (長岡技科大)

☆NLP 研究会今後の予定

2月 休会

【問合先】

安達雅春 (東京電機大工学部)
TEL [03] 5280-3833, FAX [03] 5280-3565
E-mail: adachi@eee.dendai.ac.jp

★電子ディスプレイ研究会 (EID)

専門委員長 服部励治 副委員長 志賀智一・小南裕子

幹事 伊達宗和・山口雅浩

幹事補佐 増田善友・山口留美子・山口 一・藤田悦昌・

新田博幸・小澤史朗・中田 充

日時 1月27日(金) 13:30~17:00

28日(土) 9:30~14:30

会場 秋田大学手形キャンパス(秋田市手形学園町1-1, JR秋田駅から徒歩15分, バス約6分, <http://www.ee.akita-u.ac.jp/liquid-crystal/meeting/access.pdf> TEL [018] 889-2305 山口留美子・河村希典)

議題 発光型/非発光型ディスプレイ

テーマ: ディスプレイに関する技術全般 LCD(バックライトを含む), PDP, 有機/無機EL, CRT, FED, VFD, LEDなどのディスプレイに関するデバイス, 部品・材料及び応用技術

- 27日
1. 白金錯体を用いた高効率・長寿命赤色リン光有機EL素子
○深川弘彦・鈴木充典(NHK)・花鳥 啓・長田佳周(東京理科大)・清水貴央・藤掛英夫(NHK)
- EID-2. マイクロレンズを用いた有機EL素子の光取出し効率に及ぼす背面反射率の影響
○佐渡裕児・後藤隆男・大橋卓己・三上明義(金沢工大)
- EID-3. 微細ステップ構造を有するガラス基板上に作製した無機薄膜EL素子の光干渉効果
○水谷貴彦・國岡翔太(鳥取大)・宮本快暢(TEDREC)・大観光徳(鳥取大/TEDREC)・三浦 博(リコー)
- EID-4. 希土類イオンを付活したガーネット型蛍光体の研究
○棚瀬義隆(鳥取大)・宮本快暢(TEDREC)・大観光徳(鳥取大)
- EID-5. 化学気相法により作製した六方晶窒化ホウ素粒子の結晶性の改善
○河西康雅・栗野春之・小南裕子・中西洋一郎・原 和彦(静岡大)
- EID-6. 蛍光体ナノシート分散液の光学特性に及ぼす金属ナノ粒子添加効果
伊藤智絵美・北浦 守・佐々木 実(山形大)・小南裕子・原 和彦(静岡大)・大西彰正(山形大)
7. MEH-PPV ナノファイバー形成とその発光特性評価
○古木裕記・根尾陽一郎・青木 徹・三村秀典(静岡大)
- EID-8. $Ba_3Si_6O_{12}N_2:Eu_2+$ 蛍光体の2波長励起フォトルミネッセンス評価
○石岡 亮・五十嵐航平・福田武司(埼玉大)・下村康夫(三菱化学)・鎌田憲彦(埼玉大)
9. 超高精細FED用微小電子源の電子光学特性
○藤野高弘・小池昭史(静岡大)・長尾昌善・吉田知也・西 季(産総研)・村田英一・酒井健太郎(名城大)・根尾陽一郎・青木 徹・三村秀典(静岡大)
10. 可視および赤外発光計測によるPDPの放電効率解析手法
○加原真美子・志賀智一(電通大)・石井啓二(NHK)
- EID-11. 固定長符号化マルチラインアドレス有機ELディスプレイの消費電力および画質の評価
○桑原拓也・服部励治(九大)
- EID-12. タッチ容量検出回路の検討—単層構造ハイブリッド容量方式タッチパネルの開発に向けて—
○弓削勝忠・慶 奎元・服部励治(九大)

28日

- EID-1. 配向分割液晶素子の階調表示特性に対するセルパラメータの影響
○徳田恭平・山口留美子(秋田大)
 - EID-2. 骨格基の異なる液晶によるPVCi配向膜の容易軸への影響
○池谷正輝・山口留美子・神野創太郎(秋田大)
 - EID-3. リバースモード液晶素子における液晶材料依存性
○後藤広一郎・山口留美子・西村宗仁(秋田大)
 4. 新規な光配向膜を用いた二層型UV重合型液晶性高分子膜の作製
○真瀬佳祐(東京農工大)・松山剛知(大阪有機化学)・飯村靖文(東京農工大)
 5. 新規な光配向膜を用いた液晶配向制御
○井上翔史(東京農工大)・松山剛知(大阪有機化学)・飯村靖文(東京農工大)
 - EID-6. ブルー相IIIが示す室温における高速電界応答
○廣瀬 鉄(東北化学薬品)・神山美智・鹿嶋慎也・田中雅展・吉澤 篤(弘前大)
 - EID-7. 偏光解析法に基づいた液晶材料の弾性定数K22の高精度測定
○石鍋隆宏・森田ゆずか・大野友嗣(東北大)・宮下哲哉(東北工大)・内田龍男(仙台高専)
 - EID-8. 液晶画像の動的解析
○國井 厚・関 秀廣(八戸工大)
 9. フレキシブルツイストネマチック液晶内に形成されるポリマー微細構造の評価
○坂井恒雄・古江広和(東京理科大)・佐藤弘人・藤崎好英・藤掛英夫(NHK)
 10. コレステリックブルー相液晶のフレキシブルデバイスへの応用
○松沢 愛・古江広和(東京理科大)・佐藤弘人・藤崎好英・藤掛英夫(NHK)
 11. フレキシブルLCD作製技術の開発とその評価に関する研究
○山本正樹・奈須川佑太(東京農工大)・松山剛知(大阪有機化学)・飯村靖文(東京農工大)
 - EID-12. 焦点可変機能を有する液晶素子を用いた3次元画像システム
○湯本英治・及川郷志・後藤久志・河村希典(秋田大)
 - EID-13. 新しいマイクロストリップライン構造を用いた液晶ミリ波位相変調器の基礎特性
○伊藤佑介・笹森崇行・磯田陽次・伊東良太・本間道則・能勢敏明(秋田県立大)
 - EID-14. 2π のねじれ角分布を有する液晶回折格子の光学特性
○本間道則・能勢敏明(秋田県立大)
 15. 回折光学素子を用いた高性能バックライトへの取り組み
○宮本正雄・酒井紘治・寺崎誠也・北村 厚(ミネバ)
 - EID-16. 液晶場におけるPt錯体の配向性と偏光発光性の相関
○小形太亮・佐藤武志・栗野 宏・夫 勇進・高橋辰宏・米竹孝一郎(山形大)
 - EID-17. 新規な電極構造による流体ディスプレイの開発
○東海林健太・鹿野一郎・香田智則・西岡昭博・川口正剛(山形大)
- ◆映像情報メディア学会; 情報ディスプレイ研究会, 電気学会; 次世代ユビキタスディスプレイ調査専門委員会連催, 照明学会; 固体光源分科会, SID日本支部共催
- ◎27日17:15~19:15 大会会館学内食堂で懇親会を行います。参加費: 3,500円 申し込み: 当日受付
- ◎研究会の期間内, 秋田大学大学院工学資源学研究所附属鉱業博物館, 見学無料
鉱業博物館ホームページ <http://www.mus.akita-u.ac.jp/>

【問合先】

山口留美子(秋田大)

TEL [018] 889-2483, FAX [018] 833-7351

E-mail: yrumiko@ipc.akita-u.ac.jp

★モバイルマルチメディア通信研究会 (MoMuC)

専門委員長 横田英俊 副委員長 井上真杉
幹事 金子晋丈・田村 基
幹事補佐 榎原 茂・鶴岡行雄・上村郷志

★アドホックネットワーク研究会 (AN)

専門委員長 山本尚生 副委員長 松井 進・渡辺 尚
幹事 大坐島 智・山野 悟 幹事補佐 山本高至・大和田泰伯

★ユビキタス・センサネットワーク研究会 (USN)

専門委員長 山里敬也 副委員長 佐藤良明・大槻知明
幹事 今田美幸・中澤 仁 幹事補佐 荒川 豊・猿渡俊介

◎本研究会は MoMuC 研究会と AN 研究会, USN 研究会の併催
です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 1月19日(木) 9:00~16:50
20日(金) 9:45~16:50

会場 戸田家(鳥羽市鳥羽1-24-26。JR/近鉄:鳥羽駅改札口を
出て左方向(東側)。徒歩の方は3番出口より約3分。送迎の
マイクロバスは1番出口へ。http://www.todaya.co.jp/)

議題 モバイルユビキタス/センサ技術, アドホックネットワ
ーク, RFID, 一般及び技術展示

19日午前 AN 一般講演1 (9F 展望サロン) (9:00~10:40)

AN-1. 経路間の干渉を考慮したマルチパスルーティングにお
けるスループットの改善 ○小松辰成・

塩川茂樹(神奈川工科大)

AN-2. アドホックネットワークにおけるスマートアンテナの適
応制御方式について ○青木勇太(静岡大)・

萬代雅希(上智大)・渡辺 尚(静岡大)

AN-3. ビームパターンを組合せを用いるメディアアクセス制御
方式について ○木村真樹(静岡大)・萬代雅希(上智大)・

渡辺 尚(静岡大)

AN-4. 無線センサネットワークにおけるセンサデバイスの状態
管理通信の効率化による省電力管理通信方式の提案

○鈴木孝明・山口一郎・山田勝彦(NEC)

AN 一般セッション2 (9F 展望サロン) (10:50~12:05)

AN-5. 東日本大震災に伴う無線マルチホップネットワークの構
築と避難所通信システムの運用 ○山口 匠・

間瀬憲一(新潟大)

AN-6. NerveNet による防災アプリケーションの試作及び実証
実験 ○大和田泰伯・井上真杉・大西真晶・森岡和行・

原井洋明(NICT)・実藤 亨(Nassua Solutions)

AN-7. GNU Radio/USRP とエスパアンテナを用いたマルチホッ
プ通信テストベッドの構築とその特性評価について

○君島秋人・山川太一・宮路祐一・上原秀幸・

大平 孝(豊橋技科大)

19日午後 AN 一般セッション3 (9F 展望サロン)
(13:20~15:00)

AN-8. 仮想トランクノードを利用した無線メッシュ網のVLAN
スパンニングツリーにおける経路再構築法の検討

○矢嶋一成・森野博章(芝浦工大)

AN-9. モニタリングセンサネットワークにおける情報プライオ
リティに基づく経路制御方式の検討 ○中川善継・

入月康晴(都立産技研センター)

AN-10. Fast-FACE: 低遅延 FACE-2 アドホックルーティング
○江崎智和・榎垣博章(東京電機大)

AN-11. 移動シンクノードへのセンサデータ配送手法
○鶴巻利樹・榎垣博章(東京電機大)

AN 一般セッション4 (9F 展望サロン) (15:10~16:50)

AN-12. RiskSim: 気象データを用いたセンサネットワークの動
的省電力制御 ○岩井将行・瀬崎 薫(東大)

AN-13. 隠れ端末存在下における中継CSMA/CAのCW最適化
○三軒谷勇貴・守倉正博(京大)・梅原大祐(京都工繊大)・
大槻暢朗・杉山隆利(NTT)

AN-14. 無線アドホックネットワークにおける通信量子約手法
○辰野友祐紀・榎垣博章(東京電機大)

AN-15. NeBuST-wide: パーストセンサデータによるバッファ
オーバーフロー回避手法 ○兼子佑樹・榎垣博章(東京電機大)

20日午後 AN 一般セッション5 (花の舞) (14:00~15:15)

AN-1. Earthquake Acceleration Analysis in a Structure for
Wireless Sensor Networks

○Takahiro Fujiwara (Hakodate National College of Tech.)・
Maria Q. Feng (Univ. of California, Irvine)

AN-2. 無線LANにおけるオーバーヒアリングとピース分割を
用いた高速コンテンツ配信方式 ○横瀬広明・大坐島 智・
加藤聡彦(電通大)

AN-3. モバイルセンサネットワークにおいてセンサノード間距
離と位置推定誤差を考慮することにより冗長な位置推定パケッ
トを低減する省電力位置推定法 ○加納新司・
笹瀬 巖(慶大)

AN 一般講演6 (花の舞) (15:25~16:40)

AN-4. 低速センサネットワークでの通信スロット配分手法の検
討 佐藤弘起(日立)

AN-5. 無線メッシュネットワークにおける中継ノードを用いた
巡回送信削減方式 ○遠藤一雄・笹部聖也・

山本尚生(東京都市大)

AN-6. 無線センサネットワークの効率化を目指したフラッ
ディング送信電力設計・運用法の研究 ○伊藤啓太・
長島淳也・宇谷明秀・山本尚生(東京都市大)

19日午前 USN 一般講演1 (9F 展望サロン) (9:00~10:20)

USN-1. メッシュネットワーク用のエンド間スループットとボ
トルネックリンクを考慮する複数伝送レートをを用いる経路制御
プロトコル ○日榮祐介・内藤克浩・森 香津夫・

小林英雄(三重大)

USN-2. 携帯電話センシングに向けた低優先度通信機構の実装
と評価 ○山本享弘・猿渡俊介・森川博之(東大)

USN-3. 高度道路交通システムのための可視光通信における非
情報源の誤認識率改善 ○白木康建・山里敬也(名大)・

荒井伸太郎(香川高専)・圓道知博(長岡技科大)・岡田 啓・

藤井俊彰(名大)

USN-4. 時間空間変動トラヒックを伴う無線センサネットワ
ークにおけるトラヒック均一化クラスタリング方式の特性評価

○水谷隆太・森 香津夫・内藤克浩・小林英雄(三重大)

USN 一般講演2 (9F 展望サロン) (10:30~11:50)

USN-5. センサネットワークにおける省電力化のための経路制
御及びアクセス制御 ○新家 晃・内藤克浩・森 香津夫・

小林英雄(三重大)

USN-6. SunSPOT を用いたセンサネットワーク用の省電力機構
の実装 ○岩崎陽介・内藤克浩・森 香津夫・

USN-7. 天気予報に基づくソーラパネルを用いたセンサノードの永続的運用手法 小林英雄 (三重大) ○大橋一輝・横田裕介・大久保英嗣 (立命館大)

USN-8. ノード位置交換によるモバイルセンサネットワークの寿命長期化 ○伊藤勝悟・朝香卓也 (首都大東京)

19日午後 USN 一般講演 3 (9F 展望サロン) (13:20~14:40)

USN-9. 慣性センサを用いた歩行者の屋内位置推定法に関する基本実験と評価 ○須永 光・斉木拓実・秋山征己・五百蔵重典・田中 博・山本富士男 (神奈川工科大)

USN-10. アレーセンサによる位置推定で用いる電波特徴量に関する一検討 ○洪 志勲・大槻知明 (慶大)

USN-11. ランダム空間分割による位置情報データからの滞留点検出アルゴリズムの検討 ○加美伸治・池田 聡・馬場輝幸・吉川隆士 (NEC)・森川博之 (東大)

USN-12. ロケーション情報統合方式における WiFi を使用した位置情報補完法の一提案 ○重松史哉・島村和典 (高知工科大)

USN 一般講演 4 (9F 展望サロン) (14:50~16:10)

USN-13. Android 端末を用いた空中文字描画によるユーザインタフェースとその応用 ○篠原正幸・秋山征己・佐々木 匠・五百蔵重典・田中 博・山本富士男 (神奈川工科大)

USN-14. 複数センサを用いた危険通知システム ○松井崇志・新津善弘 (芝浦工大)

USN-15. OFDM 協調基地局送信を行う路車間ネットワークにおける TCP 特性に関する一検討 ○小野 敦・内藤浩浩・森 香津夫・小林英雄 (三重大)

USN-16. uTupleSpace を用いたセンサ利用サービスの開発を支援する「実世界開発スタジオ」の提案と評価 ○森 皓平・中村隆幸・柏木啓一郎・荒川 豊・中村元紀・松村 一・東島由佳 (NTT)・石田繁巳・猿渡俊介・翁長 久・森川博之 (東大)

USN 一般講演 5 (9F 展望サロン) (14:00~15:20)

USN-17. センサデータ分散管理システムにおけるプロアクティブデータ配置・検索機構の性能評価 ○井邊研吾・横田裕介・大久保英嗣 (立命館大)

USN-18. アクセスポイントとの間欠的通信機会を持つ流れるセンサ群からの情報収集に関する基礎的評価 ○佐藤大輔・石原 進 (静岡大)

USN-19. ユーザのデバイス使用状況を考慮した接続先自動選択システム ○加藤伸也・新津善弘 (芝浦工大)

USN-20. 異種スマートフォン間の音圧校正手法の提案 ○澤上佳希・岩井将行・瀬崎 薫 (東大)

USN 一般講演 6 (9F 展望サロン) (15:30~16:50)

USN-21. 脳波を用いた興味度推定法の検討 ○甲田卓哉・新津善弘 (芝浦工大)

USN-22. D-Case を用いたユビキタスセンサネットワークのモニタリング機構 中澤 仁 (慶大)

USN-23. オフラインデバイスのネットワーク活用方法の一提案 ○森木 峻・島村和典 (高知工科大)

USN-24. 監視センサネットワークにおける画像情報優先制御方式 ○御園恵子 (千葉大)・川本良太 (アールシステムズ)・小室信喜・阪田史郎 (千葉大)・原 誠一郎 (アールシステムズ)

19日午後 MoMuC 一般講演 1 (2F 会議室) (13:20~14:35)

MoMuC-25. モバイルエージェントを利用した複数 WLAN の有

効利用法 ○伊藤史浩・上岡英史 (芝浦工大)

MoMuC-26. 物理ネットワーク中心性とピア配置を考慮した P2P マルチキャスト中継ピア選択の性能評価 ○大西辰弥・森野博章 (芝浦工大)

MoMuC-27. 仮想化技術を用いたデバイス協調システムの検討 ○猪股耕平・上岡英史 (芝浦工大)

MoMuC 一般講演 2 (2F 会議室) (14:45~16:00)

MoMuC-28. 視覚心理と符号化情報に基づいた高効率動画配信手法 ○後藤悠斗・上岡英史 (芝浦工大)

MoMuC-29. 生体情報を用いた聴音時における快/不快情動反応の識別 ○山下雄己・上岡英史 (芝浦工大)

MoMuC-30. ネットワークトラフィックを用いたユーザの状況推定 ○柿崎 歩・上岡英史 (芝浦工大)

20日午後 MoMuC 一般講演 3 (9F 展望サロン) (14:00~15:15)

MoMuC-1. 遅延制約を有するセンサデータの省電力な収集経路構築手法 ○阿部竜弥・荒川 豊・田頭茂明・福田 晃 (九大)

MoMuC-2. 雪崩ピーコンに基づく被災者捜索システム ○永井智大 (電通大)・鶴岡行雄 (NTT)・多田好克 (電通大)

MoMuC-3. SOSCast: 救助要請伝搬アプリケーションの設計と実装 ○鈴木規之・齋藤利文・津田 徹・森山京平・ジェーン ルイ フレスコ ザモーラ・榎原 茂・藤川和利・山口 英 (奈良先端大)

20日午前 招待講演 (花の舞+平安) (9:45~12:05)

共通-4. [招待講演] アドホックネットワークの通信性能を向上させるには 渡邊 晃 (名城大)

共通-5. [招待講演] OFDM 通信方式の基礎とその応用 小林英雄 (三重大)

共通-6. [招待講演] ソーシャルサポートサービスにおける環境・エコロジー事業の展開 坪谷寿一 (NTT ドコモ)

20日午後 技術展示 (花の舞+平安) (12:05~14:00)

共通-7. [技術展示] Android 端末で構成する Bluetooth MAN-ET を用いた新世代児童見守りシステム ○森 雄一郎・森井幸希・武田航史・小島英春・河野英太郎・井上伸二・大田知行・角田良明 (広島市大)

共通-8. [技術展示] GNU Radio/USRP とエスパアンテナを用いたマルチホップ通信テストベッド ○君島秋人・山川太一・大場昌範・宮路祐一・上原秀幸・大平 孝 (豊橋技科大)

共通-9. [技術展示] 防水・防塵 NerveNet 基地局装置及び安否登録・確認アプリケーション ○大和田泰伯・井上真杉・大西真晶・森岡和行・原井洋明 (NICT)・実藤 亨 (ナチュアソリューションズ)

共通-10. [技術展示] SOSCast: Bluetooth を用いた蓄積運搬転送型通信による救助要請アプリケーション ○津田 徹・鈴木規之・齋藤利文・森山京平・ジェーン ルイ フレスコ ザモーラ・榎原 茂・藤川和利・山口 英 (奈良先端大)

共通-11. [技術展示] コンテキスト情報に基づいた適応的な無線ネットワーク選択を支援するフレームワークの研究開発 ○三宅弘士・荒川 豊・田頭茂明・福田 晃 (九大)

共通-12. [技術展示] LED アレイと高速度カメラを用いた路車間可視光通信のリアルタイム伝送 ○笠嶋達也・白木康健・山里敬也・岡田 啓・藤井俊彰 (名大)・圓道知博 (長岡技科大)・荒井伸太郎 (香川高専)

◎19日の研究会終了後、3研究会合同のナイトセッションを予定

しております。

☆MoMuC 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

3月12日(月), 13日(火) NICT 小金井 [1月6日(金)]
テーマ: モバイルアドホックネットワーク, モバイル時代を支える次世代無線技術, フィールドセンシング及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmouushikomi.html>

【問合せ先】

金子晋丈 (慶大)
E-mail: kaneko@dmc.keio.ac.jp
田村 基 (NTTドコモ)
E-mail: tamuramo@nttdocomo.co.jp

☆AN 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

3月12日(月), 13日(火) NICT 小金井 [1月6日(金)]
テーマ: モバイルアドホックネットワーク, モバイル時代を支える次世代無線技術, フィールドセンシング及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmouushikomi.html>

【問合せ先】

山本高至 (京大)
TEL [075] 753-5351, FAX [075] 753-4982
E-mail: kyamamoto@i.kyoto-u.ac.jp
大和田泰伯 (NICT)
TEL [042] 327-7314, FAX [042] 327-6680
E-mail: yowada@nict.go.jp

◎最新情報は AN 研究会のホームページを御覧下さい。
<http://www.ieice.org/~an/>

☆USN 研究会

【問合せ先】

今田美幸 (NTT)・中澤 仁 (慶大)
E-mail: usn-kanji@mail.ieice.org

◎最新情報は, USN 研究会ホームページを御覧下さい。
<http://www.ieice.org/~usn/index.html>

★有機エレクトロニクス研究会 (OME)

専門委員長 白井博明 副委員長 加藤景三
幹事 松田直樹・中村二郎 幹事補佐 酒井正俊

日時 1月20日(金) 10:00~16:40

会場 名古屋大学 IB 電子情報館北棟5階電気系会議室

議題 有機材料・一般

1. 金属/MoOx を利用した有機 EL 素子の電導・発光特性
○王 海羸・森 竜雄 (名大)
2. Poly [4, 8-bis (2-ethylhexyloxy)-benzo [1, 2-b:4, 5-b'] dithiophene-2, 6-diyl-alt-(4-octanoyl-5-fluoro-thieno [3, 4-b] thiophene-2-carboxylate)-2, 6-diyl] (PBDTTT-CF)/PCBM で作製した有機薄膜の表面形態, 光学特性評価
○古村達志 (愛知工大)・Paik-Kyun Shin (INHA Univ.)・小嶋憲三・水谷照吉・落合鎮康 (愛知工大)
3. フィラー混合 Fe-LB 膜による垂直配向 CNT 本数密度制御
奈良龍太・竹澤章裕・申田正人 (千葉大)
4. 交流インピーダンス法による超薄膜バイオセンサの開発
○大貫 等・王 慧慧・横山拓也・大野龍蔵・遠藤英明・和泉 充 (東京海洋大)

午後 (12:50~)

第一種研究会開催案内

OME-5. [招待講演] 有機フレキシブルデバイスのための印刷電極形成技術
高田徳幸 (産総研)

6. 高沸点溶媒を添加した Poly [2, 6-(4, 4-bis-(2-ethylhexyl)-4H-cyclopenta [2, 1-b;3, 4-b]-dithiophene)-alt-4, 7-(2, 1, 3-benzothiadiazole)] (PCPDTBT): [6, 6]-phenyl C71-butyrac acid methyl ester (PC71BM) 混合膜を活性層に用いた有機薄膜太陽電池の特性評価
○今村匠吾 (愛知工大)・Paik-Kyun Shin (INHA Univ.)・小嶋憲三・水谷照吉・落合鎮康 (愛知工大)

7. 多チャンネル表面プラズモン導波路センサを用いた蒸気センシング
○高橋勇人・馬場 暁・新保一成・加藤景三・金子双男 (新潟大)

OME-8. 紫外光照射下における酸化チタン薄膜の電子と正孔の移動度
○渡邊悠介・村本裕二・清水教之 (名城大)

OME-9. 光応答材料を用いた微粒子の三次元構造の制御
○古川智也・柴田英徳・多和田昌弘 (名城大)・井川泰爾・毛利 誠・成田麻美子・渡辺 修 (豊田中研)

OME-10. ジュール熱を利用したアニール法による有機薄膜太陽電池の最適化
○内藤憲樹・森 竜雄 (名大)

11. 希塩酸処理した ITO 基板の表面形態と希塩酸処理した ITO 基板で作製した有機薄膜太陽電池の特性評価
○廣瀬頌次郎 (愛知工大)・Paik-Kyun Shin (INHA Univ.)・小嶋憲三・水谷照吉・落合鎮康 (愛知工大)

12. 有機薄膜太陽電池の電力変換効率に及ぼす Poly (3, 4-ethylenedioxythiophene)-Poly (styrenesulfonate) の効果
○加藤克彦 (愛知工大)・Paik-Kyun Shin (INHA Univ.)・小嶋憲三・水谷照吉・落合鎮康 (愛知工大)

◆電気学会: 誘電・絶縁材料研究会連催

【問合せ先】

松田直樹 (産総研)
E-mail: naoki.matsuda@aist.go.jp
中村二郎 (NTT)
E-mail: jnaka@aecl.ntt.co.jp
酒井正俊 (千葉大)
E-mail: sakai@faculty.chiba-u.jp

★ヒューマンコミュニケーション基礎研究会 (HCS)

専門委員長 竹内勇剛 副委員長 上杉 繁・渡辺昌洋

幹事 伊藤京子・松田昌史

幹事補佐 渡邊伸行・林 勇吾・井上智雄

日時 1月20日(金) 10:00~17:15

会場 ウィンクあいち (名古屋市中村区名駅4-4-38. JR 名古屋駅. <http://www.winc-aichi.jp/access/> TEL [052] 571-6131 (会場) 小川一美)

議題 コミュニケーションの心理及び一般

1. 模擬評議場面における弁論の影響 荒川 歩 (武蔵野美術大)
2. 情動性知能の測定法に関する検討一質問紙と能力テスト一
○小松佐穂子・成澤知那美・箱田裕司 (九大)
3. アイコンタクトの体積と性格特性
本間元康 (国立精神・神経医療研究センター)
4. 社会的スキルとアイコンタクト表出の関連について一非接触型アイマークレコーダによる検討一
○村山 綾・朝井阿弓美 (関西学院大)・福井隆雄 (INSERM)・三浦麻子 (関西学院大)

告 17

午後

5. 小集団の問題解決場面におけるコミュニケーション行動と対人認知との関係—社会的スキルと対人関係— ○大坊郁夫・松山早希・藤原 健 (阪大)
6. ビデオ通信環境における対人印象に関する探索的研究—当事者評価と傍観者評価の比較— ○松田昌史 (NTT)・八重樫海人・大坊郁夫 (阪大)・三上 弾・熊野史朗・大塚和弘・大和淳司 (NTT)
7. 3者間共食コミュニケーションにおける発話と食事行動の関係 ○大武美香・井上智雄 (筑波大)
8. 協同学習場面における Pedagogical Conversational Agents に関する実験的検討 ○林 勇吾・小川 均 (立命館大)
9. グループとの関わりへの意識を促す生体リズム同調情報の利用 ○大森耕介・伊藤京子・酒田信親・大西智士・西田正吾 (阪大)
10. 大学 Web サイトのユーザビリティ及びアクセシビリティ向上に関する研究 上地クリスティーナカマド (琉球大)
11. 高校生の携帯電話によるネット利用の実態—ウェブサイト、ウェブログ、マイリンクを中心に— ○黒川雅幸 (福岡教大)・三島浩路 (中部大)・大西彩子 (甲南大)・本庄 勝 (KDDI 研)・吉武久美 (名大)・田上敦士・長谷川 亨 (KDDI 研)・吉田俊和 (名大)
12. 中学生・高校生の携帯電話に関連したいじめ等の問題に関する研究 ○三島浩路 (中部大)・黒川雅幸 (福岡教大)・大西彩子 (甲南大)・本庄 勝 (KDDI 研)・吉武久美 (名大)・田上敦士・長谷川 亨 (KDDI 研)・吉田俊和 (名大)

◆日本社会心理学会共催

◎研究会終了後、名古屋駅近辺で懇親会を予定しております。

【問合先】

竹内勇剛 (静岡大)

TEL & FAX [053] 478-1455

E-mail: takeuchi@inf.shizuoka.ac.jp

◎最新情報は、HCS 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~hcs/>

★通信方式研究会 (CS)

専門委員長 上田裕巳 副委員長 葉玉寿弥

幹事 島田達也・小崎成治

★光通信システム研究会 (OCS)

専門委員長 尾中 寛 副委員長 石田 修

幹事 佐々木 隆・平野 章

◎本研究会は CS 研究会と OCS 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 1月26日(木) 9:00~17:50

27日(金) 9:00~16:05

会場 伊勢市観光文化会館 (伊勢市岩渕 1-13-1, <http://www.ise-kanbun.jp/access/index.html>)

議題 コア・メトロシステム, 光アクセスシステム・次世代 PON, ブロードバンドアクセス方式, (広域) イーサネット, 光伝達網 (OTN), 高速インタフェース, アナログ光伝送, 量子通信, 一般

26日午前

告 18

- CS-1. 複数 LLID 対応 ONU の Power セービング方法に関する一検討 ○久野隆治・山田将蔵・古沢 聡・河内 肇・鈴木祥也 (ホ・エフ・ネットワークス)
 - CS-2. 周波数及び時刻同期機能を実装した 10G-EPON システムの試作評価 ○田代隆義・吉田誠史・深田陽一・坂本 健・吉本直人・梶山義夫 (NTT)
 - CS-3. シンクロナスイーサ技術を適用したアクセスシステムの試作—広域イーサネットサービスへの適用へ向けて— ○吉田誠史・田代隆義・深田陽一・坂本 健・梶山義夫・吉本直人 (NTT)
 - CS-4. PON システムのサービス品質を考慮した省電力方式に関する検討 ○佐藤昌幸・菊澤隆司・井田智永・平野幸男・山下晃広・小崎成治・横谷哲也 (三菱電機)
 - CS-5. SIP アダプテーションの拡張方式 ○柚 信吾・佐藤浩司 (三菱電機)
 - OCS-6. 10G-EPON パワーセーブ ONU 用自律型高速同期 CDR の検討 ○鈴木巨生・木挽謙一・井川英哲・中川潤一 (三菱電機)
 - OCS-7. MPCP メッセージを利用した EPON 障害検査技術 ○大石将之・堀内幸夫・西村公佐 (KDDI 研)
 - OCS-8. MSA サイズに 2 チャンネルを実装した高速光レベル制御 SOA サブシステム ○吉田節生・甲斐雄高 (富士通)・曾根恭介 (富士通研)・中川剛二・木下 進 (富士通)
- 26 日午後 (13:40~)

- OCS-9. Fractionally-Spaced Equalizer Based on High-Order Statistics in Nonlinear Fiber Optics
Toshiaki Koike-Akino・Chunjie Duan・Kieran Parsons・Keisuke Kojima (MERL)・〇Tsuoyoshi Yoshida・Takashi Sugihara・Takashi Mizuochi (Mitsubishi Electric)
- OCS-10. 光トランスペアレント網におけるマルチレーン光パスの効率的な収容方法に関する一検討 ○田中貴章・曾根由明・平野 章・石田 修 (NTT)
- OCS-11. 光トランスペアレント伝送技術の研究開発 (λリーチ) —ダイナミック適応変調・等化技術による光トランスペアレント領域の拡大— ○米永一茂 (NTT)・尾中 寛 (富士通)・丸田章博 (阪大)・杉原隆嗣 (三菱電機)・田島章雄 (NEC)・佐藤健一 (名大)・鈴木扇太 (NTT)
- OCS-12. 波長多重を用いた高速量子鍵配付システム ○吉野健一郎 (NEC)・藤原幹生 (NICT)・田中聡寛・高橋成五・南部芳弘 (NEC)・富田章久 (北大)・三木茂人・山下太郎・王 鎮・佐々木雅英 (NICT)・田島章雄 (NEC)
- 共通-13. [特別招待講演] グリーン ICT を推進する光アクセス技術 鹿嶋正幸 (OKI)
- 共通-14. [特別招待講演] 電波による行動センシング 大槻知明 (慶大)
- 共通-15. [特別招待講演] ストーリーとしての ICT 研究開発 森川博之 (東大)

27 日午前

- CS-1. 時間領域 ICI キャンセラを適用した OFDM 方式の周波数オフセット補償 ○山本 智・若杉耕一郎 (京都工織大)・岩松隆則 (富士通研)
- CS-2. 協調通信システムである SFBC-OFDM 方式へのデータマッピングの適用と性能評価 ○村田善則・若杉耕一郎 (京都工織大)
- CS-3. UWB インパルス無線方式を用いた光ファイバ無線通信における伝送特性の評価 ○三浦浩志・大柴小枝子・

島崎仁司 (京都工繊大)

CS-4. 偏波多重光伝送方式におけるフィードバック制御を用いた偏波変動追従速度の高速化

○竹島公貴・高橋英憲・森田逸郎 (KDDI 研)・田中英明 (トヨタIT 開発センター)

OCS-5. 100 Gbit/sec データ秘匿通信に対応する強度変調型 Y-00 光通信量子暗号

広田 修 (玉川大)

OCS-6. Y-00 (光通信量子暗号) 信号の波長多重伝送実験

○二見史生・広田 修 (玉川大)

OCS-7. 量子鍵配送の安全性定量化の限界

広田 修 (玉川大)

CS-8. Basis-dependent flaw in measurement device independent quantum key distribution—Counter-measure against security loophole due to detection unit in QKD—

○Kiyoshi Tamaki (NTT)・

Hoi-Kwong Lo (Univ. of Toronto)・

Chi-Hang Fred Fung (Univ. of Hong Kong)・

Bing Qi (Univ. of Toronto)

OCS-9. 光ネットワークにおけるクロストークによる強度ゆらぎと符号誤り率特性の劣化

○齋藤純一・

張 豪 (東京電機大)・山口義昭 (日本工大)・

吉野隆幸 (東京電機大)

27 日午後 (14:00~)

CS-10. マルチユーザ対応ゲートウェイの実現に関する検討

高田佳典 (三菱電機)

CS-11. 長延化・多分岐に向けた SOA 利得切り替え方式による 10G パースト受信機の試作と評価

○池田博樹・

酒川 淳 (日立)

CS-12. 広帯域・多分岐・低消費電力を実現する 10G-EPON システムの動作検証

○伊藤 猛・氏川裕隆・光井 隆・

田代隆義・原 一貴・田所将志・西原 晋・太田憲行・

坂本 健・鈴木謙一 (NTT)・佐藤洋志・小島良晃・

森 秀紀 (NTT-AT)・吉本直人 (NTT)

CS-13. N:1 PON プロテクション方式の提案—OLT-光スイッチユニット間の連携とインターフェイスについて—

○木村康隆・光井 隆・深田陽一・坂本 健・

吉本直人 (NTT)

CS-14. PON における省電力制御時のリンク状態監視に関する検討

○菊澤隆司・佐藤昌幸・杉村浩史・向井宏明・

小崎成治・横谷哲也 (三菱電機)

☆CS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

2 月 休会

3 月 8 日 (木), 9 日 (金) 新潟大駅南キャンパス「ときめいと」[1 月 16 日 (月)] テーマ: ネットワークプロセッサ, 通信のための信号処理, 無線 LAN/PAN, 一般

4 月 19 日 (木), 20 日 (金) 石垣島 [未定] テーマ: ユビキタス/ブロードバンドネットワーク品質, 映像配信サービス品質, コンテンツ配信, 品質評価モデル, 一般

【発表申込先】

下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

島田達也 (NTT アクセスサービスシステム研究所)

TEL [046] 859-2275, FAX [046] 859-5513

小崎成治 (三菱電機)

E-mail: kanji2011@ciken.org

◎最新情報は, CS 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/cs/jpn/>

第一種研究会開催案内

☆OCS 研究会

【問合せ先】

佐々木 隆 (住友電工)

TEL [045] 853-7172, FAX [045] 851-1565

E-mail: ocscom@info.sei.co.jp

◎OCS ホームページ

<http://www.ieice.org/ocs/jpn-new/index.php>

◎OCS 研究会では, 2007 年より「光通信システム研究会奨励賞」及び「光通信システム研究会論文賞」を設立しました。毎年 9 月~翌年 8 月の OCS 研究会に投稿した論文を対象に選考し, 翌年 12 月の光通信システムシンポジウムにて表彰します。詳しくは OCS ホームページを御覧下さい。

★福祉情報工学研究会 (WIT)

専門委員長 大倉典子 副委員長 井野秀一

幹事 縄手雅彦・渡辺寛望

幹事補佐 若月大輔・酒向慎司・和田親宗

期日 1 月 27 日 (金), 28 日 (土)

会場 名古屋工業大学 (名古屋市昭和区御器所町, JR・地下鉄鶴舞駅より徒歩 10 分。TEL [052] 735-7134)

テーマ: 福祉情報工学一般, ライフイノベーションのための介護・リハビリ・生活支援技術

◎開催プログラムは WIT 研究会の HP (<http://www.ieice.org/~wit/>) 等を御参照下さい。

【問合せ先】

酒向慎司 (名工大)

TEL & FAX [052] 735-7134 E-mail: s.sako@nitech.ac.jp

— 関西支部における開催 —

★インターネットアーキテクチャ研究会 (IA)

専門委員長 中村素典

副委員長 秋山豊和・石橋圭介・飯田勝吉

幹事 衛藤将史・北辻佳憲

幹事補佐 垣内正年・塚本和也・義久智樹

日時 1 月 18 日 (水) 11:50~18:15

会場 和歌山市民会館市民ホール (和歌山市伝法橋南ノ丁 7. JR 和歌山駅より和歌山市駅行きバスで約 15 分。南海和歌山市駅より南西 (正面出口を出て右) へ徒歩 5 分。 <http://www.qualia.ne.jp/civic-hall/access.html>)

議題 インターネット運用・管理, 一般

1. Almost End to End NAT 太田昌孝 (東工大)

2. 日本における全国規模学術認証連携の展開 ○西村 健・中村素典・山地一禎 (NII)・岡部寿男 (京大)・曾根原 登 (NII)

3. 運用ドキュメントの分類と構造化 波田野裕一 (jus)

4. SINET4 におけるマルチレイヤネットワークの運用 ○青木道宏・佐山純一・鷹野真司 (NII)

5. トポロジーデータベースを利用したネットワークの自動設定変更 ○寺本泰大・岡部寿男 (京大)・新 麗 (IIT-II)

データセンタネットワーク

6. データセンタ運用の今後の課題 ○金田克己 (IIT)・

告 19

新 麗 (IIJ-II)

7. データセンターネットワーク運用の課題に対する OpenFlow 適用性の検討 ○淀野直弥・内藤厚典・川村聖一 (ビッグロブ)
8. OpenFlow の広域化におけるトンネル技術の考察
○金海好彦・齋藤修一 (NEC)・石井秀治・河合栄治 (NICT)
9. データセンターネットワークの技術動向と相互接続性
宇多 仁 (北陸先端大)
10. 広域分散クラウドへの挑戦と課題 関谷勇司 (東大)
11. DR を実現する広域分散型クラウドストレージアーキテクチャの検討 中川都夫 (インテック)

◆JANOG29 ミーティング共催

◎研究会終了後に懇親会を予定していますので、是非御参加下さい。
懇親会費：3,000 円 (予定)

☆IA 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

2 月 22 日 (水)～24 日 (金) 機械振興会館 [締切済] テーマ：省エネルギーと超高速ネットワーク、インターネットと環境・エコロジー、一般

3 月 15 日 (木), 16 日 (金) 札幌・石狩 [1 月 13 日 (金)] テーマ：インターネットと情報倫理教育、一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

IA 研究会事務局 (京大学術情報メディアセンター岡部研究室内)
TEL [075] 753-7417, FAX [075] 753-7440
E-mail : ia-submission@mail.ieice.org

◎IA 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/cs/ia/jpn/index.htm>

★コミュニケーションクオリティ研究会 (CQ)

専門委員長 山崎達也 副委員長 高橋 玲・板倉英三郎
幹事 上山憲昭・布目敏郎 幹事補佐 立花篤男

★パターン認識・メディア理解研究会 (PRMU)

専門委員長 山田敬嗣 副委員長 柴藤 稔・大町真一郎
幹事 玉木 徹・藤吉弘巨 幹事補佐 飯山将晃・関 真規人

★マルチメディア・仮想環境基礎研究会 (MVE)

専門委員長 苗村 健 副委員長 柳田康幸・遠藤 守
幹事 川本一彦・橋本直己
幹事補佐 井手一郎・蔵田武志・吉田俊介

◎本研究会は CQ 研究会と PRMU/MVE (共催) 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 1 月 19 日 (木) 9:00～18:45

20 日 (金) 9:00～18:00

会場 大阪電気通信大学寝屋川駅前キャンパス (寝屋川市早子町 12-16。京阪本線：寝屋川市駅下車徒歩 3 分。淀屋橋駅より 20 分、京橋駅より 12 分。 <http://www.osakac.ac.jp/institution/access.html> TEL [072] 820-3829 越後富夫)

議題 実世界センシングとその応用

19 日午前 セッション 1A (9:00～10:30)

PRMU-1. 3 次元点群とテクスチャを用いた 3 次元物体認識と位置姿勢推定 ○水谷諒平・深井寛修・徐 剛 (立命館大)

PRMU-2. 自動ゴミ分別収集ロボットののための能動的物体認識

に関する研究

○有馬拓也・鹿嶋雅之・佐藤公則・渡邊 睦 (鹿児島大)

PRMU-3. 障害者歩行支援のための顔抽出と顔方向の推定

○小山拓哉・宮川道夫・前田義信 (新潟大)

セッション 1B (9:00～10:30)

4. OCR 結果の目視確認一括化

○岩田泰明・大峽光晴・松本俊子・小野山 隆 (日立ソリューションズ)

5. GPU による 3 次元実体のリアルタイム復元 ○原島 諒・築地立家 (東京電機大)

6. 航空写真を事前知識として用いた地上撮影画像からのカメラの位置・姿勢推定 ○関井大気・衆 秀行・佐藤智和・横矢直和 (奈良先端大)

セッション 1C (9:00～10:30)

MVE-7. 遠隔コミュニケーションにおける視覚的共同注意支援のための仮想三次元環境の構築 ○藤川貴史・西口敏司 (阪工大)

MVE-8. スマートフォンを活用した星座検索アプリケーションの提案と試作 ○浦 正広 (名大)・中 貴俊・遠藤 守 (中京大)・毛利勝廣 (名古屋科学館)・安田孝美 (名大)・山田雅之・宮崎慎也 (中京大)

MVE-9. ユーザの視線を感じて視線を合わせる対話ロボット ○小吹健太郎・上田博唯 (京都産大)

セッション 2A (10:40～12:10)

10. 領域特徴量による複雑背景下での人体姿勢推定 ○岡野慎介・浮田宗伯 (奈良先端大)・萩田紀博 (奈良先端大/ATR)

11. グラフカットを利用した視体積交差法と多視点ステレオから得られた点群の統合 ○松田一樹・浮田宗伯・萩田紀博 (奈良先端大/ATR)

12. 中空透明球体上の鏡面反射光を用いた近接光源位置の推定 ○青砥隆仁・武富貴史・佐藤智和・横矢直和 (奈良先端大)

セッション 2B (10:40～12:10)

PRMU-13. 被写体形状・テクスチャの球面展開に基づく 3 次元物体認識 ○藪下浩子・島村 潤・森本正志 (NTT)

PRMU-14. RCA を用いた局所特徴変換法と生活支援用一般物体認識への応用 ○西村朋己・呉 海元・瀧 寛和・三浦浩一 (和歌山大)

PRMU-15. 曲線あてはめにおける特徴空間についての一考察 ○藤木 淳・赤穂昭太郎 (産総研)

セッション 2C (10:40～12:10)

CQ-16. 嗅覚を利用したネットワーク型ゲームにおけるネットワーク遅延が利用者間の公平性に及ぼす影響 ○星野聡介・石橋 豊・福嶋慶繁・菅原真司 (名工大)

CQ-17. P2P データストレージシステムにおけるユーザ行動モデルに関する考察 ○内田真人・飯塚秀明 (九工大)・杉野 勲 (総務省)

CQ-18. IPTV サービスの信頼性評価手法に関する一検討 ○中西靖人・越地弘順・船越裕介 (NTT)・渡邊 均 (東京理科大)

19 日午後 特別講演 1 (13:10～14:10)

共通-19. [特別講演] インターネットにおけるトランスポート層アーキテクチャに関する研究 長谷川 剛 (阪大)

チュートリアル 1 (14:20～15:05)

共通-20. [チュートリアル招待講演] 魅力的 3D 映像の制作技術 田中 勉 (DCAJ)

チュートリアル 2 (15:10～15:55)

共通-21. [チュートリアル招待講演] 3D コーデック技術の概要
鈴木輝彦 (ソニー)

セッション 3A (16:05~17:35)

PRMU-22. Kinect を用いた 3 次元疎テンプレート追跡による人物姿勢追跡
○四宮洋平・尺長 健 (岡山大)

PRMU-23. シーンの色情報と深度情報の統合による自動物体セグメンテーション
○米谷 竜・木村昭悟・坂野 鋭 (NTT)

PRMU-24. Gaussian Processes に基づく異常予兆検出への多重解像度解析の導入
○尾崎晋作 (和歌山大)・渋谷久恵・前田俊二 (日立)・和田俊和 (和歌山大)

セッション 3B (16:05~17:35)

25. 超精度くりこみ法
○金谷健一 (岡山大)・アリ アルシャラドカー (米シシプー大)・ニコライ チェルノフ (米アラバマ大)・菅谷保之 (豊橋技科大)

26. 楕円当てはめの精度比較: 最小二乗法から超精度くりこみ法まで
○横田健太 (岡山大)・村田和洋・菅谷保之 (豊橋技科大)・金谷健一 (岡山大)

27. 参照物体の鏡像を用いた線形外部カメラキャリブレーション法
○高橋康輔・延原章平・松山隆司 (京大)

セッション 3C (16:05~17:35)

MVE-28. 補色多重化偏光投影による実影のみでアクセス可能な映像情報隠蔽
○三木麻理子・岩井大輔・佐藤宏介 (阪大)

MVE-29. フォトクロミック材料による投影面の反射率変調による高コントラスト投影表示
○日野直登・岩井大輔・佐藤宏介 (阪大)

MVE-30. スマートフォンを用いたコンテンツ検索支援のための動作認識
○嶋谷健太郎・間下以大・宮本大樹・岩田麻佑・原 隆弘・清川 清・竹村治雄・西尾章治郎 (阪大)

セッション 4A (17:45~18:45)

31. ロボット群による大規模実環境の高精度レーザ計測
○鄭 龍振・岩下友美・倉爪 亮・長谷川 勉 (九大)

32. 距離・画像情報を統合したロボットのための屋内環境のカテゴリ識別
○マルチネスモズオスカル・水谷 仁・倉爪 亮・岩下友美・長谷川勉 (九大)

セッション 4B (17:45~18:45)

PRMU-33. SfM システムで構築した実環境 FDTD 数値モデルと GPU による高精度高速電波環境解析
○小関勇気・藤原 脩・園田 潤 (仙台高専)・金澤 靖 (豊橋技科大)・佐藤源之 (東北大)

PRMU-34. 背景変化パターンに着目した固有空間中での時系列フィルタに基づく背景画像推定
○川西康友・椋木雅之・美濃導彦 (京大)

セッション 4C (17:45~18:45)

MVE-35. タブレット端末での利用を考慮した分子軌道描画プログラムシステムの開発
○中 貴俊・秦野やす世・遠藤 守・山田雅之・宮崎慎也 (中京大)

MVE-36. 明度分布と空間的分布が二分される HDR 画像のためのトーンマッピング
○北浦真樹・大倉史生・神原誠之・横矢直和 (奈良先端大)

20 日午前 セッション 5A (9:00~10:30)

1. RGB-D カメラを用いたサービスロボットののための対話物体認識
○福田悠人 (埼玉大)・小林貴訓 (埼玉大/JST さき創)・久野義徳 (埼玉大)

2. 平面板を用いたプロジェクタの効率的なキャリブレーション手法の提案
○清田祥太・川崎 洋 (鹿児島大)

古川 亮 (広島市大)・佐川立昌 (産総研)

3. 光伝播の解析による散乱媒体中の遮蔽物分布推定

○森口翔生・向川康博 (阪大)・松下康之 (マイクロフトリナチア)・八木康史 (阪大)

セッション 5B (9:00~10:30)

PRMU-4. 不足決定系による多クラス識別を用いた顔追跡・認識融合
○尺長 健・中岸久佳 (岡山大)

PRMU-5. 3 次元疎固有テンプレートによる顔追跡・認識融合系の大規模化
○中岸久佳・岡 裕希・尺長 健 (岡山大)

PRMU-6. 対人インタラクションアバタの作成に必要な再生技術の検討
○原 健太・武村紀子 (阪大)・岩井儀雄 (鳥取大)・佐藤宏介 (阪大)

セッション 5C (9:00~10:30)

CQ-7. 音声・映像の非同期が与える心理的効果—使用言語の影響(6)—
○大西 仁 (放送大)・望月 要 (帝京大)

CQ-8. [奨励講演] BGP 不正メッセージ検出法
○姜 鵬・渡里雅史・立花篤男・長谷川輝之 (KDDI 研)

CQ-9. モバイル映像配信サービスにおける利用開始判断モデルについての一検討
○恵木則次・岡本 淳・林 孝典 (NTT)

セッション 6A (10:40~12:40)

MVE-10. フリーハンド映像から抽出した壁領域における複合現実型壁紙シミュレーション手法
○上田将司・北原 格・大田友一 (筑波大)

MVE-11. 会話時の眼球の跳躍運動と固視微動の分析及び合成手法の提案
○岩尾知頼・三間大輔・久保尋之・前島謙宜・森島繁生 (早大)

MVE-12. 2 台の全方位カメラを用いた不可視領域のない空撮 HDR 画像の生成
○大倉史生・神原誠之・横矢直和 (奈良先端大)

MVE-13. CSQCC: 従業員行動計測と可視化によるサービス品質管理活動支援
○上岡玲子・天目隆平 (産総研)・新村 猛 (がに／産総研)・蔵田武志 (産総研)

セッション 6B (10:40~12:40)

PRMU-14. 固定監視カメラからの人混み中の行動イベント検出
○和田俊也・篠田浩一 (東工大)

15. 照度変動に対する無意識下での表出行動検出
○北村謙典・武村紀子 (阪大)・岩井儀雄 (鳥取大)・佐藤宏介 (阪大)

16. 低フレームレート映像からの周期画像列復元による歩容認証
○赤江直樹・楨原 靖・八木康史 (阪大)

17. スプライン補間を用いた動画像からのステレオ形状復元
○渡邊 隼・右田剛史・尺長 健 (岡山大)

セッション 6C (10:40~12:40)

PRMU-18. 多方向多色照明下における影情報を用いた映像オドメトリ
○相原克哉・江崎諒介・岩橋政宏・木村哲也 (長岡技科大)

PRMU-19. 幾何制約付 HOG と NFTG を用いた夜間歩行者検出
○前淵啓材・呉 海元・和田俊和 (和歌山大)

PRMU-20. 高分解オプティカルフローに基づく表情推定: 顔表面の並進移動と収縮テンソルのモデル化と同時検出
○ヤン スンハ・安藤 繁 (東大)

PRMU-21. ロボットの遠隔操縦のための顔方向による直感的ウィンドウ切替え操作の検討
○本庄 悠・岩橋政宏 (長岡技科大)

20 日午後 特別講演 2 (13:40~14:40)

22. [特別講演] Kinect を利用したナチュラルユーザインター

フェース (仮題) 千葉慎二 (日本マイクロソフト)

特別講演3 (14:50~15:50)

23. 画像センシング技術を用いたインタラクティブコンテンツ実
用例 中野雄矢 (キヤノン)

セッション7A (16:00~18:00)

24. 自然シーンにおける光源分布の全方位分光計測と解析
○渡邊大輝・平井経太・堀内隆彦・富永昌治 (千葉大)

25. Kinectを用いた顔・髪の毛の追跡 ○鈴木一正・
戚意強・呉海元 (和歌山大)

26. Kinectによる安定な動物体領域抽出のためのカラー画像と
デプスマップの時刻合わせ ○中島秀真・満上育久・
山添大丈 (阪大)・波部 斉 (奈良先端大)・横原 靖・
八木康史 (阪大)

27. KINECTを用いた3次元復元の産業用ロボット教示への応
用 ○原 孝介・安倍 満・佐藤育郎 (デンソーアティラゴトリ)・
神谷孝二 (デンソーウェア)

セッション7B (16:00~18:00)

PRMU-28. 照明変化に堅牢なナンバープレート認識システムの
検討 ○五十住 力・岩橋政宏 (長岡技科大)

PRMU-29. 高位結晶成長ボロノイ図の構成法とその応用
○渡邊誠彌・鹿嶋雅之・佐藤公則・渡邊 睦 (鹿児島大)

PRMU-30. 肌色領域抽出と人物不特定可変テンプレートをを用
いた高速な顔追跡 ○サイモン クリピンゲル・
藤井真人 (NHK)

PRMU-31. The Mechanism of Solution Ambiguity in Estimating
3D Motion Parameters by Homography Decomposition and its
Improvement ○He Liu・Hiroyuki Hase・
Shogo Tokai (Univ. of Fukui)

セッション7C (16:00~18:00)

PRMU-32. ジェスチャインタフェースのユーザビリティ向上に
向けたフィードバック構成 ○中野克己・吉本廣雅・
近藤一晃・小泉敬寛・中村裕一 (京大)

MVE-33. ランドマークDBを利用するビジョンベースMRト
ラッキング法の性能向上に向けての諸方策(2)
○井上敬介・北村一博・一刈良介・柴田史久・木村朝子・
田村秀行 (立命館大)

MVE-34. ステレオスコピック3D映画撮影用ステレオリグを利用
したランドマークDB構築の高精度化 ○豊原由規・
森 尚平・一刈良介・柴田史久・木村朝子・
田村秀行 (立命館大)

MVE-35. アームレスト型コンテキストウェアな無拘束心電計
測装置の試作 ○山本祐也 (近畿大)・黒田知宏 (京大)・
大星直樹 (近畿大)・大城 理 (阪大)

◆情報処理学会; コンピュータビジョンとイメージメディア研究
会連催, 日本バーチャルリアリティ学会複合現実感研究会共催
☆CQ研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

4月19日(木), 20日(金) 石垣島 [未定] テーマ: ユビキ
タス/ブロードバンドネットワーク品質, 映像配信サービス品
質, コンテンツ配信, 品質評価モデル, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

上山憲昭 (NTT)
TEL [0422] 59-4763, FAX [0422] 59-5671
布目敏郎 (名工大)
TEL & FAX [052] 735-7785

E-mail: cq_ac-kanji@mail.ieice.org

◎最新情報は, CQ研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/cq/jpn/>

☆PRMU研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

2月9日(木), 10日(金) 東北大 [締切済] テーマ: 時系列
パターン認識

3月29日(木), 30日(金) 神戸大 [1月6日(金)] テー
マ: 人の視聴覚情報処理とPRMUの接点

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

PRMU研究会幹事宛 E-mail: prmu-kanji@mail.ieice.org

☆MVE研究会

【問合先】

遠藤 守 (中京大)・川本一彦 (千葉大)・橋本直己 (電通大)
TEL & FAX [042] 443-5345
E-mail: mve-apply2011@mail.ieice.org

★磁気記録・情報ストレージ研究会 (MR)

専門委員長 吉田和悦

幹事 山田健一郎・根本広明 幹事補佐 稲葉信幸・小出大一

日時 1月19日(木) 13:00~17:00

20日(金) 9:00~12:00

会場 パナソニック企業年金基金松心会館 (門真市中町1-19,
JR新大阪駅からJR大阪駅で環状線に乗り換え京橋駅下車,
京阪電車に乗車し門真駅下車, 徒歩5分。大阪(伊丹)空港
から大阪モノレール終点の門真駅下車, 徒歩5分。 http://www.m-kyoeikai.jp/contents/k_blog.php?f=v&blogid=3&id=79 TEL [06] 6907-4812)

議題 映像情報機器及び一般

19日

1. 位相ダイバーシティ・ホモダイン検出による多層光ディスク
の層間クロストーク低減 井手達朗・大澤賢太郎・三上秀治・
○渡辺康一 (日立)

2. 位相多値記録再生マイクロプログラム方式光ストレージの検
証実験 三上秀治・大澤賢太郎・達 永里子・
○渡辺康一 (日立)

MR-3. スペックルシフト多重反射型ホログラフィックメモリの
記憶容量 的場 修 (神戸大)

MR-4. クロスバー形状を有するFe細線の磁壁ピニングに関す
る研究 ○高嶋哲平・田中輝光・野田憲司・伊藤圭吾・
松山公秀 (九大)

MR-5. スピンポンピングを用いたp型Siへの室温スピン注入と
スピン輸送 ○久保和樹・仕幸英治 (阪大)・安藤和也・
斎藤英治 (東北大)・新庄輝也・白石誠司 (阪大)

6. AV機器向けコンテンツ転送技術の検討 ○高階 香・
飯野 晋・森田知宏 (三菱電機)

7. [招待講演] 映像記録の進歩—家庭用ビデオも高柳健次郎先
生から始まった— 小林正明 (阪工大)

20日

MR-1. 超高精細スピン注入型空間光変調素子の光変調特性
○町田賢司・船橋信彦・青島賢一・加藤大典・久我 敦・
菊池 宏 (NHK)・石橋隆幸 (長岡技科大)・清水直樹 (NHK)

2. デジタルテレビ向けポインティングデバイスに関する検討

○高橋寛明・志田哲郎・宗石圭市（三菱電機）
MR-3. [招待講演] ECC 媒体におけるマイクロ波アシスト磁気
記録特性の軟磁性層磁気特性依存性 ○田中輝光・
加藤 歩・風呂本至時・松山公秀（九大）

MR-4. マイクロ波アシスト磁化反転における安定反転条件の計
算機解析 ○風呂本至時・加藤 歩・田中輝光・
松山公秀（九大）

MR-5. Co/Cr2O3 薄膜の垂直交換バイアスに対する Pt スペーサ
層の影響 ○武智雄一郎・納富隼人・及川博人・藤田敏章・
白土 優・中谷亮一（阪大工）

◆映像情報メディア学会；マルチメディアストレージ研究会／コン
シューマエレクトロニクス研究会連催。映像情報メディア学
会関西支部、IEEE CE Soc. Japan Chapter 共催

◎19日研究会終了後、懇親会を開催致しますので、多数御参加
下さい。当日会場受付でお申し込み下さい。

日時：1月19日（木） 17：15～ 会場：松心会館（研究会会
場と同じ建物です）

◎最新情報は、MR 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.or.jp/es/mr/jpn/index.html>

★超音波研究会 (US)

専門委員長 金井 浩 副委員長 橋本研也・蜂屋弘之
幹事 土屋隆生・三浦 光 幹事補佐 美谷周二朗

★応用音響研究会 (EA)

専門委員長 三好正人 副委員長 小野一穂
幹事 木村敏幸・大谷 真 幹事補佐 戸上真人

◎本研究会は US 研究会と EA 研究会の併催です。研究会資料は
各研究会ごとに発行されます。

日時 1月26日（木） 10：30～17：45
27日（金） 9：45～16：30

会場 関西大学千里山キャンパス 100 周年記念会館（吹田市山手
町 3-3-35。阪急千里線：関大前下車、徒歩約 5 分。 <http://www.kansai-u.ac.jp/global/guide/accesshtml#senri> TEL
〔06〕6368-0828 梶川嘉延）

議題 音響・超音波サブソサイエティ合同研究会：応用（電気）
音響，超音波，一般

26日午前 EA（10：30～12：00）

EA-1. 非最小位相成分を含む音響空間の 1 点に向けて死角を構
成する手法に関する検討 ○桑原佑輔・吉岡拓人・
藤井健作（兵庫県立大）・棟安実治（関西大）・
森本雅和（兵庫県立大）

EA-2. 強残響下での音声強調が可能な 2 マイクロホンアレーシ
ステムの提案 ○岸本涼鷹・吉岡拓人・
藤井健作（兵庫県立大）・棟安実治（関西大）・
森本雅和（兵庫県立大）

EA-3. 多点制御法を用いた目標方向外音声の低明瞭度化手法
○野村浩一・片岡章俊（龍谷大）

US（10：30～12：00）

US-4. 熱音響システムにおける Phase Adjuster 動作メカニズム
解明に向けて一音響インピーダンスに着目した効率決定要因の
実験的検討 ○佐橋一輝（同志社大）・
坂本眞一（滋賀県立大）・井上 学・渡辺好章（同志社大）

US-5. 熱音響システムの実用化に向けた研究—スタック流路
に関する検討— ○黒田健太郎（同志社大）・
坂本眞一（滋賀県立大）・柳本浩平・中野陽介・
渡辺好章（同志社大）

US-6. Split-step Pade 近似の非線形音場解析への応用
○鎌倉友男・野村英之・グレゴリー T クレメント（電通大）

26日午後 EA（13：00～14：00）

EA-7. ポスタ会議発表音声アーカイブ構築を目的としたブライ
ンド音声抽出の評価 ○岡本広大・宮崎亮一・猿渡 洋・
鹿野清宏（奈良先端大）

EA-8. Evaluation of Musical-Noise-Free Noise Reduction Under
Real Acoustic Environments ○Ryoichi Miyazaki・
Hiroshi Saruwatari・Kiyohiro Shikano（NAIST）・
Kazunobu Kondo（YAMAHA）

US（13：00～14：00）

US-9. 医療用貫通型超音波探触子の基礎特性と針の検出原理
○田中雄介・田中克彦・杉山 進（立命館大）・塩見尚礼・
来見良誠・谷 徹（滋賀医科大）・高橋 修（ジャパフロブ）

US-10. 超音波照射時の分割ファントム内部の温度上昇分布の熱
画像による測定—トランスデューサからファントム内のへ熱伝
達量の推定— ○新川竜大・佐久間 優・田中 伸・
土屋健伸・遠藤信行（神奈川大）

EA & US 共通講演（14：15～17：45）

共通-11. パラメトリックアレイの時間領域シミュレーションと
差音ビーム生成の可視化 ○野村英之・鎌倉友男・
Gregory T. Clement（電通大）・Claes M. Hedberg（BTH）

共通-12. 横波型弾性表面波を用いた直接メタノール燃料電池用
メタノールセンサの開発 ○近藤 淳・遠藤三郎（静岡大）・
佐藤勝彦・沢田直見（スチ）・叶 浩司・森 敏正・
谷津田博美（日本無線）

共通-13. 超音波イメージングにおける生体組織の周波数依存減
衰の影響について—映像化距離に対する送信波形の検討—
秋山いわき（湘南工科大）

共通-14. 可聴音の干渉に基づく移動物体の速度・距離推定法の
検討—様々な送信音に対する比較検討— ○英 慎平・
中山雅人・中迫 昇・篠原寿広・上保徹志（近畿大）

共通-15. [招待講演] 3D 音響技術の実用化へ向けた研究の現
状—情報通信研究機構での取り組み— ○西村竜一・
榎本成悟・加藤宏明・カラン明子・木村敏幸・竹本浩典・
Parham Mokhtari（NICT）

27日午前 EA（9：45～10：45）

EA-1. IEC60318-7, 60268-7 準拠 HATS “SAMAR” に関する
検討と考察—ヘッドホン・イヤホン諸特性測定への応用—
○稲永潔文・伊福部 達（東大）

EA-2. 混合音に対する一次音源の分離方位推定と波面合成法に
ついての複数受聴位置における音像方位提示能の検討
○平田将之・鎌土記良・猿渡 洋・鹿野清宏（奈良先端大）

US（9：45～10：45）

US-3. 顕微 Brillouin 散乱法による骨組織の評価—GHz 域の局所
的音速測定— ○福井健二・坪田 遼（同志社大）・
パンサン マチュウ（Univ. Paris 7）・
ギョーム ハイアット（Univ. Paris Est）・松川真美（同志社大）

US-4. 生体からの超音波エコー信号の振幅分布モデルの検討
○樋口達矢・安原 航・蜂屋弘之（東工大）

EA & US 共通講演（11：00～12：00）

共通-5. 選択的光照射による植物カボック葉からの光熱波／光音

響信号の計測研究 ○得永嘉昭・西脇基晃(金沢工大)・南出章幸(金沢高専)・小木美恵子・平間淳司(金沢工大)
共通-6. 小型音響機器における前気室形状が音響特性へ及ぼす影響について ○川合大介・梶川嘉延・野村康雄(関西大)・宮倉隆志(ホゾ)

27日午後 EA & US 共通講演 (13:00~14:00)

共通-7. [招待講演] 弾性表面波デバイスの開発と実用化を振り返って 門田道雄(村田製作所)

EA (14:15~15:15)

EA-8. 能動騒音制御装置における帰還系の同定法に関する検討 ○酒井龍矢・岩松祐輔・藤井健作(兵庫県立大)・棟安実治(関西大)・森本雅和(兵庫県立大)

EA-9. 外乱にロバストな Modified Error Feedback ANC システムに関する検討 ○奥野真也・梶川嘉延(関西大)

US (14:15~15:15)

US-10. 超音波浮揚板の試作 ○石井孝彦・小山大介・中村健太郎(東工大)・原田佳奈・内田幸義(東芝ロジ)

US-11. 鋼床版亀裂の超音波探傷における入射角調整に関する検討 ○木村友則(三菱電機)・小池光裕・和高修三(菱電湘南エレクトロニクス)・高橋 実・村越 潤(PWRI)

US (15:30~16:30)

US-12. キャピテーション環境下における光ファイバハイドロホンの適用可能性の検討 ○巽 敏之・菊池 圭・小池義和(芝浦工大)・鈴木一成(カイジョー)

US-13. キャピテーション気泡界面領域のOHラジカル濃度 畑中信一(電通大)

◆日本音響学会; 電気音響研究会/超音波研究委員会, IEEE UFFC Society Japan Chapter 共催

◎26日の研究会終了後, 応用音響研究会と超音波研究会の合同懇親会を開催致します。皆様, 是非御参加下さい。

☆US研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

2月23日(木) GEヘルステア・ジャパン[締切済] テーマ: アコースティックイメージング, 一般 日本音響学会; アコースティックイメージング研究会共催

3月 休会

[問合先]

三浦 光(日大)
TEL [03] 3259-0776, FAX [03] 3293-8265
E-mail: miura@ele.cst.nihon-u.ac.jp

土屋隆生(同志社大)
TEL & FAX [0774] 65-6638
E-mail: ttsuchiy@mail.doshisha.ac.jp

◎最新の情報はホームページで御確認下さい。

<http://www.ieice.org/us>

☆EA研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

2月 休会

3月16日(金) 日立中研[1月10日(火)] テーマ: 一般

[発表申込先] 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

[問合先]

大谷 真(信州大工学部)
TEL [026] 269-5474, FAX [026] 269-5495
E-mail: otani@cs.shinshu-u.ac.jp

★フォトニックネットワーク研究会 (PN)

専門委員長 和田尚也

副委員長 荒木壮一郎・坂野寿和・戸出英樹

幹事 大木英司・長谷川 浩

幹事補佐 荒川伸一・品田 聡・釣谷剛宏

★電磁界理論研究会 (EMT)

専門委員長 西本昌彦 副委員長 白井 宏

幹事 藤崎清孝・安藤芳晃 幹事補佐 後藤啓次

★光エレクトロニクス研究会 (OPE)

専門委員長 山内潤治 副委員長 清水健男

幹事 神徳正樹 幹事補佐 小川憲介・植之原裕行

★レーザ・量子エレクトロニクス研究会 (LQE)

専門委員長 勝山 造 副委員長 津田裕之

幹事 宮本智之・篠田和典

★エレクトロニクスシミュレーション研究会 (EST)

専門委員長 橋本 修 副委員長 馬 哲旺・柏 達也

幹事 小野直子・平田晃正 幹事補佐 平野拓一・陳 春平

★マイクロ波・ミリ波フォトニクス研究会 (MWP)

専門委員長 塚本勝俊 副委員長 黒川 悟

幹事 戸田裕之・川西哲也 幹事補佐 岩月勝美・東野武史

日時 1月26日(木) 9:00~18:45

27日(金) 9:00~18:00

会場 大阪大学コンベンションセンター(吹田市山田丘1-1. 大阪モノレール: 阪大病院前駅下車 徒歩約10分. <http://www.osaka-u.ac.jp/ja/access> 丸田章博)

議題 フォトニックNW・デバイス, フォトニック結晶, ファイバとその応用, 光集積回路, 光導波路素子, 光スイッチング, 導波路解析, 一般

26日午前 EST (Room A) (9:00~10:45)

EST-1. 中間周波電界ばく露により人体モデルに誘導される電荷量と刺激閾値の数値検討 ○小山輝欣・平田晃正(名工大)

EST-2. FDTD法による3.5GHz帯EBG基板上逆FアンテナのSAR評価 ○盛田慎也・平田晃正(名工大)

EST-3. Thruパターン埋込みによるICパッケージのインピーダンス測定法—電磁界シミュレーションによる測定精度評価—

○五百旗頭健吾・谷道あゆみ・豊田啓孝(岡山大)

EST-4. 3次元MW-FDTD並列計算を用いた大規模都市モデルにおける雷放電電磁界解析 ○及川貴瑛・

園田 潤(仙台高専)・本間規泰・池川豊年(東北電力)・佐藤源之(東北大)

MWP (Room A) (10:55~11:55)

MWP-5. [招待講演] RF Signal Transport using Fiber

○Charles Cox・Edward Ackerman・Gary Betts・Joelle Prince (Photonic Systems)

MWP-6. [招待講演] High Power Photodiode for Photonic Antenna Application ○Paul K.L. Yu・

William S.C. Chang (UCSD)

26日午後 IEEE IPS Kansai Chapter (Room A) (12:50~13:50) (IEEE Photonics Society Kansai Chapter 併催企画)

7. [招待講演] IEEE Photonics Conference (IPC2011) 参加報

告 戸田裕之 (同志社大)
8. [招待講演] IPC2011 報告「6.3 W InGaN Laser Diode Array
with Highly Efficient Wide-Striped Emitters」(仮題)
吉田真治 (パナソニック)

PN (Room A) (13:55~15:05)
PN-9. [招待講演] 光電子融合型光パケットルータを用いた光
パケット転送実験 ○瀬川 徹・中原達志・須崎泰正・
石川裕士・サラハ イブラヒム・高橋 亮 (NTT)
PN-10. [招待講演] 10G-EPON 光伝送技術
船田知之 (住友電工)

EST (Room A) (15:15~16:55)
EST-11. GPU コンピューティングを用いたインタラクティブ電
磁界シミュレーション 河田直樹・○大久保 寛・
田川憲男 (首都大東京)・土屋隆生 (同志社大)
EST-12. FDTD-SPICE 直接結合法に基づく気中放電の時間領
域シミュレーション ○藤田和広・並木武文 (富士通)
EST-13. レイトレーシング法を用いた市街地道路上における
UHF 帯電波伝搬解析 ○青山良輔・今井 卓・
田口健治・柏 達也 (北見工大)
EST-14. FDTD によるグリッド発振器の解析 ○塩見英久・
岡村康行 (阪大)

EMT (Room A) (17:05~18:45)
15. 三次元点整合法による完全導体球の電磁波散乱解析—レーダ
断面積に対する計算精度の予測— 大貫進一郎・
○小林健一郎・山崎恆樹 (日大)
16. 中空層にひし形誘電体構造をもつ誘電体導波路の伝搬特性と
エネルギー分布 ○尾崎亮介・山崎恆樹 (日大)
17. 人工衛星「まいど1号」で取得した電磁波形に対する考察
○森本健志・菊池博史・吉田 智・牛尾知雄・
河崎善一郎 (阪大/エレクトロニクス)
18. コーティングされた導体円柱による高周波散乱界の拡張
UTD 解 ○レ ホアン ロク・後藤啓次・河野 徹・
石原豊彦 (防衛大)

26 日午前 OPE (Room B) (9:00~10:45)
OPE-19. 二重周期散乱系におけるスペクトル解析
沖田太志 (豊田中研)
OPE-20. 全反射を利用した光完全密閉箱 小林哲郎 (阪大)
OPE-21. 表面誘電率による金属導波路表面プラズモン伝達損失
評価 ○前川政晴・小林郁太郎・山川博司 (東大)
OPE-22. 表面光伝搬のための半導体ハーフクラッド構造の開発
○村上大介・安田真爾・吉岡佑毅 (東京電機大)・山本直克・
赤羽浩一・川西哲也 (NICT)・高井裕司 (東京電機大)

26 日午後 LQE (Room B) (15:15~16:55)
LQE-23. Ru ドープ InP 埋込構造 AlGaInAs 25.8 Gbps 直接変調
DFB レーザ ○外間洋平・境野 剛・柳楽 崇・
山口晴央・鈴木正人・石村栄太郎・杉立厚志・
紫村輝之 (三菱電機)
LQE-24. モードホップフリー波長可変レーザの開発と応用
○布谷伸浩・石井啓之・伊賀龍三・佐藤具就・
大橋弘美 (NTT)
LQE-25. プリント用 780 nm 帯 40ch 光書き込み VCSEL アレイ
○軸谷直人・原 敬・伊藤彰浩・庄子浩義・上西盛聖・
本村 寛・原坂和宏・菅原 悟・佐藤俊一 (リコー)
LQE-26. 中赤外垂直遷移型 DFB 量子カスケードレーザ (QCL)
の試作 ○橋本順一・辻 幸洋・稲田博史・三浦貴光・
村田 誠・吉永弘幸・八木英樹・加藤隆志・村田道夫・

勝山 造 (住友電工)
MWP (Room B) (17:05~18:45)
MWP-27. [招待講演] MWP2011 報告
○大柴小枝子 (京都工繊大)・菅野敦史 (NICT)・
久武信太郎 (阪大)

MWP-28. EO 電界センサによる 100 GHz 帯アンテナの近傍界計
測 ○森本雄太・久武信太郎 (阪大)・味戸克裕・
久々津直哉・都甲浩芳 (NTT)・永妻忠夫 (阪大)
MWP-29. 1.5 μ m 帯 CW 励起による低温成長 GaAs を用いたテ
ラヘルツ波のホモダイン計測 ○北原元貴・
久武信太郎 (阪大)・味戸克裕・久々津直哉・
ソン ホ ジン (NTT)・永妻忠夫 (阪大)
MWP-30. High-Speed Guided-Wave Electro-Optic Modulators
Using an Array of Gap-Embedded Patch Antennas with Phase
Reversal ○Yusuf Nur Wijayanto・Hiroshi Murata・
Yusuyuki Okamura (Osaka Univ.)

27 日午前 EMT (Room A) (9:00~10:40)
1. 時空間格子を用いた電磁波計算に関する検討
清水辰吾・美船健・○松尾哲司 (京大)
2. ナノ金粒子の集まりに励起される局在プラズモン
○松田豊稔・小田川裕之・歌丸集 (熊本高専)・
川野光則 (Lumerical Solutions)
3. 周期構造に励起される表面プラズモンの偏光とその応用
○小田川裕之・松田豊稔 (熊本高専)
4. 光 QAM 符号識別用光導波路回路の提案 ○井下健輔・
岸川博紀・牧本宜大・後藤信夫・柳谷伸一郎 (徳島大)

PN (Room A) (10:50~12:05)
PN-5. 低消費電力化に向けた光アクセスネットワークアーキテ
クチャ及び ONU スリープモードに関する一検討
○樋口雄紀・島田悠司・佐藤丈博・徳橋和将・石井大介・
岡本 聡・山中直明 (慶大)
PN-6. デジタルコヒーレント技術のネットワーク化
太田昌孝 (東工大)
PN-7. SOA における多値変調光バースト信号に対するパターン
効果の解析とその補償法 ○神谷尚秀・吉田悠来 (阪大)・
木下 進・石川丈二 (富士通研)・北山研一 (阪大)

27 日午後 EST (Room A) (13:00~15:05)
EST-8. 円盤型ポスト壁導波路を用いたミリ波 in-vitro 曝露装置
の検討 ○椎名健雄・鈴木敬久・多氣昌生 (首都大東京)
EST-9. 楕円形円偏波パッチアンテナによる電子レンジの加熱む
ら改善に関する基礎検討 須賀良介・○秋友克哉 (青学大)・
大森義治 (パナソニック)・橋本 修 (青学大)
EST-10. ミリ波を用いた缶内圧の異なる缶底形状測定に関する
一検討 ○高野茂倫・須賀良介・安住壮紀 (青学大)・
伊集院太一・高富哲也 (大和製罐)・橋本 修 (青学大)
EST-11. ETC ゲート天井部に設置された電波吸収体特性の測定
法に関する一検討 ○神谷那由他・安住壮紀 (青学大)・
松下之憲・松田靖之 (NEXCO 総研)・橋本 修 (青学大)
EST-12. ダイオードの等価回路パラメータによるシャント形
RF-DC 変換回路の効率解析 ○和木輝彦・田丸翔一・
近藤和洋・藤森和博・鶴田健二 (岡山大)

EST/EMT (Room A) (15:15~16:30)
EST-13. シリコン CMOS オンチップマイクロストリップ線路に
埋め込んだダミーメタルフィル充填率とサイズの伝送特性への
影響評価 ○平野拓一・岡田健一・広川二郎・
安藤 真 (東工大)

EST-14. 微小金属における電荷分布の時間応答解析—表面近傍にダイポールを置いた場合— 岸本誠也・○朝比奈亜弓・大貫進一郎・大月 穰 (日大)

15. 正弦波エッジによるスカラー平面波の散乱 ○井筒智也・小見山 彰 (阪電通大)

EMT (Room A) (16:40~18:00)

16. サブヘルツ電磁波の観測による地震の短期予測について 塩澤俊之 (阪大)

17. 電磁波伝搬新論—発散係数 α の導入とヘルツベクトル Π の修正 高橋秀臣 (城所数値解析耐震研究室)

18. 誘電体円柱による平面波散乱の摂動解析—内部電界と遠方散乱界— ○石田成慶・小見山 彰 (阪電通大)

27 日午前 OPE (Room B) (9:00~10:40)

OPE-19. スペックル制御のための導波型分極反転構造電気光学変調器 ○古庄恵太・村田博司・岡村康行 (阪大)

OPE-20. 共振器直交集積導波モード共鳴フィルタの基礎検討 ○間嶋竜也・井上純一・畑中浩司 (京都工織大)・金高健二 (産総研)・西尾謙三・粟辻安浩・裏 升吾 (京都工織大)

OPE-21. スロット導波路における曲げ損失の構造依存性評価 ○齋藤 祐・川口雄揮・齊藤晋聖・小柴正則 (北大)

OPE-22. LCOSを用いたグリッドレス波長選択スイッチ 桜井康樹・○川杉昌弘・堀田雄二・高牟禮弘和・竹内克佳・上原 昇 (santec)

OPE-21. スロット導波路における曲げ損失の構造依存性評価 ○齋藤 祐・川口雄揮・齊藤晋聖・小柴正則 (北大)

OPE-22. LCOSを用いたグリッドレス波長選択スイッチ 桜井康樹・○川杉昌弘・堀田雄二・高牟禮弘和・竹内克佳・上原 昇 (santec)

MWP (Room B) (10:50~12:05)

MWP-23. RoFを活用した地域WiMAXシステムによるデジタルデバインド解消の提案 ○熊本和夫・児玉 航・安川交二 (阪工大)

MWP-24. WDM-PONを用いたRoF分散アンテナシステムにおける無線セル構成の検討 ○宮本健司・岩國辰彦・東野武史・塚本勝俊・小牧省三 (阪大)・田代隆義・深田陽一・可見淳一・吉本直人・岩月勝美 (NTT)

MWP-25. 光10Gイーサネットを用いたRF信号伝送の実験的検討 ○小塚 亮・東野武史・塚本勝俊・小牧省三 (阪大)

MWP-25. 光10Gイーサネットを用いたRF信号伝送の実験的検討 ○小塚 亮・東野武史・塚本勝俊・小牧省三 (阪大)

27 日午後 OPE (Room B) (13:00~15:05)

OPE-26. シングルトレンチ型SiON導波路TE-TMモード変換器 ○中山謙一・庄司雄哉・水本哲弥 (東工大)

OPE-27. マイクロリングプロセッサのためのアクティブマイクロリング全光論理ゲートの提案 ○矢島英樹・荒川太郎・國分泰雄 (横浜国大)

OPE-28. 複素ニューラルネットワークを用いた光ラベル処理における入力信号に関する検討 ○溝手健悟・岸川博紀・後藤信夫・柳谷伸一郎 (徳島大)

OPE-29. 非対称X結合器を用いたBPSKラベル識別回路における識別符号数の拡張 ○井原彰人・岸川博紀・後藤信夫・柳谷伸一郎 (徳島大)

OPE-29. 非対称X結合器を用いたBPSKラベル識別回路における識別符号数の拡張 ○井原彰人・岸川博紀・後藤信夫・柳谷伸一郎 (徳島大)

OPE-30. 石英系平面光波回路プラットフォームを用いたヘテロジニアス集積型光受信デバイス ○倉田優生・那須悠介・田村宗久・村本好史・横山春喜 (NTT)

OPE-30. 石英系平面光波回路プラットフォームを用いたヘテロジニアス集積型光受信デバイス ○倉田優生・那須悠介・田村宗久・村本好史・横山春喜 (NTT)

LQE (Room B) (15:15~16:30)

LQE-31. マルチスポット形成位相変調グレーティング結合器集積化GaInP量子井戸DBRレーザ ○上向井正裕・上西健吾・栖原敏明 (阪大)

LQE-32. フォトニック結晶レーザによる長焦点深度・微小集光の生成 ○北村恭子・西本昌哉・酒井恭輔・野田 進 (京大)

LQE-33. 多重量子井戸マイクロリング・マッハツェンダー光変

調器 ○荒川太郎・金重明宜・山田 齊・上山雄太・國分泰雄 (横浜国大)

LQE (Room B) (16:40~18:00)

LQE-34. 半導体マッハツェンダー変調器の吸収平衡化変調の検討 ○松田恵介・望月敬太・杉原隆嗣・有賀 博 (三菱電機)

LQE-35. 紫外照射下電圧印加分極反転MgO:LiNbO₃導波路擬似位相整合第2高調波発生デバイス ○北戸英理・井上敏之・藤村昌寿・栖原敏明 (阪大)

LQE-36. 周期分極反転MgO:LiNbO₃を用いた電気光学ブラッグ偏向型光変調器 ○井上敏之・栖原敏明 (阪大)

LQE-36. 周期分極反転MgO:LiNbO₃を用いた電気光学ブラッグ偏向型光変調器 ○井上敏之・栖原敏明 (阪大)

◆電気学会; 電磁界理論技術委員会連催
◎IEEE Photonics Society Kansai Chapter 併催

☆PN研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
3月12日(月), 13日(火) 五島市IT振興センター [未定]

テーマ: フォトニックネットワーク関連技術, 一般
【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmouushikomi.html>

【問合先】
大木英司 (電通大)

TEL [042] 443-5195, FAX [042] 443-5926
E-mail: oki@ice.uec.ac.jp

長谷川 浩 (名大)

TEL [052] 789-4423, FAX [052] 789-3641
E-mail: hasegawa@nuee.nagoya-u.ac.jp

☆EMT研究会
【問合先】
藤崎清孝 (九大)

E-mail: emt-secretary@ns.ieice.org

◎最新情報は, EMT研究会ホームページを御覧下さい。
<http://www.ieice.org/emt/jpn/>

☆OPE研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
3月2日(金) 機械振興会館 [12月1日(木)] テーマ: 光波センシング, 光波制御・検出, 光計測, ニューロ, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmouushikomi.html>

【問合先】
神徳正樹 (NTTフォニクス研究所)

〒243-0198 厚木市森の里若宮3-1
TEL [046] 240-4066, FAX [046] 240-4301

E-mail: kotoku@ael.ntt.co.jp

小川憲介 (フジクラ)

〒285-8550 佐倉市六崎1440
TEL [045] 924-5038, FAX [043] 481-1210

E-mail: kenogawa@lab.fujikura.co.jp

植之原裕行 (東工大)

〒226-8503 横浜市緑区長津田4259 R2-43
TEL & FAX [045] 924-5038

E-mail: uenohara.h.aa@m.titech.ac.jp

◎OPE研究会ホームページ
<http://www.ieice.or.jp/es/ope/>

◎OPE研究会では, H18年度より「学生優秀研究賞」を新設しました。学生の方の発表の中から特に優れた研究を表彰致しますので, 積極的な御投稿をお待ちしています。詳細は研究会HPを御覧下さい。

☆LQE 研究会

【問合せ先】

宮本智之 (東工大)

TEL [045] 924-5059, FAX [045] 924-5977

E-mail: tmiyamot@pi.titech.ac.jp

篠田和典 (日立)

TEL [042] 323-1111, FAX [042] 327-7786

E-mail: kazunori.shinoda.nv@hitachi.com

◎LQE 研究会ホームページ <http://www.ieice.org/lqe/jpn/>

◎LQE 研究会では平成 18 年度より「LQE 奨励賞」を設けました。対象は発表年度の 4 月 1 日時点で 32 歳以下の若手研究者 (学生を含む) です。積極的に御投稿下さい。

☆EST 研究会

【問合せ先】

陳 春平 (神奈川大)

E-mail: est-entry@mail.ieice.org

☆MWP 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

4 月 6 日 (金) 機械振興会館 [1 月 16 日 (月)] テーマ: 高速光変調器特集—マイクロ波フォトニクスのキーデバイス—

高速光変調は、Radio-Over-Fiber (ROF) をはじめとして、マイクロ波・ミリ波フォトニクス分野において基本的かつ非常に重要な技術です。現在、長距離光ファイバ通信システムでは、LiNbO₃ ベースの強度変調器やベクトル光変調器が用いられていますが、化合物半導体 (InP, GaAs/InGaAs) や EO ポリマーを用いた高速光変調器も注目を集めています。更には Si ベースの光デバイスの進歩も目覚ましいものがあり、半導体光増幅器 (SOA) を用いた光変調も報告されています。しかしながら、これらの光変調器は、それぞれ個別の学会や研究会で議論されることが多く、それらの動向や詳細を掴みにくくなっているのが現状です。そこで、本研究会において、LiNbO₃, 化合物半導体, EO ポリマー, Si, SOA 等を用いた光変調器について、第一線の研究者の方々に、最近の動向についての招待講演をお願いするとともに、高速光変調器・光変調応用技術関係の講演を広く募集致します。皆様の積極的な御応募をお待ちしております。

担当 村田博司 (阪大)・榎原 晃 (兵庫県立大)・

近藤順悟 (日本ガイ)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/ken/program/index.php?tgid=MWP>

【問合せ先】

戸田裕之 (同志社大)・川西哲也 (NICT)

E-mail: mwp-inquiry@mail.ieice.org

◎最新情報は、MWP 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~mwp/>

— 四国支部における開催 —

★光ファイバ応用技術研究会 (OFT)

専門委員長 小倉邦男

幹事 伊藤文彦・椎野雅人 幹事補佐 小山 良・今村勝徳

日時 1 月 19 日 (木) 13:30~18:10

20 日 (金) 9:00~12:10

会場 サポートホール高松 6 階 61 会議室 (高松市サポート 2-1. JR 高松駅から徒歩 3 分. <http://www.sunport-hall.jp/>)

第一種研究会開催案内

shisetu/access.htm TEL [087] 825-5000)

議題

19 日

1. [招待講演] ECOC2011 報告—光ファイバ関連—
林 哲也 (住友電工)
2. [招待講演] IWCS2011 報告 塚本昌義 (古河電工)
3. [招待講演] 光ファイバ関連技術の国際標準化動向
○中島和秀・荒木則之・古敷谷優介 (NTT)
4. マルチコアファイバのクロストーク低減に関する検討
○田中正俊・山本哲也・木下貴陽・楠 修一・
谷口浩一 (三菱電線)
5. 大 Aeff 低損失トレンチ型マルチコアファイバ
○今村勝徳・武笠和則・杉崎隆一 (古河電工)
6. 空孔遮蔽型マルチコアファイバの開発 ○姚 兵・
椎名則文・大藪和正・福里宏史・本郷晃史・
小倉 明 (日立電線)・関谷晴彦エジソン・
齋藤和也 (豊田工大)
7. PCF シングルモード励振器を用いたマルチモード光ファイバ
の広波長域波長多重伝送 ○馬 麟・半澤信智・辻川恭三・
富田 茂 (NTT)
8. 新波長帯域 T-バンドと従来波長帯域 C-バンド同時の 4×10-
Gbps 偏波多重ホーリーファイバ光伝送
○小見川 祐 (青学大)・山本直克・菅野敦史・
川西哲也 (NICT)・倉田泰成・外林秀之 (青学大)
9. A Transfer-Matrix Method for Analyzing Non-uniform Co-
directional Fiber Grating Couplers and Comparison between
Measured and Calculated Transmission Spectra
Fatemeh Abrishamian・
○Katsumi Morishita (Osaka Electro-Comm. Univ.)
10. PON を用いた光アクセス網におけるラマン増幅の検討
加島宜雄・○佐々木悠三・遠藤宏紀 (芝浦工大)

20 日

1. 光ファイバ端面検査ツールの開発 ○岡田 勝・
木原 満・細田 誠・豊永雅信 (NTT 東日本)
2. 劈開端面を用いたシングルモードファイバのフィジカルコン
タクト接続に関する検討 ○小山 良・泉田 史・
倉嶋利雄 (NTT)
3. 融着型現場組立 MPO コネクタの開発 ○高橋茂雄・
瀧澤和宏・チャン バオリー・緒方和也 (Jikou)
4. 光ファイバ側方入射法を用いた PON 分岐下部の現用/非現
用確認技術 ○本田奈月・納戸一貴・廣田栄信・
東 裕司 (NTT)
5. 光ファイバ側方出射法を用いた光通話モニタ技術に関する検
討 ○納戸一貴・本田奈月・廣田栄伸・真鍋哲也・
東 裕司 (NTT)
6. 効率的な光線路設備運用のための小型かつ大容量な光識別素
子の検討 ○古敷谷優介・荒木則幸・鬼頭千尋・
伊藤文彦 (NTT)
7. 高信頼な FTTH ネットワーク構成法の検討—ハイブリッド
WDM/TDM-PON の適用について— ○坪川 信・
城戸崇志 (早大)・本田奈月・東 祐司 (NTT)

◎19 日研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆OFT 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

3 月 2 日 (金) 機械振興会館 [締切済] テーマ: 光波センシ
ング, 光波制御・検出, 光計測, ニューロ, 一般

【問合先】

今村勝徳 (古河電工)
TEL [0436] 42-1728, FAX [0436] 42-9340
E-mail : imamura.katsunori@furukawa.co.jp

★システム数理と応用研究会 (MSS)

専門委員長 平石邦彦 副委員長 中村祐一
幹事 中村正樹・山口真之介 幹事補佐 西脇大輔

★ソフトウェアサイエンス研究会 (SS)

専門委員長 関 浩之 副委員長 中島 震
幹事 高田喜朗・満田成紀 幹事補佐 鷺崎弘直

日時 1月26日(木) 9:30~18:15
27日(金) 9:00~12:15

会場 高知市文化プラザかるぽーと9階第3学習室(高知市九反田2-1。JR高知駅から徒歩20分。またははりまや橋観光バスターミナルから徒歩3分。または土佐電鉄(路面電車)はりまや橋駅から徒歩7分。菜園場駅から徒歩3分。http://www.bunkaplaza.or.jp/access/index.html 高田喜朗(高知工科大))

議題

26日午前

- 音声つばやきによる看護・介護の時空間コミュニケーション
○内平直志・鳥居健太郎・知野哲朗(東芝)・平林裕治(清水建設)・平石邦彦・杉原太郎(北陸先端大)
- フィジカルコンピューティングのためのスマートフォンを用いた開発環境の提案
○上村祐加・高田喜朗(高知工科大)
- コスト予測における対数変換すべき変数の判別手法の評価
○三好健太(香川高専)・生方克馬(NRI)・柿元 健(香川高専)・楠本真二(阪大)
- アーキテクチャ点写像による設計・コード間の双方向追跡
○鶴林尚靖・亀井靖高(九大)
- SMTソルバーを用いたUML状態機械の有界モデル検査に関する一考察
○新村勇人・宮本俊幸(阪大)

26日午後(13:15~)

- cbUMLのコミュニケーション図から状態機械への変換およびそれらの形式的意味について
○長谷川泰央・宮本俊幸(阪大)
- 拡張自由選択ワークフローネットとそのサブネット間の振舞い継承について
○平川智悠・山口真悟(山口大)
- 関数呼び出しを持つプログラムの非線形ループ不変式の自動生成
○鈴木英一・坂部俊樹・酒井正彦・草刈圭一郎・西田直樹(名大)
- 語問題を基底等式集合の語問題に帰着可能な等式集合のクラスについて
○坂井利光・酒井正彦・坂部俊樹・西田直樹・草刈圭一郎(名大)
- 単純型付き項書換え系における書換え帰納法について
○尾関 朗・草刈圭一郎・坂田 翼・西田直樹・酒井正彦・坂部俊樹(名大)
- 高階書換え系における引数切り落とし関数の下での実効規則について
○大井一展・草刈圭一郎・酒井正彦・坂部俊樹・西田直樹(名大)
- 分解法に基づく2目的巡回セールスマン問題の解法とその評価
○稲本浩也・橋爪 悟・矢野智之・橋爪 進・小野木克明(名大)

13. [招待講演] サイバーフィジカルシステムの数理

田崎勇一(名大)

27日

- [招待講演] 区間制約プログラミングの研究事例: under-constrained 問題のための射影手法とハイブリッドシステムの高精度シミュレーション手法
石井大輔(NII/INRIA)
- 2台のエレベーターにおけるピーク電力抑制と利便性を両立する制御手法
高橋宏治(東工大)
- 複数の確率的遅延を有するネットワーク化システムの制御
○小林孝一・平石邦彦(北陸先端大)
- 複数のプロジェクトに属する作業者の作業優先順序決定支援システム
○比護徹治・森 一樹(芝浦工大)・橋浦弘明(東洋大)・古宮誠一(芝浦工大)
- 離散事象システムの分散型故障診断における冗長性解析
○中田修平・高井重昌(阪大)

◎26日研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆MSS研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

3月8日(木), 9日(金) 北陸先端大東京サテライト [未定]
テーマ: 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合先】

中村正樹(富山県立大)
TEL [0766] 56-7500(内639)
E-mail : masaki-n@pu-toyama.ac.jp

☆SS研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

3月13日(火), 14日(水) てんぶす那覇 [未定] テーマ: 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合先】

高田喜朗(高知工科大)
TEL [0887] 57-2207, FAX [0887] 57-2220
E-mail : takata.yoshiaki@kochi-tech.ac.jp

◎最新の情報はSIGSS研究会ホームページで御確認下さい。

http://www.info.kochi-tech.ac.jp/sigss/

九州支部における開催

★アンテナ・伝播研究会 (A・P)

専門委員長 宇野 亨 副委員長 菊間信良
幹事 山口 良・石井 望 幹事補佐 有馬卓司

日時 1月10日(火) 9:30~17:00

会場 Tenbusu Naha (3-2-10 Makishi, Naha-shi, Okinawa, Japan. 5 min. walk from Makishi station of Yui rail. http://tenbusu.jp/index.html TEL 090-3200-4442 Ryo Yamaguchi)

議題 2012 Korea-Japan Antennas and Propagation Workshop

- Opening Address
T. Uno (Chair of Technical Committee on AP of IEICE)・K.S. Min (Chair of Technical Committee on AP of KIEES)・Y.J. Yoon (President of KIEES)
- Small Broadband Antenna Using Composite Right/Left-Handed Transmission Line for Mobile Handsets
○Naobumi Michishita・Hirohisa Kitahara・Yoshihide Yamada (National Defense Academy)

3. Circular polarization metamaterial superstrates excited by a CRLH antenna ○Sungtek Kahng · Kyung-seok Kahng · Seongryong Yoo (Univ. of Incheon) · Jeongho Ju (ETRI)
4. Radiation Pattern of Array-fed Imaging Reflector Antenna for 21 GHz-band Satellite Broadcasting System Masafumi Nagasaka · Susumu Nakazawa · Shoji Tanaka (NHK) · Kazuyoshi Shogen (B-SAT)
5. Metamaterial Zeroth-Order Resonant Antenna for Vehicle Applications Gunyoung Kim · Bomson Lee (Hyung Hee Univ.)
6. Millimeter-wave Planar Broadband Antennas for Array Antenna Elements and RF Packages Kunio Sakakibara · Arata Hasegawa · Nobuyoshi Kikuma · Hiroshi Hirayama (Nagoya Inst. of Tech)
7. Intercomparison of R-band Antennas Jin-Seob Kang · Jeong-Hwan Kim · Jeong-Il Park · No-Weon Kang (KRISS)
8. Plate-laminated-waveguide slot array antennas Jiro Hirokawa (Tokyo Inst. of Tech.)

午後

9. A consideration of a microstrip antenna array with a stub element fed by a rectangular waveguide Yuichi Kimura · Akira Yoshida · Misao Haneishi (Saitama Univ.)
10. Methods for Reducing the Back Radiation of a Microstrip Patch antenna with a Finite Size Ground Plane Hongmin Lee · Wonsang Choi (Kyonggi Univ.)
11. Measurement of whole body SAR by using Wheeler method and its FDTD simulation Takuji Arima · Toru Uno (Tokyo Univ. of Agric. & Tech.)
12. PML-FDTD Modeling and Analysis of SPP Structures Kyung-Young Jung (Hanyang Univ.)
13. Calibration Using the Characteristics of the Jigs for the S-parameter Method Shohei Konya · Takayuki Sasamori · Teruo Tobana · Yoji Isota (Akita Prefectural Univ.)
14. Design of a Cavity-backed Passive RFID Tag Antenna for Read-range Enhancement Junho Yeo (Daegu Univ.)
15. Radiation Efficiency Measurement Based on Wheeler Method Using 90-degree 3 dB Hybrid Coupler and Sliding Short Nozomu Ishii · Yohei Kobayashi (Niigata Univ.)
16. RF-Performance Analysis of Reconfigurable Antennas with RF-Switches in the Far-Field Insu Yeom · Chang Won Jung (Seoul National Univ. of Science and Tech.)
17. Experimental Validation of Amplitude-only Measurement Method for Element Fields in Phased Arrays Toru Takahashi · Yoshihiko Konishi · Isamu Chiba (Mitsubishi Electric)
18. Design of a Resistive Vee Dipole for Ultra-wideband Radar Applications Kangwook Kim · Seunghoon Han (GIST)
19. Evaluation of Conventional Shadow Fading Model Using Wavelet Analysis Tetsuro Imai (NTT DOCOMO)
20. Design of dual band and dual polarization array antenna for radar application Youngki Lee · Jaehoon Choi (Hanyang Univ.)
21. Location Estimation of Multiple Near-field Broadband Sources by Combined Use of DOA-Matrix Method and SAGE

第一種研究会開催案内

Algorithm in Array Antenna Processing

○Nobuyoshi Kikuma · Takahiro Hirano · Hiroshi Hirayama · Kunio Sakakibara (Nagoya Inst. of Tech.)

22. Closing Address N. Kikuma (Vice Chair of Technical Committee on AP of IEICE)

◆IEEE AP-S Japan Chapter, Fukuoka Chapter 共催

◎Banquet will be started at 6 PM on Jan. 10 (Venue: T. B. D.).

☆A・P研究会今後の予定 []内発表申込締切日

1月18日(水)~20日(金) 九工大〔締切済〕テーマ:電波伝搬, 一般

2月9日(木), 10日(金) NHK 広島〔12月10日(土)〕テーマ:放送技術, 一般

3月15日(木), 16日(金) 熱海〔1月10日(火)〕テーマ:一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

石井 望 (新潟大)

E-mail: ap_ac-secretary@mail.ieice.org

★アンテナ・伝播研究会 (A・P)

専門委員長 宇野 亨 副委員長 菊間信良

幹事 山口 良・石井 望 幹事補佐 有馬卓司

日時 1月18日(水) 9:45~17:00

19日(木) 9:35~17:00

20日(金) 9:55~16:50

会場 九州工業大学工学部戸畑キャンパス(北九州市戸畑区仙水町1-1. JR 鹿児島本線:九州工大前駅から徒歩6分. <http://www.kyutech.ac.jp/information/map/tobata.html> 市坪信一)

議題 電波伝搬, 一般

18日午前 AP研オーガナイズドセッション「無線通信の明日を支える電波伝搬の研究」I

1. 市街地 700 MHz 帯路車間通信環境における電波伝搬損失モデル ○浦山博史・白永英晃・山田雅也(住友電工)・平山泰弘・杉浦泰伸・澤田 学(アソフ)

2. 住宅地低層-低層環境における伝搬損モデルの異なる環境に対する適用性の検証 ○佐々木元晴・山田 渉(NTT)・伊藤俊夫(NTT 東日本)・北 直樹・杉山隆利(NTT)

3. 住宅地における端末間干渉電力の時変動モデル ○山田 渉・佐々木元晴・北 直樹(NTT)・伊藤俊夫(NTT 東日本)・杉山隆利(NTT)

AP研

4. 小型端末用ループアンテナの提案と評価 ○小笠原恒平・大越祐輔・前山利幸(拓殖大)

5. 右手/左手系複合伝送線路を利用した小形広帯域携帯端末用アンテナ ○北原裕久・道下尚文・山田吉英(防衛大)

6. HBC 用電極構造に関する検討 ○加納 唯・ロスリナ ビンティアブドゥルラザック・須郷剛裕・前山利幸(拓殖大)

18日午後 AP研オーガナイズドセッション「無線通信の明日を支える電波伝搬の研究」II

7. 屋内伝搬環境における時空間チャネル特性の実験的検討 ○北尾光司郎・今井哲朗・齋藤健太郎・岡野由樹・原田浩樹・三浦俊二(NTT ドコモ)

8. 列車内無線サービスにおける乗客を有する車両内伝搬特性の

FDTD 解析 ○日景 隆・入江洋平・野島俊雄 (北大)・
山田 渉・杉山隆利 (NTT)

9. 壁面のある送受信間に複数の人が存在する場合の電波損失特
性の数値的検討 ○和田一将・横田光広 (宮崎大)・
太田喜元・藤井輝也 (ソフトバンク)

10. 人体遮蔽を考慮した屋内 MIMO チャネルモデリング手法
○齋藤健太郎・北尾光司郎・今井哲郎・三浦俊二 (NTT ドコモ)

AP 研

11. シーケンシャル配列を用いた非周期アレーアンテナにおける
軸比特性 ○吉村亮佑・牧野 滋・別段信一・廣田哲夫・
野口啓介・伊東健治 (金沢工大)・
佐竹孝宣 (三菱電機エンジニアリング)・渡辺 光 (三菱電機)

12. 人工グラウンド構造を用いた円偏波マイクロストリップアン
テナのグラウンド形状への依存性 ○野辺陵太・
丸山創太郎・福迫 武 (熊本大)

13. 十字型人工磁気導体の PMC 特性と EBG 特性
○久世竜司・堀 俊和・藤元美俊 (福井大)

14. 平行平板導波管内にある円形マクロストリップアンテナの入
力インピーダンスに関する理論検討 ○中本成洋・
岡 智広・北沢祥一・伴 弘司・小林 聖 (ATR)

AP 研歴史委員会特別講演

15. [特別講演] 放送アンテナ技術の発展とスーパーハイビジョ
ン時代への課題 (口頭発表) 正源和義 (B-SAT)

19 日午前 AP 研オーガナイズドセッション「無線通信の明日を
支える電波伝搬の研究」III

1. スケールモデル手法を用いた都市内の伝搬損失—多重スク
リーンモデルとの比較— ○宮田真之・荒木圭矢・
市坪信一 (九工大)

2. 屋外 LOS 環境における時空間電波伝搬プロファイルの周波数
特性 ○表 英毅・杉田洋祐・太田喜元・
藤井輝也 (ソフトバンクモバイル)

3. ウェーブレット解析に基づく伝搬損失推定モデルの精度評価
法の提案 今井哲朗 (NTT ドコモ)

4. 機械学習を導入したレイトラッキングシステムについて
○國方篤史・今井哲朗 (NTT ドコモ)

AP 研チュートリアル講演

5. [チュートリアル講演] マイクロセル移動伝搬の周波数特性
○市坪信一・宮田康正・川島大地 (九工大)

19 日午後 AP 研

6. PI アルゴリズムによるインバータノイズの低減
○松岡健人・藤元美俊・堀 俊和 (福井大)

7. モーメント法を用いた金属板装荷キャパシタンスグリッドの
解析 ○丹羽一城・牧野 滋・別段信一・廣田哲夫・
野口啓介・伊東健治 (金沢工大)・徳永 淳 (太洋無線)

8. 損失を考慮したループスロット型人工磁気導体の設計法
○村上靖宜・堀 俊和・藤元美俊 (福井大)

9. カトリ・ラオ積拡張アレーを用いた DOA 推定誤差と改善法
に関する一検討 ○青柳岳泰・山田寛喜・山口芳雄 (新潟大)

AP 研オーガナイズドセッション「無線通信の明日を支える電波
伝搬の研究」IV

10. 屋外、屋内及び屋外-屋内伝搬特性を考慮したヘテロジニー
アスネットワークにおける干渉量評価 ○小松原 祥・
西森健太郎 (新潟大)・北尾光司郎・今井哲朗 (NTT ドコモ)

11. 信号点再生中継における無給電素子を用いた伝送特性改善法
の提案 ○木南耕介・本間尚樹 (岩手大)・
西森健太郎 (新潟大)

12. PN 符号スライディング相関を用いる 2.4 GHz 伝搬遅延測定
器のダイナミックレンジ向上の検討 ○御厨正和・
梶原拓史・市坪信一 (九工大)

13. Ka 帯及び Ku 帯衛星回線における降雨減衰変動時間スケ
ールと雨域移動速度の関係について 前川泰之 (阪電通大)

IEEE AP-S Fukuoka Chapter 特別講演

14. [特別講演] アンテナの特性及び損失誘電体近傍の電磁界の
振る舞いにおける実験的検討について—マイクロ波からサブミ
リ波まで— (口頭発表) 松永利明 (福岡工大)

20 日午前 AP 研オーガナイズドセッション「無線通信の明日を
支える電波伝搬の研究」V

1. LCX を用いた列車内 MIMO スループット特性の検討
○川合裕之・北尾光司郎・今井哲朗 (NTT ドコモ)

2. 近距離 MIMO 伝送における簡易受信復号法の提案
○堅岡良知・西森健太郎 (新潟大)・平賀 健・坂元一光・
関 智弘 (NTT)

3. 実データ伝送による近距離 MIMO 伝送の簡易受信復号法の
特性評価 ○平賀 健・坂元一光 (NTT)・堅岡良知・
西森健太郎 (新潟大)・関 智弘・上原一浩 (NTT)

AP 研チュートリアル講演

4. [チュートリアル講演] 屋内端末静止、周辺移動環境下にお
けるチャンネルモデル—端末自移動のチャンネルモデル (Clark
Model) との大きな差異— ○藤井輝也・
太田喜元 (ソフトバンクモバイル)

20 日午後 AP 研

5. 超低姿勢逆 L アンテナを用いた携帯電話基地局アンテナ
○佐藤誠一・田口光雄 (長崎大)

6. 中央給電パッチと寄生素子を用いたビームスイッチングアン
テナ ○山根彰太・福迫 武 (熊本大)

7. 円偏波用 2 周波共用小型マイクロストリップアンテナ
○田川遊人・田中明賢・藤本孝文 (長崎大)

8. S パラメータ法を用いた小形無線線端上での 2 アンテナ間相互
結合の測定 ○柳 崇・深沢 徹・宮下裕章・
小西善彦 (三菱電機)

AP 研オーガナイズドセッション「無線通信の明日を支える電波
伝搬の研究」VI

9. OFDM 励振を用いた MIMO チャネルの FDTD 解析
○小原充晴・本間尚樹 (岩手大)

10. アンテナ選択ダイバーシチを利用した MIMO センサ検出率
向上効果の評価 ○杉浦貴志・本間尚樹 (岩手大)・
西森健太郎 (新潟大)

11. 屋内実環境における SIMO/MIMO センサのアンテナ配置に
よる特性評価に関する検討 ○牛木敬太・
西森健太郎 (新潟大)・本間尚樹 (岩手大)

AP 研

12. アンテナ構成に柔軟性を有するレクテナユニットの基礎研究
○坂本竜也・牛嶋 優・西山英輔・相川正義 (佐賀大)

13. 2次元円偏波導波管ホーンアレーアンテナの設計法
○後藤 準・山口 聡・高橋 徹・小西善彦 (三菱電機)

14. リッジ導波管リッジ面上に構成された T 型スロットアン
テナ ○三原誠太郎・久我宜裕 (横浜国大)

◆IEEE AP-S Fukuoka Chapter, URSI-F 共催

◎18 日午後の会場が変わっておりますので御注意下さい。18 日
午後のみ [B 会場] 総合教育棟南棟 1 階 C-3C 講義室 (http://www.tobata.kyutech.ac.jp/room_map), それ以外 [A 会場]
附属図書館 AV ホール (<http://www.tobata.kyutech.ac.jp/>)

campus_map)となります。

○19日研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆A・P研究会今後の予定は前ページ参照

【問合先】

石井 望 (新潟大)

TEL & FAX [025] 262-7472

E-mail: ap_ac-secretary@mail.ieice.org

★回路とシステム研究会 (CAS)

専門委員長 小久保 優 副委員長 中野敬介

幹事 前田義信・田中 聡

幹事補佐 高藤大介・川本高司・宮北和之

日時 1月19日(木) 9:00~17:15

20日(金) 9:00~14:25

会場 九州大学

議題

19日午前

1. Nonnegative Matrix Factorization のための修正乗法型更新アルゴリズムとその大域的収束性—ダイバージェンス最小化の場合— ○日比亮太・高橋規一 (九大)
2. Graphs Having Subgraphs with Fixed Embedding Constraint ○Shun Ohno・Daisuke Takafuji・Taoka Satoshi・Toshimasa Watanabe (Hiroshima Univ.)
3. 2-switch 近傍において最大クラスター係数をもつグラフについて ○深海竜也・高橋規一 (九大)
4. 大規模災害時における遅延耐性ルーティングを用いた情報共有に関する考察 ○宮北和之・中野敬介・仙石正和 (新潟大)・篠田庄司 (中大)
5. 産業用無線監視システム向け適応ダイバシティ技術 宮崎祐行・小久保 優・藤原亮介・水垣健一・芹澤靖隆・矢野 隆 (日立)
6. [招待講演] グループ署名回路のクラウドサーバ/クライアント向け実装方法 ○森岡澄夫・古川 潤・中村祐一・佐古和恵 (NEC)

19日午後 学生セッション1 (13:15~)

7. 音声出力インタフェースを用いた娯楽ゲームに関するアンケート分析 ○浅井 愛・村山尚紀・谷 賢太郎・前田義信 (新潟大)・新川拓也 (阪電通大)
8. 行動連鎖と行動反射を用いた人工学級ゲームの検討 ○池田泰子・佐藤輝空・伊藤 尚・前田義信 (新潟大)・加藤浩介 (広島工大)
9. NFSR ブロック暗号システムの鍵感度向上に関する検討 ○福田光太郎・常田明夫 (熊本大)
10. 電気自動車の充電ステーション配置に関する考察 ○伊部優大・中野敬介・宮北和之・仙石正和 (新潟大)・篠田庄司 (中大)

学生セッション2

11. M 系列とカオス理論に基づいた負相関スペクトル拡散符号の生成と評価 ○徳永昌平・常田明夫 (熊本大)
12. 多値論理に用いる FG 共有 FG-MOS インバータについての検討 ○坂口慎平・和田侑也 (佐賀大)・清水暁生 (有明高専)・深井澄夫 (佐賀大)
13. 正弦波発振器の位相雑音と Q の関係 ○中島佑樹・関根敏和・高橋康宏 (岐阜大)

14. ファン・デル・ポール発振器の雑音解析 ○細井知子・白滝 順・奥村万規子 (神奈川工科大)

招待講演

15. [招待講演] 低消費電力 LSI のための電源制御技術 ○川崎健一・藤澤久典・井上淳樹 (富士通研)

20日午前

1. RC ポリフェーズ回路の合成について ○西 哲生 (早大)・谷本 洋 (北見工大)・大石進一 (早大)
2. 位相縮約による非線形発振回路の雑音誘起同期現象の数理解析 ○中田一紀 (九大)・三浦佳二 (東北大)・浅井哲也 (北大)
3. A Fully Integrated Downconverter MMIC for Millimeter Wave Applications ○Young Yun・JangHyeon Jeong・Jeong-Gab JU・Eui-Hoon Jang・Sung-Jo Han (Korea Maritime Univ.)
4. [招待講演] 対称三相アナログ信号処理とその無線通信回路への応用 山路隆文 (東芝)

20日午後 (12:25~)

5. [招待講演] デジタルアシスト A/D 変換器の技術動向 松浦達治 (ルネサスエレクトロニクス)
6. ダイナミック光再構成型ゲートアレイのレーザアレイ故障からの復旧試験 ○余座貴志・渡邊 実 (静岡大)
7. 電束密度と磁束密度に結合があるメタマテリアル線路の特性解析 ○川崎佳裕・関根敏和・高橋康宏 (岐阜大)

☆CAS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

3月8日(木), 9日(金) 新潟大駅南キャンパス「ときめいと」[1月16日(月)] テーマ: ネットワークプロセッサ, 通信のための信号処理, 無線 LAN/PAN, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

川本高司 (日立)

TEL [042] 323-1111 (内線 4427)

E-mail: takashi.kawamoto.hv@hitachi.com

○回路とシステム研究専門委員会では、研究会の振興を目的として「回路とシステム研究会学生優秀発表賞」を制定しました。優秀な学生発表は、3月の総合大会にて表彰致しますので、奮って申し込み・投稿をお待ちしております。受賞資格は回路とシステム研究会で御自身で発表され、かつ予稿にて第一著者の IEICE 学生会員 (申し込み中でも可) の方です。詳しくは幹事までお問い合わせ下さい。

★情報通信マネジメント研究会 (ICM)

専門委員長 桐葉佳明 副委員長 瀬田家 光・阿多信吾

幹事 菅内公德・吉原貴仁 幹事補佐 増田 健

★ライフインテリジェンスとオフィス情報システム研究会 (LOIS)

専門委員長 阿部匡伸 副委員長 若原俊彦

幹事 山元規靖・杵渕哲也 幹事補佐 小西宏志

日時 1月19日(木) 11:00~17:20

20日(金) 10:00~17:10

会場 崇城大学 (熊本市池田 4-22-1. <http://www.sojo-u.ac.jp/site/view/contview.jsp?cateid=2&id=2&page=1> 西 宏之)

議題 ライフログ活用技術, オフィス情報システム, 情報通信マ
ネジメント, 一般

19日午前 LOIS: ネットワーク

1. インターネットにおける動的構造による信号伝達の統計分析
とプログラミングの課題 ○劉 健勤 (NICT)・
西村治彦・信川 創 (兵庫県立大)・梅原広明 (NICT)
2. A Networked Filter Approach to Dynamics-aware Internet
Architecture Based on Software Systems Engineering
○Jian-Qin Liu (NICT)・
Haruhiko Nishimura (Univ. of Hyogo)・
Hiroaki Umehara (NICT)

19日午後 LOIS: ライフログ(1)

3. ライフログを活用した感性コミュニケーション実現に関する
検討—自己経験への重ね合わせによる相互理解—
○望月理香・渡部智樹・小林 透 (NTT)
4. 電話会話ログ検索における距離マトリクス画像の二値化しき
い値制御 ○西 宏之・横林優貴・トラン リ ハイエン・
木村義政・柿木稔男 (崇城大)
5. A Recommendation System for a Fashion Coordination based
on User's Information ○Ying Zhao・
Kenji Araki (Hokkaido Univ.)

ICM: 特別講演・招待講演

6. [特別講演] TTC 網管理専門委員会の活動について
○大塚祥広 (NTT)・大毛忠文 (NTT コムウェア)・
平子正典 (富士通テレコムネットワークス)
7. [招待講演] SAMURAI と MAIKO—フローを利用したネッ
トワーク解析と, 運用の自動化の組合せについて—
宮川 晋 (NTT コミュニケーションズ)
8. [招待講演] オープンクラウドの動向と今後の展開について
林 雅之 (NTT コム)

20日午前 LOIS: ライフログ(2)

1. 長期のセンサデータに基づくオフィスワーカーの固有行動パ
ターンの獲得とその分析 ○佐藤裕作・
岡田将吾 (東工大)・神谷祐樹 (NEC)・
新田克己 (東工大)・國枝和雄・山田敬嗣 (NEC)
2. 加速度センサを用いた歩行状態識別におけるケプストラム分
析の有効性に関する一考察 ○伊藤智則・笠原弘樹・
上原聡介 (早大)・吉井英樹 (ソフバウテレコム)・
市野将嗣 (電通大)・鶴丸和宏・小松尚久 (早大)
3. 複数のソフトバイオメトリック情報を用いたサーベイランス
システムに関する一考察 ○正木慎平 (早大)・
市野将嗣 (電通大)・山崎 恭 (北九州市大)・小松尚久 (早大)
4. fMRI による脳機能解析のための視覚運動変換型の体力測定
課題と概念形成までの認知処理過程を同一とする課題提示ソフ
トウェアの開発 ○杉浦 圭 (名工大)・
福田洋治 (愛知教大)・毛利公美 (岐阜大)・
中井敏晴 (長寿研)・田中あゆ子 (保健医療科学院)・
白石善明 (名工大)

20日午後 ICM: 情報通信管理

5. EMS のデータモデリングに関する一考察 西尾 学 (NTT)
6. Fast Thresholds for Binary Clustering of Packet Traffic
Properties ○Marat Zhanikeev (Tokyo Univ. of Science)・
Yoshiaki Tanaka (Waseda Univ.)
7. 構造化オーバレイを用いた Publisher/Subscriber 型大規模計
算基盤の提案 ○水谷后宏・明石 修 (NTT)・
福田健介 (NII)

8. [奨励講演] ネットワーク制御を一元化したサービス提供プ
ラットフォームにおけるサービス生成手法 ○山崎公敬・
廣田悠介・木下和彦 (阪大)・戸出英樹 (阪府大)・
村上孝三 (阪大)

LOIS: ネットワークセキュリティ

9. 属性ベース暗号を用いたオンラインストレージサービス用ク
ライアントの実装評価 ○松本悦宜 (兵庫県立大)・
苦木大輔・内田 恵・近藤伸明 (神戸デジタルラボ)・
満永拓邦 (京大)・五十嵐 寛 (金沢工大)・
力宗幸男 (兵庫県立大)
10. Erlang によるホットコードスワップ機能を活用した管理者
指向型サービス利用形態の研究 ○西田利明・
力宗幸男 (兵庫県立大)
11. 就職支援サイトにおける情報の信憑性判断手法についての研
究 ○小栗章洋・若原俊彦 (福岡工大)
12. 近距離通信と携帯電話を用いたワンタイム認証方式の提案
○小若女優介・若原俊彦 (福岡工大)

◎19日研究会終了後, 意見交換会(懇親会)を予定しています
ので, 奮って御参加下さい。

☆ICM 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

3月15日(木), 16日(金) 沖縄県男女共同参画センター

[1月6日(金)] テーマ: エレメント管理, 管理機能, 理
論・運用方法論, 及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

ICM 研究会幹事

E-mail: icm-kanji@mail.ieice.org

◎<http://www.ieice.org/icm/jpn/>

☆LOIS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

3月8日(木), 9日(金) 名桜大 [未定] テーマ: ライフ
ログ活用技術, オフィスインフォメーションシステム, ライフ
インテリジェンス, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

山元規靖 (福岡工大情報工学部)

〒811-0295 福岡市東区和白東 3-30-1

FAX [092] 606-0758 E-mail: nori@fit.ac.jp

★医用画像研究会 (MI)

専門委員長 佐藤嘉伸 副委員長 清水昭伸・森 健策
幹事 河田佳樹・菅 幹生 幹事補佐 原口 亮・北坂孝幸

日時 1月19日(木) 9:50~17:30

20日(金) 9:15~16:25

会場 那覇市ぶんかテンプス館 (那覇市牧志 3-2-10. <http://www.tenbusu.jp/index.html> 五藤三樹 (沖縄職能開発大)・
清水昭伸 (東京農工大))

議題 統計モデルとその応用, 医用画像一般

19日午前 位置合わせ, PET, CAD (10:00~11:15)

1. 推定精度の自己評価を行う外れ値に頑健なクラスタベース
な PDM の非剛体位置合わせ ○澤田好秀・
本谷秀堅 (名工大)
2. 体幹部 FDG-PET 画像の解剖学的自動位置合わせ手法の精度

- 評価 ○清水勇介・鈴木祈史・小林龍徳・原 武史・周 向栄 (岐阜大)・伊藤 哲 (大雄会病院)・汲田伸一郎・石原圭一 (日本医科大)・片岡哲朗 (岐阜医療科学大)・藤田広志 (岐阜大)
3. Bayes 推定による動脈採血を必要としない PET 画像動態データの雑音除去の試み ○小澤孝弘・本谷秀堅 (名工大)・坂口和也 (北里大)・坂田宗之 (東京都健康長寿医療センター研)・木村裕一 (放射線医学総研)
4. 呼吸吸気 CT 画像から得た肺変形情報を用いた RG/BH PET 画像の画質改善 ○金井将之 (千葉大)・玉井義隆・迫平 篤・菅 一能 (セントヒル病院)・羽石秀昭 (千葉大)
5. CAD ソフトウェアの臨床応用/評価/追加学習を目的とした Web ベースの CAD 実行環境—遠隔読影環境による多施設臨床使用での追加学習— ○野村行弘・増谷佳孝・林 直人・三木聡一郎・根本充貴・花岡昇平・吉川健啓・大友 邦 (東大)
- ポスターティーザー 1 イメージング・計測 (テンブスホール) (11:20~11:50)
6. 位相拡散フーリエ法を利用した MRI 圧縮センシングの高解像度再構成 ○伊藤聡志・山田芳文 (宇都宮大)
7. L1 ノルム最小化に基づく拡散 MR 画像の撮像時間短縮のための MPG 削減 ○岩本和成・本谷秀堅 (名工大)・増谷佳孝 (東大)
8. 拡散強度イメージングにおける様々な計算手法の比較とそのアトラス構築への応用 ○増谷佳孝 (東大病院)・青木茂樹 (順天堂医院)
9. [ポスター講演] メダカ連続標本切片からの高解像度 3D 画像構築及び MRM 画像との比較 ○庄司 航・上野智弘・酒井晃二・杉本直三 (京大)
10. [ポスター講演] 2つの b 値を用いた DWI による脳深部温度測定—健常ボランティアによる検討— ○酒井晃二・坂本 亮・岡田知久・杉本直三・富樫かおり (京大)
- ポスターティーザー 1 治療・手術支援 (テンブスホール) (11:20~11:50)
11. 内視鏡下脊椎後方手術における奥行き情報を反映した拡張内視鏡像生成 ○佐藤省三 (奈良先端大)・中尾 恵 (京大)・今西勁峰 (イェーグロス)・木岡雅彦・吉田宗人 (和歌山県立医大)・湊 小太郎 (奈良先端大)
12. 肝切除術支援のための臓器切離プロセスの可視化 ○小田裕也 (奈良先端大)・中尾 恵 (京大)・今西勁峰 (イェーグロス)・田浦康二郎 (京大)・湊 小太郎 (奈良先端大)
13. 仮想肺葉切除術のための肺野領域変形手法の開発 ○平野 靖・徐 睿 (山口大)・橘 理恵 (大島商船高専)・木戸尚治 (山口大)
14. Newmark- β 法による仮想気腹処理の改善 ○曲 家迪・二村幸孝・小田昌宏 (名大)・北坂孝幸 (愛知工大)・三澤一成 (愛知県がんセンター)・森 健策 (名大)
15. 放射線治療計画支援のための類似症例を用いたビーム方向決定法の開発 ○馬込大貴・有村秀孝・塩山善之・徳永千晶・中村和正・本田 浩・大喜雅文・豊福不可依・平田秀紀 (九大)
- ポスターティーザー 1 統計モデルとその応用 (テンブスホール) (11:20~11:50)
16. エントロピーに基づくスケジューリングを利用する点群統計モデルの位置合わせ高速化の試み ○恒川優人・本谷秀堅 (名工大)
17. 臓器表面の点群統計モデルへの法線情報の導入 ○矢口雄貴・吉村 涼・本谷秀堅 (名工大)
18. MDL 法を用いた三次元体幹部臓器の統計的形状モデルの構築と性能評価 ○山口昌太郎・周 向栄 (岐阜大)・徐 睿 (山口大)・原 武史 (岐阜大)・横山龍二郎・兼松雅之 (岐阜大医学部附属病院)・星 博昭 (岐阜大)・木戸尚治 (山口大)・藤田広志 (岐阜大)
19. 股関節三次元 CT 画像からの筋骨格領域の自動抽出—一階層的正規化を用いた少数学習データによる 18 種類の個別筋肉・筋肉群領域の抽出— ○高谷美郁 (阪大)・横田 太 (神戸大)・岡田俊之・高尾正樹・菅野伸彦 (阪大)・多田幸生 (神戸大)・富山憲幸・佐藤嘉伸 (阪大)
- ポスターティーザー 1 位置合わせ・神経回路 (テンブスホール) (11:20~11:50)
20. Nonrigid ICP への確率モデルの導入による位置合わせの頑健化 ○松野高道・山岡尚登・澤田好秀・本谷秀堅 (名工大)
21. 点群統計モデルのレジストレーションの性能とグラフィカルモデルの構造の関係の解析 ○山岡尚登・吉村 涼・澤田好秀・本谷秀堅 (名工大)
22. 正規化相互情報量に基づく非剛体位置合わせの CUDA による高速化 ○池田 圭・伊野文彦・萩原兼一 (阪大)
23. [ポスター講演] M-sequences from neural loop circuits ○Shinichi Tamura (NBL Techno.)・Youshi Nishitani (Osaka Univ.)・Chie Hosokawa (AIST)・Yuko Mizuno-Matsumoto (Univ. of Hyogo)・Yen-Wei Chen (Ritsumeikan Univ.)・Tomomitsu Miyoshi・Hajime Sawai (Osaka Univ.)
24. [ポスター講演] 疑似ランダム系列に基づく脳情報通信におけるループ回路の学習 ○上村拓矢・八木康史 (阪大)・陳 延偉 (立命館大)・田村進一 (エビエール)
- ポスターティーザー 1 胸部画像解析 (テンブスホール) (11:20~11:50)
25. マルチスライス CT 画像の胸部構造解析 ○松廣幹雄・鈴木秀宣・河田佳樹・仁木 登・原田雅史 (徳島大)・中野恭幸 (滋賀医科大)・三嶋理晃 (京大)・大松広伸 (国立がん研究センター東病院)・楠本昌彦・土田敬明 (国立がん研究センター中央病院)・江口研二 (帝京大)・金子昌弘 (東京都予防医学協会)・森山紀之 (国立がん研究センター)
26. 胸部三次元画像を用いた COPD 診断のための気管支壁厚の自動計測法の開発 ○川瀬悠介・徐 睿・平野 靖・木戸尚治 (山口大)
27. 放射光 CT 画像による肺二次小葉の構造解析 ○細川拓也・河田佳樹・仁木 登 (徳島大)・梅谷啓二 (高輝度光科学研究センター)・中野恭幸 (滋賀医科大)・大松広伸・森山紀之 (国立がんセンター)・伊藤春海 (福井大)
28. 膜らしさに関する損失関数を含む Boosting アルゴリズムとそれを用いた胸部 CT 像からの葉間胸膜抽出 ○小林万里子・清水昭伸・小畑秀文 (東京農工大)・八上全弘・藤本晃司・富樫かおり (京大)
29. 三次元画像診断支援を目的としたすりガラス状陰影のボリューム可視化法 ○加村翔平 (奈良先端大)・中尾 恵 (京大)・今西勁峰 (イェーグロス)・湊 小太郎 (奈良先端大)
30. 視覚特性を考慮した胸部 X 線 CT 画像における肺腫瘍の領

- 域抽出 ○田村秀希・橋 理恵 (大島商船高専)・平野 靖・徐 睿・木戸尚治 (山口大)
- 19 日午後 JAMIT フロンティア特別講演 (テンブスホール) (14:00~14:40)
31. [特別講演] 定量的病理診断を可能とする病理画像認識技術の開発 ○山口雅浩 (東工大)・坂元亨宇・橋口明典 (慶大)・齋藤 彰 (NEC)・小林直樹 (埼玉医科大) 特別講演 (テンブスホール) (14:40~15:20)
32. [特別講演] 胸部 3 次元 CT 画像を用いた肺がんの鑑別診断支援 ○河田佳樹・仁木 登 (徳島大) 統計モデルとその応用 1 (テンブスホール) (15:25~16:25)
33. Improvement of MDL Method by Adaptive Sampling on Spherical Parameter Space ○Rui Xu (Yamaguchi Univ.)・Xiangrong Zhou (Gifu Univ.)・Yasushi Hirano (Yamaguchi Univ.)・Rie Tachibana (Oshima Nat. Col. of Mar. Tech.)・Shoji Kido (Yamaguchi Univ.)・Hiroshi Fujita (Gifu Univ.)
34. SPHARM ベース統計形状モデルと点分布ベース統計形状モデルとの性能比較 ○健山智子・桶川 萌・小原伸哉・韓 先花 (立命館大)・Huiyan Jiang (Northeastern Univ.)・古川 顕 (首都大東京)・金崎周造 (武田病院)・陳 延偉 (立命館大)
35. 生成型学習と多様体学習を組合わせた臓器の統計的形状モデルの構築 ○斉藤 篤・中田美沙希・渡部秀文・清水昭伸・小畑秀文 (東京農工大)・縄野 繁 (国際医療福祉大)
36. 胸部 X 線 CT 画像における肺臓器形状と血管構造の統計モデリング 滝沢穂高 (筑波大) 統計モデルとその応用 2 (テンブスホール) (16:30~17:30)
37. 葉間裂強調処理と分葉統計形状モデルに基づく三次元胸部 CT 画像からの肺葉自動分割 ○松尾奈緒美・岡田俊之・高島庄太夫・富山憲幸・佐藤嘉伸 (阪大)
38. 臓器間空間関係の階層的統計モデルに基づく三次元腹部 CT 画像からの複数臓器領域自動抽出—空間関係の網羅的な解析による性能評価— ○岡田俊之 (阪大)・Marius George Linguraru (Children's Nat. Medical Center)・堀 雅敏・鈴木裕紀 (阪大)・Ronald M. Summers (NIH)・富山憲幸・佐藤嘉伸 (阪大)
39. 条件の曖昧さを考慮可能な条件付き統計的形状モデルの提案と評価 ○朝重 青・渡部秀文・清水昭伸・小畑秀文 (東京農工大)・縄野 繁 (国際医療福祉大)
40. 撮像範囲外ランドマーク位置の高速推定アルゴリズムを用いた LM 検出システムの性能改善 ○花岡昇平・増谷佳孝・根本充貴・野村行弘・三木聡一郎・吉川健啓・林 直人・大友 邦 (東大)
- 20 日午前 胸部画像解析 (テンブスホール) (9:15~10:15)
1. 機械学習と最小全域木を用いた高精度な気管支領域の抽出 ○井上 努・北村嘉郎・李 元中・伊藤 渡 (富士フィルム)
2. 胸部単純 X 線画像におけるピクセルマッチング法を用いた経時的差分画像 ○杉元藍子・桂川茂彦・内山良一・白石順二 (熊本大)
3. 放射抑制フィルタと慣性モーメントフィルタによる胸部 X 線 CT 画像からの肺結節の検出 ○柳原毅暢・滝沢穂高 (筑波大)
4. 造影 CT 画像を用いた肺血栓塞栓症検出アルゴリズムの検討 ○鈴木秀宣・中崎春佳・河田佳樹・仁木 登 (徳島大)・杉浦寿彦・田邊信宏・滝口裕一・巽 浩一郎 (千葉大)

- 頭部と腹部の画像解析 (テンブスホール) (10:20~11:20)
5. アルツハイマー型認知症のコンピュータ支援診断のための海馬領域自動抽出方法の開発 ○荒木 翔・有村秀孝 (九大)・吉浦 敬 (九大病院)・徳永千晶・山下泰生 (九大)・本田 浩 (九大病院)・平田秀紀・豊福不可依・大喜雅文 (九大)
6. グラフ解析を用いた肝臓血管の抽出及び分離 ○井原聡志・李 元中・伊藤 渡 (富士フィルム)
7. MR 画像に基づく腹部大動脈の血流動態解析 II ○島村孔明・坪田健一・劉 浩 (千葉大)・杉本晃一 (東京女子医科大)・羽石秀昭 (千葉大)
8. 複数形状に対応した楕円体検出フィルタを用いた 3 次元腹部 CT 像からのリンパ節検出手法 ○小田昌宏 (名大)・北坂孝幸 (愛知工大)・藤原道隆 (名大)・三澤一成 (愛知県がんセンター)・森 健策 (名大) ポスターティーザー 2 イメージング・画質改善・CAD・PET (テンブスホール) (11:25~11:55)
9. PET 検出器におけるレーザー加工結晶内の GPU ベース光伝搬シミュレーション ○緒方祐真 (千葉大)・森谷降広 (浜松ホトクス)・稲玉直子・錦戸文彦・吉田英治・村山秀雄・山谷泰賀 (放射線医学総研)・羽石秀昭 (千葉大)
10. 位相限定相関法を用いた単眼カメラ画像からの顔三次元形状復元 原 信宏 (法政大)
11. [ポスター講演] 複合型 Wavelet 変換を用いたデジタル医用 X 線画像の画質改善 ○渡部晴之・蔡 篤儀・李 鎔範・松山江里 (新潟大)・小島克之 (浜松大)
12. Web アプリケーションによる医用画像診断支援システムの環境開発 ○尾崎 寿・徐 睿・平野 靖・木戸尚治 (山口大)
13. 体幹部 FDG-PET 画像における正常 SUV 分布モデルの構築と経時変化の解析 ○鈴木祈史・清水勇介・原 武史・小林龍徳・周 向榮 (岐阜大)・伊藤 哲 (総合大雄会病院)・片淵哲朗 (岐阜医療科学大)・藤田広志 (岐阜大) ポスターティーザー 2 統計モデルとその応用・大腸と筋肉の画像解析 (テンブスホール) (11:25~11:55)
14. 体幹部 X 線 CT 画像における複数臓器に対する確率アトラスの構築と性能評価 ○澤田純奈・林 達郎・周 向榮・陳 華岳・原 武史 (岐阜大)・江 慧研 (中国東北大)・横山龍二郎・兼松雅之・星 博昭・藤田広志 (岐阜大)
15. 腹部の複数臓器に対する統計的同時形状モデル ○中田美沙希・斉藤 篤・渡部秀文・清水昭伸・小畑秀文 (東京農工大)・縄野 繁 (国際医療福祉大)
16. 条件付き形状モデルとグラフカットの組合せを用いた複数臓器同時抽出 ○神山隼一・朝重 青・渡部秀文・清水昭伸・小畑秀文 (東京農工大)・縄野 繁 (国際医療福祉大)・根本充貴・花岡昇平・増谷佳孝 (東大病院)
17. [ポスター講演] ヘシアンフィルタを用いた内視鏡画像からのポリープ自動検出 ○篠原孝幸・岩堀祐之 (中部大)・福井真二 (愛知教大)・春日井邦夫 (愛知医科大)
18. [ポスター講演] ロコモティブシンドロームの定量評価とその画像解析手法の開発 ○名和寛文・渡邊恒夫・福岡大輔・寺林伸夫・原 武史・藤田広志 (岐阜大) ポスターティーザー 2 眼底、歯科、病理画像の解析 (テンブスホール) (11:25~11:55)
19. [ポスター講演] 眼底画像における血管領域の抽出法 ○漆間正太 (大分高専)・内山良一 (熊本大)・

- プロハースカズデネク(大分高専)・畑中裕司(滋賀県立大)・村松千左子・原 武史・藤田広志(岐阜大)・白石順二(熊本大)
20. 眼底画像のC/D比とR/D比の自動計測に基づく緑内障推定
○納土 淳(岐阜大)・畑中裕司(滋賀県立大)・村松千左子・澤田 明・原 武史・山本哲也・藤田広志(岐阜大)
21. 歯科パノラマX線写真における下顎皮質骨の厚みの自動計測による骨粗鬆症のスクリーニング
○松本拓也・林 達郎・原 武史(岐阜大)・勝又明敏(朝日大)・村松千左子・周 向榮(岐阜大)・飯田幸弘・松岡正登・片木喜代治(朝日大)・有地榮一郎(愛知学院大)・森 進太郎・金田 隆(日大)・藤田広志(岐阜大)
22. 口腔内視鏡VRシミュレータにおける質感の再現性に対する客観的評価モデルに関する研究
○星野真也・井澤純子・陳 凡・小谷一孔(北陸先端大)・三木武寛・松井義郎(香川大)
23. HE染色肝病理組織標本における方向性フィルタを用いた類洞抽出法の提案
○石川雅浩・Sercan Taha Ahi・木村文一・山口雅浩・長橋 宏(東工大)・橋口明典・坂本亨宇(慶大)
24. 位相差顕微鏡による細胞画像の領域分割と特徴量抽出
○佐々木 啓(山形大)・佐々木寛人・加藤竜司(名大)・湯浅哲也(山形大)・武澤康範・松本阿佐子(極東製薬)
- ポスターティーザー2 頭部画像解析(テンブスホール)
(11:25~11:55)
25. 救急医療における頭部X線CT画像上の早期虚血サインに対する自動解析法の開発
○大島一輝・原 武史・周 向榮(岐阜大)・坂下恵治(阪府泉州救命救急センター)・村松千左子・藤田広志(岐阜大)
26. 多様体学習を用いた医用画像のテクスチャ解析に関する基礎検討
○根本充貴・増谷佳孝・花岡昇平・野村行弘・吉川健啓・林 直人・大友 邦(東大)
27. 単純2値化頭部CTA画像を用いた血管追跡による血管芯線および径の推定
○前川将志・篠原寿広・中山雅人・中迫 昇(近畿大)
28. 頭部MR画像における転移性脳腫瘍自動検出法
○竹永智美・桂川茂彦・内山良一・平井俊範・白石順二(熊本大)
29. ラクナ梗塞自動検出におけるSVMとスライス関連性を用いた過剰検出抑制に関する研究
○湯山一樹・鹿嶋雅之・佐藤公則・渡邊 睦(鹿児島大)・宮之原正和(京町内科・脳神経クリニック)
- ポスターティーザー2 腹部画像解析(テンブスホール)
(11:25~11:55)
30. Classification of Liver Segments based on Blood Vessel Information using the Portal Phase of a CT Dataset
○Ahmed S. Maklad・Mikio Matsuhira・Hidenobu Suzuki・Yoshiki Kawata・Noboru Niki・Toru Utsunomiya・Mitsuo Shimada(Tokushima Univ.)
31. 局所濃度値特徴と多クラス識別器を用いた腹部3次元CT像からの肝血管腫検出
○坂本佳隆・小田昌宏(名大)・北坂孝幸(愛知工大)・縄野 繁(国際医療福祉大)・森 健策(名大)
32. 診断支援のための腹部CT画像からの肝臓領域自動抽出に関する研究
○嘉村成顕・鹿嶋雅之・佐藤公則・渡邊 睦・本田城二(鹿児島大)
33. 多クラスAdaBoostを用いた3次元腹部CT像における腹部血管領域への血管名自動命名手法に関する研究—血管名識別器における検討—
○ブイ フィ ホァン・小田昌宏(名大)・北坂孝幸(愛知工大)・三澤一成(愛知県がんセンター)・藤原道隆・森 健策(名大)
34. 大血管と臓器領域間の最適経路探索に基づく多時相三次元腹部CT画像からの血管名自動対応付け
鈴木裕紀・岡田俊之(阪大)・横田 太(神戸大)・堀 雅敏・富山憲幸・佐藤嘉伸(阪大)
35. 非造影CT画像からの類似画像検索による臓器自動抽出法の検討
○渡辺篤人・周 向榮・陳 華岳・原 武史(岐阜大)・横山龍二郎・兼松雅之(岐阜大医学部附属病院)・星 博昭・藤田広志(岐阜大)
- 20日午後 フェロー記念講演(テンブスホール)(14:05~14:45)
36. [フェロー記念講演] 画像診断の向上を目指すのが医用画像工学研究
藤田広志(岐阜大)
- イメージング(テンブスホール)(14:50~16:25)
37. MLEM法を用いたCBCT画像再構成
○木田智士(東大)・芳賀昭弘(東大病院)・早乙女直也(東大)・増谷佳孝・山下英臣・中川恵一(東大病院)
38. 高温超伝導線材Bi-2223を用いたヒト脳研究用3T-MRI装置の開発
○浦山慎一(京大)・尾崎 修(KOBELCO)・北口 仁(物材研)・武田和行(京大)・中島 巖(高島製作所)・大西尚樹(アストロステージ)・マイケル プール(ケインズランド大)・佐藤謙一(住友電工)・福山秀直(京大)
39. 複数のFREBAS展開を用いたMR画像の圧縮センシング
○荒井博俊・伊藤聡志・山田芳文(宇都宮大)
40. 小動物ダイナミックデータを用いたDRAMA再構成法に基づく4次元画像再構成アルゴリズムの検証
○今 達弥・小尾高史・大山永昭(東工大)・木村裕一(放射線医学総研)
41. がん診断・治療融合に向けた開放型PET「OpenPET」の新しい検出器配置法
○木内尚子(千葉大/放射線医学総研)・山谷泰賀・田島英朗・平野祥之・吉田英治・錦戸文彦(放射線医学総研)・羽石秀昭・菅 幹生(千葉大)
42. 2波長分光分析を用いた網膜血管酸素飽和度計測の評価
○吉永幸靖・中村大輔・岡田龍雄・江内田 寛・石橋達朗(九大)
- ◆日本医用画像工学会 JAMIT フロンティア 2012, 医用画像情報学会, 日本写真学会と共催の“メディカルイメージング連合フォーラム”として開催
- ◎レッスルルーム・ロビーにおいて, 19日12:50~14:00, 20日12:55~14:05はポスターセッションで全時間フリーディスカッションを行います。
- ◎参加受付: 19日9:30~, 20日9:05~
- ◎懇親会: 19日の研究会終了後に懇親会を企画しています。19日の午前中に先着50名で受付致します。定員になり次第締め切りますので, 早目の受付をお願いします。
- 【問合先】
医用画像研究会世話人 E-mail: mi-submit@mail.ieice.org
上記で連絡がつかないとき
北坂孝幸(愛知工大情報科学部)
TEL [0565] 48-8121(内線2423), FAX [0565] 48-0509
E-mail: kitasaka@aitech.ac.jp

★電子通信エネルギー技術研究会 (EE)

専門委員長 石原好之 副委員長 庄山正仁

幹事 石塚洋一・馬場崎忠利 幹事補佐 竹内 章

日時 1月25日(水) 9:55~16:55

26日(木) 9:00~14:15

会場 長崎大学文教キャンパス(長崎市文教町1-14。JR長崎駅から路面電車「長崎駅前」から赤迫行き、「長崎大学前」下車または長崎バスで「長崎駅前」から1番系統「溝川」,「上床」,「上横尾」行き,「長崎大学前」下車。http://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/access/bunkyo/index.html 二宮 保)

議題 回路技術及び高効率エネルギー変換技術関連, 一般

25日午前

1. 新しいデジタルピーク電流制御を用いたDC-DCコンバータの動特性改善について ○小道義彦・黒川不二雄(長崎大)
2. 機械学習の重ね掛けを用いたデジタル制御方式DC-DCコンバータについて ○上野公利・丸田英徳・黒川不二雄(長崎大)・大須賀弘行・菅 郁朗(三菱電機)
3. 高速応答が可能なDPWM制御POLに関する研究 ○稲田郷志・三井健司・石塚洋一・松尾博文(長崎大)
4. マトリックスPOL電源システムの制御特性について 二宮 保・柴原亮太(長崎大)・安部征哉(ICSEAD)
5. ヒステリシス制御を用いたデジタル・アナログハイブリッド制御コンバータ ○服部史門・寺師靖洋・黒木貴幸・鍋島 隆・佐藤輝被・西嶋仁浩(大分大)

25日午後

6. 大容量据置リチウムイオン電池用マネジメントシステムの開発 ○北野利一・藪田火峰・松下 傑・辻川知伸(NTTファシリティーズ)・磯部武文(NTTファシリティーズ総研)・小布施 俊(新神戸電機)
7. 通信用据置リチウムイオン電池の安全性評価 ○藪田火峰・松下 傑・辻川知伸(NTTファシリティーズ)・荒川正泰(NTTファシリティーズ総研)・林 晃司(新神戸電機)
8. マイクログリッド間における相互電力融通制御 ○後川知仁・廣瀬圭一(NTTファシリティーズ)・雪田和人・一柳勝宏(愛知工大)・奥井芳明(山洋電気)
9. 自然エネルギーの出力変動抑制に向けたEDLCの充放電制御システムに関する考察 ○牛込和也・舟木 剛(阪大)
10. 高電圧絶縁形DC-DCコンバータの制御特性について一スナバキャパシタの影響— ○土本和秀・二宮 保(長崎大)・レジェキ シマンジョラン・山口 浩(産総研)・安部征哉(国際東アジア研究センター)・加賀雅人・福井昭圭(NTTファシリティーズ)
11. 過渡電流回路を用いた降圧形コンバータの損失分析 ○劉 若峰・庄山正仁(九大)・米澤 遊・中島善康(富士通研)
12. スイッチトキャパシタコンバータのスイッチング軌跡とスイッチング損について ○平川晋也・庄山正仁(九大)
13. 素子クランプ機能付き昇圧コンバータの特性 ○菅 郁朗・竹島由浩(三菱電機)・黒川不二雄(長崎大)
14. リプルレギュレータを用いたアイドリングストップ用電源 ○織部鉄也・木村太智・廣瀬翔平・佐藤輝被・西嶋仁浩(大分大)

26日午前

1. [特別講演] スイッチング電源の高性能化を目指して 松尾博文(長崎大)
2. 絶縁型双方向DC-DCコンバータの動作検証 ○加藤正幸・高橋康人・藤原耕二・石原好之(同志社大)・菅原和也・小倉正嗣・蓑輪義文・栗尾信広(日新電機)
3. 状態平均化法を適用した双方向DC-DCコンバータの動特性モデル ○梁 時熏・後藤研太・無津呂淳平・庄山正仁(九大)
4. リアクトル用磁性材料の磁気特性測定法の検討 ○橋本和茂・高橋康人・藤原耕二・石原好之(同志社大)・鈴木智士・光武義雄(パナソニック電工)
5. 電気自動車用非接触給電システムの特性に関する検討 ○吉川明孝・高橋康人・藤原耕二・石原好之(同志社大)・白井雅之・井上敦司・刀谷郁也(ニフユ)
6. 電磁共振方式によるワイヤレス電力伝送技術の研究 ○吉村 工・庄山正仁(九大)

26日午後

7. 電力品質データ収集に関する一考察 ○津村哲史・廣瀬圭一・三野正人(NTTファシリティーズ)
8. 高電圧直流給電システムにおける短絡事故遮断時の電氣的特性の考察 ○則竹政俊・後川知仁・廣瀬圭一・三野正人(NTTファシリティーズ)
9. DC 380V給電の電圧範囲に関する一考察 ○廣瀬圭一・則竹政俊・後川知仁・三野正人(NTTファシリティーズ)

◆IEEE Power Electronics Society Japan Chapter 共催

☆EE研究会今後の予定 []内発表申込締切日

2月10日(金) 機械振興会館〔締切済〕テーマ:電池技術関連, 一般

【問合先】

竹内 章(NTT環境エネルギー研究所)

TEL [0422] 59-2027, FAX [0422] 59-5682

E-mail : takeuchi.akira@lab.ntt.co.jp

★信号処理研究会 (SIP)

専門委員長 山田 功 副委員長 大田恭士・澤田 宏

幹事 湯川正裕・大谷 猛 幹事補佐 木下慶介

★無線通信システム研究会 (RCS)

専門委員長 大鐘武雄 副委員長 大槻知明・樋口健一

幹事 原 嘉孝・浅井孝浩

幹事補佐 須山 聡・星野正幸・二木康則

日時 1月26日(木) 9:00~17:50

27日(金) 9:00~17:25

会場 福岡大学七隈キャンパス14号館4階1442講義室(A会場), 1443講義室(B会場)(福岡市城南区七隈8-19-1。地下鉄七隈線:七隈駅から徒歩8分(福大前よりも七隈の方が便利です)。http://www.tec.fukuoka-u.ac.jp/faculty/access.html TEL [092] 871-6631(会場) 太郎丸 真)

議題 無線通信のための信号処理及び一般

26日午前 RCS1(A会場)(9:00~10:15)

1. 盗聴局への多次元からの与干渉による秘密通信方式 ○下坂 悟・梅林健太・鈴木康夫(東京農工大)
2. 電子キーシステムにおける位置判定方式に関する一検討

○栗田 明・落合麻里・深沢 徹・平 明德・
久保博嗣 (三菱電機)

3. 小電力センサーネットにおける周波数オフセット送信ダイ
バーシチ方式に関する検討 ○鈴木和雅・石岡和明・
平 明德・久保博嗣 (三菱電機)

SIP1 (A 会場) (10:25~11:15)

4. 構造化全体最小二乗法に基づいたブラインドマルチユーザ検
出器 ○手島一平 (東京理科大)・
田邊 造 (諏訪東京理科大)・小河誠巳・
古川利博 (東京理科大)
5. データ最小2乗法に基づくダイレクトブラインド等化
○八木利弘 (東京理科大)・田邊 造 (諏訪東京理科大)・
小河誠巳・古川利博 (東京理科大)

RCS2 (A 会場) (11:15~12:05)

6. 送信フィルタリングを用いるシングルキャリア伝送における
CP 挿入を必要としないジョイント周波数領域等化・スペクト
ル合成 ○小原辰徳・安達文幸 (東北大)
7. Study on IBI cancellation and CP restoration in DS-CDMA
uplink transmission ○Min Zheng・Wei Peng・
Fumiyuki Adachi (Tohoku Univ.)

RCS Express (A 会場) (12:05~12:25)

8. DS-CDMA 通信における斜交射影アルゴリズムを用いたブラ
インド検出器 ○菅 宣理・小河誠巳・
古川利博 (東京理科大)

26 日午後 RCS3 (A 会場) (13:25~15:05)

9. Power allocation for Block Diagonalization Multi-user MIMO
downlink with fair user scheduling and unequal average SNR
users ○Therdkiat Aphichartsuphaphkajorn・
Yuyan Chang・Kiyomichi Araki (Tokyo Inst. of Tech.)
10. マルチユーザ MIMO 伝送実験に向けた 5 GHz 帯伝搬測定
○吉川賢一・谷口真人・村田英一・吉田 進・
山本高至 (京大)・梅原大祐 (京都工繊大)・
田野 哲 (岡山大)・守倉正博 (京大)
11. 次世代無線 LAN システムにおける CSI フィードバック法を
用いたりアルタイムマルチユーザ MIMO 伝送の屋内実験結果
○石原浩一・浅井裕介・工藤理一・市川武男・
溝口匠人 (NTT)
12. LTE-Advanced 上りリンクにおける閉ループ型 SU-MIMO
伝送のアンテナ構成を考慮した屋外実験結果 ○安川真平・
川村輝雄・岸山祥久 (NTTドコモ)・田岡秀和 (ドコモ欧州研)・
安藤英浩 (NTTドコモ)

SIP2 (A 会場) (15:15~16:55)

13. 骨伝導ヘッドホンを用いた立体音響提示のためのクロスト
ークキャンセルに関する一検討 ○浅野雄二・村山 淳・
相川直幸・原田哲也 (東京理科大)
14. コンパクト Stiefel 多様体上の平均演算 ○金子哲也・
田中聡久 (東京農工大)・Simone Fiori (UNIVPM)
15. コサイン変調に基づく方向選択型フィルタバンク
○吉田太一・池原雅章 (慶大)
16. テクスチャ領域分割を用いた固有空間 BPLP 法による画像
復元 ○古谷陽平・大石邦夫 (東京工科大)

招待講演 (A 会場) (17:05~17:50)

17. [招待講演] 無線通信における適応等化技術とその応用
久保博嗣 (三菱電機)

27 日午前 RCS4 (A 会場) (9:00~10:40)

1. 水中音声帯域 OFDM 通信における最適パラメータの検討

○中山康弘 (琉球大)・鈴木大作 (沖縄高専)・
和田知久 (琉球大)

2. Low Complexity Channel Estimation for MIMO-Constant
Envelope Modulation ○Ehab Mahmoud Mohamed・
Osamu Muta・Hiroshi Furukawa (Kyushu Univ.)

3. トレリスシェイピングを用いたシングルキャリア PSK 変調シ
ステムにおける符号化変調方式の適用 ○西野雄記・
落合秀樹 (横浜国大)

4. 同一チャネル干渉下での周波数オフセット推定法の検討
○松本祐也・田野 哲・富里 繁・秦 正治 (岡山大)

SIP3 (A 会場) (10:50~12:05)

5. 最大極半径指定下における IIR デジタルフィルタの閉じた
形の設計法 ○中本昌由・大野修一 (広島大)
6. 非同期 OFDM 干渉信号抑圧のための Pre-FFT 型広帯域アダ
プティブアレーの検討 ○竹中紳二・林 和則・
金子めぐみ・酒井英昭 (京大)・工藤理一・村上友規 (NTT)
7. カーネル主成分追跡の適応アルゴリズム
田中聡久 (東京農工大)

RCS5 (B 会場) (9:00~10:40)

8. 弱電気魚の回避行動モデルに基づく衝突回避システム
蔣 イ賛 (早大)
9. Extended Location-based Routing Approach for Wireless Ad-
hoc Networks ○Guowei Chen・
Takuro Sato (Waseda Univ.)
10. Recursive Least Square for Predictive Handover Scheme in
Heterogeneous Networks ○Nguyen Hoai Nam・
Takuro Sato (Waseda Univ.)
11. 機能分散型光無線移動通信システムの設計法に関する一検討
○中島彰之・坂本幸弘・大塚裕幸 (工学院大)

RCS6 (B 会場) (10:50~12:05)

12. 数万端末競合環境を実現する ENTERPRICE M2M ネット
ワークの提案 ○山本高至・守倉正博 (京大)
13. [ポスター講演] A novel approach for power control and
error minimization in parallel fusion sensor networks
○Abolfazl Mehbodniya・Fumiyuki Adachi (Tohoku Univ.)
14. Detour Path Angular Information (DPAI) based Range
Free Sensor Localization with Single Hop RSSI Measurement
based Distance Calculation in Wireless Sensor Network
○Anup Kumar Paul・Muhammad Tariq・Li Yanwei・
Takuro Sato (Waseda Univ.)

27 日午後 SIP4 (A 会場) (13:05~15:10)

15. Tomlinson-Harashima Precoding を用いた SC-MIMO
FDMA 通信システム 金城繁徳 (海上保安大)
16. 周波数領域等化システムのための単一周波数全二重無線中継
局 ○能口宗久・林 和則・金子めぐみ・酒井英昭 (京大)
17. 複数アンテナを利用する盗聴者への妨害信号の最適化
○顔 水強・大野修一 (広島大)・若佐裕治 (山口大)
18. 阻止域減衰量の一部が可変なファンフィルタの設計
○姥山奈菜子・宮田統馬・相川直幸 (東京理科大)
19. 離散型信号のフラクタルの情報構造とその応用—局所的フラ
クタル次元を用いた信号処理の一方法— 松本教久・
○上條賢一 (東洋大)

RCS7 (A 会場) (15:20~17:25)

20. 準最尤信号検出を用いたシングルキャリア分散アンテナ
MIMO 空間多重における HARQ スループット
○山本哲矢・安達文幸 (東北大)

21. マルチセル環境下における時空間符号化送受信ダイバーシチを用いる分散アンテナネットワークの HARQ スループット特性 ○松川隆介・小原辰徳・安達文幸 (東北大)

22. 無線 LAN システムにおける基地局連携チャネル選択のゲーム理論的解析 ○花田光平・山本高至 (京大)・工藤理一・石原浩一 (NTT)・守倉正博 (京大)

23. The effect of antenna separation distance on the frequency domain adaptive antenna array ○Peng Wei・Fumiyuki Adachi (Tohoku Univ.)

24. 到来波分離型アダプティブアレー受信システムに関する検討 ○志村友衣・和田知久 (琉球大)

RCS8 (B 会場) (13:05~15:10)

25. フラクショナル周波数繰り返しを適用した MMSE-SIC を用いた上りリンク非直交多元接続のスループット特性

○樋口健一 (東京理科大)・岸山祥久 (NTT ドコモ)

26. 多値変調時の重畳符号化と双方向復号法を用いた HARQ 法の特性評価 ○長谷川恭之 (東京理科大)・ベンジャブール アナス (NTT ドコモ)・樋口健一 (東京理科大)

27. フェムトセル基地局におけるアンテナ数及び利用可能なチャネル情報に応じた隣接セル端末への干渉低減法

○林 玄史・大槻知明 (慶大)

28. Learning-based Cell Selection for Open-access Femtocell Networks ○Chaima Dhahri・Tomoaki Ohtsuki (Keio Univ.)

29. オペレータ共用移動中継局のための共用帯域割当の効果 ○三村智彦・山本高至 (京大)・岩田綾子・西尾昭彦 (パソニック)・守倉正博 (京大)

RCS9 (B 会場) (15:20~17:00)

30. EXIT Chart Analysis of Iteratively Decoded Parallel Concatenated Codes in a Relay-Assisted Communication Scenario ○Marouen Jilani・Tomoaki Ohtsuki (Keio Univ.)

31. Decentralized Non-Repudiation Protocol to Identify Misbehaving Nodes in Network Coding ○Juan Camilo Corena・Tomoaki Ohtsuki (Keio Univ.)

32. マルチホップ無線通信における差動符号化変調方式を用いた双方向中継伝送方式に関する検討 ○近藤房和・岡田真平・江崎孝博・周 虹 (阪工大)

33. シングルキャリア協調 AF リレーにおけるリレー予備選択 ○中田雅之・小原辰徳・山本哲矢・安達文幸 (東北大)

◆IEEE Signal Processing Society Japan Chapter 共催

◎26 日研究会終了後、懇親会を予定していますので是非御参加下さい。

☆SIP 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

3 月 8 日 (木), 9 日 (金) 新潟大駅南キャンパス「ときめいと」[1 月 16 日 (月)] テーマ: ネットワークプロセッサ, 通信のための信号処理, 無線 LAN/PAN, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

湯川正裕 (新潟大)

TEL & FAX [025] 262-7549

E-mail : yukawa@eng.niigata-u.ac.jp

☆RCS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

3 月 7 日 (水)~9 日 (金) YRP [締切済] テーマ: 移動通信ワークショップ

【問合先】

須山 聡 (東工大)

E-mail : rcs_ac-entry@mail.ieice.org

◎最新情報は、RCS 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/rcs/jpn/>

★宇宙・航行エレクトロニクス研究会 (SANE)

専門委員長 小瀬木 滋 副委員長 浜 真一

幹事 若山俊夫・谷島正信 幹事補佐 富木淳史・長 康平

日時 1 月 26 日 (木) 13:00~17:15

27 日 (金) 10:15~15:45

会場 長崎県美術館 (長崎市出島町 2-1. 路面電車「出島」電停より徒歩 3 分, 「市民病院前」電停より徒歩 2 分. バス: 長崎新地ターミナルより徒歩 5 分, 長崎市コミュニティバスらんらん「長崎市美術館」下車. JR 長崎駅より徒歩 15 分. <http://www.nagasaki-museum.jp/> TEL [095] 819-2704 小菅義夫)

議題 測位・航法及び一般

26 日

1. 離着陸優先順に関する判断の学習 藤田雅人 (電子航法研)
2. 航空路 FIX への推定到着時刻に基づく出発制御時刻の確率的決定法の一考察 ○長岡 栄 (電子航法研/東京海洋大)・ダイグナークラウス・福田 豊 (電子航法研)
3. Analysis of Haneda Airport Spot Information for Surface Movement Control ○Mark Brown・Hisae Aoyama・Izumi Yamada・Midori Sumiya (ENRI)
4. マルチ・モード・レシーバを用いた GBAS プロトタイプの基本性能評価 齊藤真二 (電子航法研)
5. B737-700 フライトシミュレータを用いた進入復行中の高さ損失モデルの評価 ○藤田征吾・伊藤正宏・福島荘之介・山 康博 (電子航法研)・中西善信 (NTT データコム)
6. 航空機衝突予測のための nspp (n-step predicted position) フィルタの数値実験 ○山口優子・小菅義夫・松波 勲 (長崎大)・古賀 禎 (電子航法研)
7. 航空機追尾過渡応答性能改善用巡回型カルマンフィルタ ○Muhammad Syahmi Bin Ishak・小菅義夫・松波 勲 (長崎大)
8. 位置及び速度観測値を使用した航空機追尾過渡応答用カルマンフィルタ ○緒方雅俊・小菅義夫・松波 勲 (長崎大)
9. 風速を考慮した航空機位置予測方式 ○高林佑樹・小幡 康・亀田洋志 (三菱電機)

27 日午前

1. RLS 法を用いた複数レーダ目標追尾 ○川添誠実・小菅義夫・松波 勲 (長崎大)・古賀 禎 (電子航法研)
2. 駆動雑音 0 のカルマンフィルタを複数同時使用した追尾法 ○李 勁・小菅義夫・松波 勲 (長崎大)
3. 適応型ゲインによる NP 追尾法の性能評価 ○宋 卓霖・小菅義夫・松波 勲 (長崎大)
4. UWB ドップラレイメージングレーダを用いた複数歩行人体の高精度分離識別 ○本間寛明・佐保賢志・阪本卓也・佐藤 亨 (京大)・井上謙一・福田健志 (パソニック)

27 日午後

5. INS を用いた 1 周波 RTK の性能向上 ○岩瀬竜也・小島祥子・寺本英二 (豊田中研)
6. Maximum A Posteriori Speckle Filtering of Synthetic Aperture Radar Images : A Sequential Approach ○Yi Cui・

Yoshio Yamaguchi · Gulab Singh · Hirokazu Kobayashi ·
Sang-Eun Park (Niigata Univ.)

- 近傍領域におけるレーダ断面積 (RCS) の考察
○小林弘一 · Sang-Eun Park · Gulab Singh · Yi Cui ·
山口芳雄 (新潟大)
- SSR モード S のダウンリンク動態情報の品質評価—動的情報の信頼性解析—
○松永圭左 · 瀬之口 敦 ·
古賀 禎 (電子航法研)
- GA を利用した衛星群のデオービットを行う追跡衛星の軌道計画の最適化評価
○上畑裕太 · 木村真一 (東京理科大)
- 運用システムと C & DH 系開発を融合する搭載ソフトウェア開発システム
○飯山裕人 · 木村真一 · 小林宗太郎 ·
上條崇一 (東京理科大) · 石橋金徳 (東大)

◆IEEE AES Society Japan Chapter 共催

○26 日研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆SANE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

2 月 16 日 (木), 17 日 (金) 三重大 [締切済] テーマ: 衛星
応用技術及び一般

【問合先】

若山俊夫 (三菱電機)

TEL [0467] 41-2523, FAX [0467] 41-2419

E-mail: Wakayama.Toshio@ab.MitsubishiElectric.co.jp

谷島正信 (JAXA)

TEL [050] 3362-7573 E-mail: yajima.masanobu@jaxa.jp

★ネットワークシステム研究会 (NS)

専門委員長 木村文治 副委員長 漆谷重雄

幹事 萬代雅希 · 栗本 崇 幹事補佐 武田知典

日時 1 月 26 日 (木) 8:40~18:40

27 日 (金) 8:40~17:20

会場 琉球大学工学部千原キャンパス (中頭郡西原町字千原 1.
那覇バスターミナルバス乗り場 4 番ホームから 97 番 (那覇バ
ス), 旭橋バス停から琉大北口行き 98 番 (琉球バス交通) 約
40~50 分. 那覇空港から高速バス琉球大学行き 3 番バス乗り
場から 113 番, 123 番もしくは 5 番バス乗り場から 111 番, 約
30~40 分. [http://www.u-ryukyuu.ac.jp/univ_info/general/ac
cess/access.html#north](http://www.u-ryukyuu.ac.jp/univ_info/general/access/access.html#north) 和田知久)

議題 ネットワークソフトウェア (ソフトウェアアーキテク
チャ, ミドルウェア), NW アプリケーション, SOA/SDP,
NGN/IMS/API, 分散制御・ダイナミックルーティング, グリッ
ド, NW 及びシステム信頼性, NW 及びシステム評価, 一般

26 日午前

- コンテンツ配信における視聴者ベース動的負荷分散制御方式の検討
○鳴海貴允 · 吉村康彦 (NTT)
- デルタエンベデッドネットワークシステム—大規模情報流通時代に向けた低トラフィック型分散処理システム—
○佐々木靖彦 · 寺西裕一 (NICT)
- グリッド基盤における認証局の構築及び運用—NAREGI-CA
ソフトウェアの活用事例— ○坂根栄作 · 合田憲人 (NII) ·
峯尾真一 (理研) · 下條真司 (阪大)
- オーバーレイネットワークを応用した学内情報ナビゲーションシステムの検討
○安田真琴 · 山内雪路 (阪工大)
- FeliCa スタンプラリー Ver. 2 システムの開発と評価
○高橋孝徳 · 堀 翔吾 · 松本良子 · 小林 浩 (東京電機大)

- FRT-Chord にノードの信頼性を考慮した順序関係構築手法の提案
○島原岳志 · 長田智和 · 谷口祐治 ·
玉城史朗 (琉球大)

- P4P による P2P トランジット量軽減法の検討
○村松 謙 · 坂本直志 (東京電機大)
- P2PMMOG のための入退出耐性のある合意プロトコル
○榎本慎太郎 · 坂本直志 (東京電機大)
- UPnP を用いた VPN 構築に関する一検討
○中原裕成 ·
高橋 修 · 白石 陽 · 中村嘉隆 (公立はこだて未来大)
- パケットの応答時間の分布によるサーバ監視手法に関する検討
○木村希実 · 今井省吾 (早大) · 安達基光 (富士通研) ·
市野将嗣 (電通大) · 小松尚久 (早大)
- パケット対の RTT に着目したネットワーク帯域測定手法に関する研究
○今井省吾 (早大) · 安達基光 (富士通研) ·
市野将嗣 (電通大) · 小松尚久 (早大)

26 日午後 (13:20~)

- スケールアウト型セッション制御サーバにおける動的構成変更負荷軽減方式
○岩佐絵里子 · 入江道生 · 金子雅志 ·
福元 健 · 飯尾政美 · 上田清志 (NTT)
- I/O 仮想化技術による N+1 冗長構成ネットワークノードの待機系コンピュータのスケールアップ
○鈴木 順 ·
宮垣貴之 · 小松原 円 · 大森一輝 · 馬場裕司 · 江頭一廣 ·
島本裕志 · 橋 正樹 (NEC) · 秋月克之 · 土屋 聡 (NCOS) ·
飛鷹洋一 · 樋口淳一 · 吉川隆士 (NEC)
- S-CSCF における ODI の利用法に関する検討
○石原裕一 · 千綿伸之 · 福元 健 (NTT)
- CATT: Potential Based Routing with Content Caching for ICN
○Suyong Eum · Kiyohide Nakauchi (NICT) ·
Masayuki Murata (Osaka Univ.) · Yozo Shoji ·
Nozomu Nishinaga (NICT)
- Grouping clusters to minimize the total mean delivery delay of bundles in ferry-assisted DTNs
○K. Habibul Kabir ·
Masahiro Sasabe · Tetsuya Takine (Osaka Univ.)

招待講演 (17:20~)

- [チュートリアル招待講演] ネットワーク仮想化の研究動向
塩本公平 (NTT)
- [招待講演] エンタープライズ向けクラウドの現状と展望 (仮)
木原洋一 (NTT 研究)

27 日午前

- ボランティアコンピューティングの妨害者対策における抜取検査併用の効果
○渡邊 寛 · 船曳信生 ·
中西 透 (岡山大) · 福士 将 (東北大)
- エージェントリポジトリを用いた異種エージェント組織化手法
○中島悠太 · 打矢隆弘 · 内匠 逸 (名工大)
- 発展型エージェントシステムのための監視アーキテクチャの実装
○金子智哉 · 打矢隆弘 · 内匠 逸 (名工大)
- エージェント相互運用のための開発支援機構の設計
○奥村文雄 · 打矢隆弘 · 内匠 逸 (名工大)

27 日午後

- Software Defined Network における制御プレーンアプリケーション開発・運用監視を目的とした統合状態収集・解析機構の検討
○千葉靖伸 · 下西英之 (NEC)
- OpenFlow ネットワークにおける効率的なオーバーレイ制御チャンネル構築方法に関する一検討
○小出俊夫 ·
下西英之 (NEC)
- ロバスト性を考慮したネットワーク仮想化のための物理ネッ

トワーク資源割当法 ○森 美華 (奈良先端大)・

橋 拓至 (福井大)・平田健太郎・杉本謙二 (奈良先端大)

8. トラヒック追従型省電力ルータのための細粒度トラヒック予測手法 ○小谷野 壮・阿多信吾・岡 育生 (阪市大)

9. [奨励講演] データセンタにおけるマルチキャスト通信を考慮した2層輻輳制御方式 QCN/BS の提案

○林 佑樹・山本 幹 (関西大)

10. HoL を伴う入力バッファ型スイッチのスループット算出方法の検討 ○古谷信司・北市隆一・横谷哲也 (三菱電機)

11. 無線 LAN におけるネットワークコーディングと EDCA の適応的連携に基づく QoS 制御方式 ○谷川陽祐 (阪府大)・金 鍾玉 (高麗大)・戸出英樹 (阪府大)

12. 片方向リンクを含む無線ネットワークへのネットワークコーディングの適用 ○完山和希・中村嘉隆・白石 陽・高橋 修 (公立はこだて未来大)

13. [奨励講演] Clustering Measured Positions in MDT for Coverage Holes Detection ○Haruki Izumikawa・Takashi Matsunaka・Yoji Kishi (KDDI Labs.)

14. RoCNet: Robust Cellular Network for Disaster Communication and Traffic Offloading ○Haruki Izumikawa・Suphakit Awiphan・Jiro Katto (Waseda Univ.)

15. 無線 LAN への Full-Flying S-CSMA/v-MCA 方式適用性検討—OBS 型メディアアクセス制御方式における v-MCA 手続きの性能評価—

○植田雄介・佐野 香・

小林 浩 (東京電機大)

16. full-flying S-CSMA/v-MCA 方式における p-persistent 方式を用いた QoS 制御

○大宅一平・佐野 香・

小林 浩 (東京電機大)

◆ネットワークソフトウェア研究会 (NWS) 併催

◎26 日 15:10~17:10, 27 日 10:10~12:10 にネットワークソフトウェア研究会を開催します。プログラムについては以下を御覧下さい。

http://www.ieice.org/~nws/meeting_15th_program.html

◎26 日研究会終了後、懇親会を予定しておりますので御参加下さい。

☆NS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

3 月 8 日 (木), 9 日 (金) 宮崎シーガイア [1 月 6 日 (金)]

テーマ: 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

NS 研究会幹事及び幹事補佐

E-mail: ns-secretariat@mail.ieice.org

武田知典 (NTT) TEL [0422] 59-7434

栗本 崇 (NTT) TEL [0422] 59-3121

◎最新情報は、NS 研ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/ns/jpn/>

◎プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注意下さい。

★ソフトウェア無線研究会 (SR)

専門委員長 眞田幸俊 副委員長 阪口 啓・藤井成生

幹事 梅林健太・有吉正行

幹事補佐 亀田 卓・田久 修・石津健太郎

日時 1 月 26 日 (木) 13:00~18:05

27 日 (金) 8:30~17:10

会場 霧島ホテル (霧島市牧園町高千穂 3948. 鹿児島空港から無料送迎バスの手配を予定しています。詳細は、後日当ホームページにて掲載致します。鹿児島空港からバス/タクシーにて約 30 分。 <http://www.kirishima-hotel.jp/access/> TEL [045] 566-1732 稲森真美子 (慶大))

議題 コグニティブ無線ネットワーク, クロスレイヤ技術

26 日

1. CSMA/CA の挙動を考慮した無線 LAN スループット推定方式の実験検証 ○今垣雄一・山崎浩輔・榎木勘四郎・藤本 貴・山口 明 (KDDI 研)

2. スペクトラム分割シングルキャリア伝送を用いた ISM 帯 DSA システムの同期及び復調処理 ○矢野一人・大島浩嗣・宇野雅博・小林 聖 (ATR)

3. 伝達関数の落ち込みを考慮した SC 伝送のチャネル選択手法 ○小林和正・富田俊輔・三宅裕士・小松和寛 (東北大)・小熊 博 (富山高専)・飯塚 昇 (ソフトバンクテレコム/東北大)・亀田 卓・末松憲治・高木 直・坪内和夫 (東北大)

4. シングルキャリア/マルチキャリアハイブリッド通信方式の検討: セル間干渉を考慮したスループット特性評価 ○三宅裕士・小林和正・小松和寛 (東北大)・小熊 博 (富山高専)・飯塚 昇 (ソフトバンクテレコム/東北大)・亀田 卓・末松憲治・高木 直・坪内和夫 (東北大)

5. [招待講演] 海上長距離無線 LAN 通信システムの伝搬特性 ○升屋正人 (鹿児島大)・青木謙二 (宮崎大)・下園幸一 (鹿児島大)

6. [パネル討論] 無線・有線統合環境におけるパレート最適ネットワーク実現のためのユーザおよび資源管理・制御機構 ○太田 能 (神戸大)・長谷川 剛 (阪大)・新熊亮一 (京大)・矢守恭子 (朝日大)・小口正人 (お茶の水女子大)・村瀬 勉 (NEC)・Dilip Sarkar (Univ. of Miami)・Dipankar Raychaudhuri (Rutgers Univ.)

7. [パネル討論] 次世代移動通信へのコグニティブ無線技術の活用可能性 ○藤井啓正・原田浩樹・三浦俊二・加山英俊 (NTT ドコモ)

8. [パネル討論] 高度電波監視技術を用いたスマートユーティリティネットワーク 原田博司 (NICT)

9. [パネル討論] ITS における CR/SR 技術の活用 鈴木徳祥 (豊田中研)

10. [パネル討論] グリーンワイヤレス—エネルギーの供給と制御— 阪口 啓 (東工大)

27 日午前

1. MIMO システムにおける周波数共用のための干渉抑圧法 ○浅海景子・梅林健太・鈴木康夫 (東京農工大)

2. 周波数共用における干渉電力推定によるリソース制御法に関する一検討 ○星 大樹・梅林健太・鈴木康夫 (東京農工大)

3. 一次信号の中継を伴う重畳周波数共用における二次信号のシンボルマッピング手法 ○長縄 潤・小林健太郎・

- 岡田 啓・片山正昭 (名大)
4. 帯域制限による逐次検定を行う協調スペクトルセンシングシステムへの影響評価 ○三家祥平・小林健太郎・岡田 啓・片山正昭 (名大)
 5. キャリアセンスと送信電力制御を併用する無線アクセスにおける同一周波数干渉の影響 ○堀江駿太 (東京理科大)・田久 修 (信州大)・藤井威生 (電通大)・楳田洋太郎 (東京理科大)
 6. コグニティブ無線システムにおけるチャンネル利用効率向上のための制御チャンネル選択手法 ○太田真衣 (電通大)・Sean Roche・Jingkai Su・Alexander M. Wyglinski (WPI)・藤井威生 (電通大)
 7. コグニティブ無線におけるセンシング情報を活用した空間的な広がりを考慮した電波環境データベース構築に関する検討 ○Hasan Rajib Imam・稲毛 契・大田真衣・藤井威生 (電通大)
 8. [特別講演] 日本における TV ホワイトスペース利用のための技術的条件について—現在の動向— 高田潤一 (東工大)
 - 27 日午後 (13:35~)
 9. TV ホワイトスペース (TVWS) を用いたエリア型放送の収容可能チャンネル数の試算 ○蔡 ヨク・高田潤一・金 ミンソク (東工大)
 10. Coexistence of TVWS Secondary Networks via Optimum and Sub-optimum Power Selection Strategies ○Yohannes D. Alemseged・Gabriel Porto Villardi・Chen Sun・Ha-Nguyen Tran・Hiroshi Harada (NICT)
 11. Interference Level Modeling of Low-Height Antenna Wireless Devices in TV Bands ○Gabriel Villardi・Hiroshi Harada (NICT)
 12. Available channels determination and white space DB query method ○Ha-Nguyen Tran・Yohannes Alemseged・Chen Sun・Hiroshi Harada (NICT)
 13. Coexistence of Secondary User Networks under Primary User Constraints in TV White Space ○Chen SUN・Gabriel Porto Villardi・Zhou Lan・Yohannes D. Alemseged・Ha Nguyen Tran・Hiroshi Harada (NICT)
 14. A resource allocation algorithm for WLAN and WRAN system coexistence in TVWS ○Zhou Lan・Chen Sun・Yohannes Alemseged・Gabriel Villardi・Ha-Nguyen Tran・Hiroshi Harada (NICT)
 15. A Low-Energy Synchronization Mechanism for Smart Utility Networks Operating in TV White Space ○Chin-Sean Sum・Fumihide Kojima・Hiroshi Harada (NICT)
 16. 海上伝搬を考慮した TV ホワイトスペースの試算 ○大山哲平・下村剛史・筒井正文・中野裕之・関 宏之 (富士通研)

◎26 日 19:00~22:00 にイブニングセッションを予定していますので御参加下さい。

☆SR 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
3 月 7 日 (水)~9 日 (金) YRP [締切済] テーマ: 移動通信ワークショップ

【問合先】

石津健太郎 (NICT)
TEL [046] 847-5098, FAX [046] 847-5110
E-mail : ishidu@nict.go.jp

第一種研究会開催案内

◎最新情報は SR 研究会のホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/sr/jpn/>

★環境電磁工学研究会 (EMCJ)

専門委員長 桑原伸夫 副委員長 多氣昌生
幹事 石上 忍・内海邦昭 幹事補佐 内田 雄・青柳貴洋

日時 1 月 27 日 (金) 9:00~17:40

会場 九州大学伊都キャンパスウエスト 2 号館 3 階 (建物番号 22 システム情報科学研究所第 5+6 講義室 (福岡市西区元岡 744. 福岡空港駅 (姪浜・唐津方面行) から姪浜で JR 筑肥線に乗り換え, 九大学研都市駅下車, 昭和バス「九大工学部前」行に乗り, 博多駅から (姪浜・唐津方面行き): 九大学研都市駅下車, 昭和バス「九大工学部前」行に乗り「博多駅 A」停留所から直行バス (西鉄バス [[急行] 九大伊都キャンパス (工学部前) 行に乗り), 地下鉄空港線: 姪浜・唐津方面行き乗車, 天神駅で乗り換え, 九大学研都市駅下車, 昭和バス「九大工学部前」行に乗り「天神 2B (ソラリアステージ)」及び「天神北 (3)」停留所から直行バス (西鉄バス [[急行] 九大伊都キャンパス (工学部前) 行に乗り), <http://suisin.jimu.kyushu-u.ac.jp/info/index.html> TEL [092] 802-3713 庄山正仁)

議題 通信, EMC, 一般

1. FDTD 法を用いたキットモジュール測定用回路の 1 GHz 超の電流分布解析 ○阿部善彦・桑原伸夫 (九工大)・村松秀則 (VCCI)・島先敏貴 (NEC-E)
2. 3 芯 VVF ケーブルのアース線が電力線通信信号の伝送特性に与える影響 ○犬飼達也・桑原伸夫 (九工大)
3. 波源モデル化法と FDTD 法を用いた車載機器の放射電界特性評価 ○川畑将人・石田康弘 (福岡県工技センター)・桑原伸夫 (九工大)
4. GPU を用いたディレクティブによる FDTD 法の高速度化と室内電波環境解析への応用 ○園田 潤 (仙台高専)・佐藤源之 (東北大)
5. 電源回路の EMC 評価のための近傍磁界観測による電流分布推定法 ○松岡 誠・高橋康人・藤原耕二・石原好之 (同志社大)
6. 伝導妨害波の伝搬方向特定方法に関する検討 ○奥川雄一郎・伊藤秀紀・村川一雄 (NTT 東日本)
7. CDNE を用いた伝導妨害波測定に関する検討—不平衡減衰量特性の必要性— ○平澤徳仁・菅野 伸・秋山佳春 (NTT)
8. 高周波対応積層基板型ログスキープローブ ○鈴木洋一朗・河野秀一 (部品総研)・木村友則・片岡良平 (アソ)

午後 (12:40~)

9. ミリ波帯用電波吸収体の斜め入射特性測定例 ○長谷川和明・岩井 通・山本真一郎・畠山賢一 (兵庫県立大)
10. 金属線配列材と 1/4 波長整合層による広帯域電波吸収体 ○橋本流一・岩井 通・山本真一郎・畠山賢一 (兵庫県立大)
11. 人体通信における非接触型送信電極の一検討 ○藤原拓也・安在大祐・王 建青 (名工大)
12. 高速信号伝送向けメタルケーブルのノイズ耐性評価法 ○鈴木雄将・米田 論・岡 尚人・大橋英征 (三菱電機)・斎藤成一 (アソ高専)

告 11

13. マルチモード TDR 法によるケーブル故障診断方式の検討
○桑原 崇・小林 剛・上馬弘敬・大橋英征 (三菱電機)・
齊藤成一 (ナニヲ高専)
14. 線路シールドによる高速差動信号のノイズ対策の評価
○小林 剛・大橋英征 (三菱電機)・齊藤成一 (ナニヲ高専)
15. クロストーク低減に向けた多値伝送の検討 ○加藤 卓・
佐々木伸一・中島和紀 (佐賀大)
16. 遠端クロストーク低減に向けた容量付加法 ○寺島一彰・
佐々木伸一・福田晃宏 (佐賀大)
17. メッシュ電源層を有するプリント配線板からの放射雑音低減
方法の検討 ○松本裕章・佐々木伸一・高倉一旨 (佐賀大)
18. 携帯機器用スイッチング電源における実装の違いによる放射
ノイズの検討 ○後藤研太・吉村 工・庄山正仁 (九大)
19. 400 V 系直流給電システムにおける SiC-SIT を用いた直流遮
断器の短絡事故時の誤動作解析について
○野村康祐 (九大)・安部征哉 (ICSEAD)・梁 時熏・
庄山正仁 (九大)・二宮 保 (長崎大)・松本 暁・
福井昭圭 (NTT ファシリテース)
20. ブリッジレス PFC 回路の効率解析とスイッチングノイズ
○増本 聖・庄山正仁・吉村 工 (九大)・
富岡 聡 (TDK ラムダ)
21. [特別講演] パワーエレクトロニクス回路におけるノイズ低
減技術 庄山正仁 (九大)
- ◆IEEE EMC Society Japan Chapter, URSI-E 分科会共催 IEEE
EMC Society Sendai Chapter 協賛
- ◎研究会終了後、懇親会を予定していますので奮って御参加下さい。
会場：九大伊都キャンパスビッグドラ 1 階 (建物番号 24)
TEL [092] 807-3195
<http://www.kyushu-u.ac.jp/access/map/ito/ito.html>
- ☆EMCJ 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
3月16日(金) 機械振興会館 [1月15日(日)] テーマ：放
送, EMC, 一般
- 【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>
- 【問合せ先】
青柳實洋 (東工大大学院社会理工学研究科人間行動システム専攻)
〒152-8552 目黒区大岡山 2-12-1-W9-110
TEL & FAX [03] 5734-2992
E-mail: emcj@mail.ieice.org
- ★ME とバイオサイバネティクス研究会 (MBE)**
専門委員長 吉田正樹 副委員長 小池康晴
幹事 新川拓也・井澤 淳 幹事補佐 中村英夫・吉村奈津江
- 日時 1月27日(金) 9:00~17:35
28日(土) 9:30~17:40
- 会場 九州大学病院キャンパスウエストウイング7階講義室 (福
岡市東区馬出 3-1-1. <http://www.kyushu-u.ac.jp/access/>
TEL [092] 802-3581 伊良皆啓治)
- 議題 ME, 一般
27 日午前
1. A Review of Communication-Engineering-Based Cellular
Signal Processing for Biomedical Engineering (Part One)
○Jian-Qin Liu (NICT)・
Haruhiko Nishimura (Univ. of Hyogo)・
Hiroaki Umehara (NICT)
2. The Information Theoretical Study on Decoding for Autobiographical
Memory (Part II) —An Approach to the System
Identification for the Analysis of Brain's Functional Networks—
○Jian-Qin Liu (NICT)・
Teruya Yamanishi (Fukui Univ. of Tech.)・
Haruhiko Nishimura (Univ. of Hyogo)・
Hiroaki Umehara (NICT)
3. モデル形状関数 fitting による TMS アーチファクト除去手法
におけるモデル拡張の検討 ○片山喜規・伊良皆啓治 (九大)
4. 聴性定常応答における確率共鳴現象のコヒーレンス解析によ
る検討 ○田中慶太・根本 幾・川勝真喜・
内川義則 (東京電機大)
5. 局在プラズモン共鳴によるガスセンシング
○大田真菜美・陳 斌・林 健司 (九大)
6. 匂いイメージングセンサ用匂い検知フィルムの開発
○古澤雄大・今西 将・平田真吾・内田誠一・中野幸二・
林 健司 (九大)
7. 時間周波数解析手法を用いた睡眠昏分類に関する基礎的検討
○榎本崇宏 (徳島大)・ウダダ アビラトナ (クイーンズランド大)・
橋本知明・芥川正武 (徳島大)・近藤英司・
川田育二 (共栄病院)・小中信典・木内陽介 (徳島大)
8. 反辞書符号化法を用いた不整脈検出法におけるしきい値の自
動設定法 ○太田隆博・丸山清勝・
小田切真也 (長野県工科短大)・森田啓義 (電通大)
- 27 日午後 (13:15~)
9. 労働衛生現場におけるサーモグラフィ応用の試み
○呂 健・澤田晋一・安田彰典・田井鉄男・
岡 龍雄 (労働安全衛生総研)
10. 家庭内用ネットワークを利用した体重コントロールシステム
の開発 ○塩見玲雄・中村英夫 (阪電通大)
11. 日常生活を通じた心拍変動解析による自律神経活動の測定と
そのリズム ○岡田慶雄 (静岡県工技研/静岡大)・
易 強・鈴木敬明・櫻川智史 (静岡県工技研)・山澤友二・
都築伴三 (東海電子)・杉浦敏文 (静岡大)
12. トーン-エントロピー法による心臓自律神経系活動評価と呼
吸リズムとの関連性について ○中村英夫・齋藤宏志・
吉田正樹 (阪電通大)
13. 人工透析における内シャントの光イメージング実現のための
基礎的検討 ○菅谷真之介 (北海道工大)・
田中義範 (市立旭川病院)・北間正崇・三澤顕次・
有澤準二 (北海道工大)・清水孝一 (北大)
14. 細胞近傍の高屈折率結晶の磁気応答による光エネルギー変調
岩坂正和 (千葉大)
15. 細胞内チトクロムオキシダーゼの近赤外光磁気応答による代
謝活性評価 ○水川友里・岩坂正和 (千葉大)
16. ATP 測定法を利用した医療機器表面の変化と細菌保持特性
との関連に関する検討 ○永井 翔・菅原俊継・黒田 聡・
有澤準二 (北海道工大)・橋本佳苗 (帯広厚生病院)・
木村主幸 (北海道工大)
17. 遺伝子検査法と導電性平膜を用いたレジオネラ属菌検出法に
おけるプレフィルタの導入効果 ○来島共宏・菅原俊継・
有澤準二・木村主幸 (北海道工大)・五十嵐 治 (ニックス)
18. ヒト血漿試料からの RNA ウイルス検出における導電性中空
糸膜と RT-LAMP 法を用いた感度向上効果 ○遠藤太一・
菅原俊継・木村主幸・有澤準二 (北海道工大)・

五十嵐 治 (ニックス)

28 日午前

1. におい刺激が事象関連電位 P300 成分の潜時と振幅に与える影響
○許 美聰 (静岡大)・秋元秀夫 (東芝)・高橋 勲・
沖田義光・平田 寿・杉浦敏文 (静岡大)
2. 脳活動の非対称性と吉田法の関連性—音刺激に対する反応—
○陳 曦・穆 思延・高橋 勲・沖田善光・平田 寿・
杉浦敏文 (静岡大)
3. 事象関連電位 P300 へ及ぼす経頭蓋磁気刺激の周波数依存性
○佐藤 綾・鳥居徹也・岩橋正國 (純真大)・
伊良皆啓治 (九大)
4. 没入型バーチャル環境 HoloStage (TM) における視差量と
バーチャル酔いの関連に関する検討—第二報—
○濱本和彦・ジンジャカム チョンブーヌット・
小田切雄太 (東海大)
5. 運動野における経頭蓋磁気・電気刺激が μ 波に与える影響
○野嶋和久・片山喜規・伊良皆啓治 (九大)
6. 異なる視覚刺激に誘発されるガンマ波 Induced 成分の
MBPM による抽出
○范 叶クン・片山喜規・
伊良皆啓治 (九大)
7. 静止中のラット海馬にみられるガンマ帯域脳波の周波数変調
○西田洋司・高橋宗良・伊良皆啓治・
ローレンス ヨハン (九大)

28 日午後 (13:20~)

8. ALS 患者向け BCI における意思伝達項目の階層的呈示法に關
する検討
○永田員広・伊賀崎伴彦 (熊本大)・
林田祐樹 (阪大)・村山伸樹 (熊本大)
9. 新生児の睡眠時脳波と NIRS の同時計測
○松永 淳 (九大)・大矢崇志・岩田政介 (久留米大)・
片山喜規・伊良皆啓治 (九大)
10. 脳波・心電図・NIRS による集中状態評価
○趙 丹俊・
藤山沙紀・伊良皆啓次・片山喜規 (九大)
11. 視覚知覚の変化を利用した日常的に利用可能な客観的疲労計
測技術—Flicker Health Management System—
○岩木 直 (産総研)・原田暢善 (FHM)
12. 人工環境下における培養神経回路の形成と活動計測
○後藤美穂・吉田 壘・斎藤淳史・斎藤亜希・高山祐三・
森口裕之・小谷 潔・神保泰彦 (東大)
13. 初代培養—分化誘導神経細胞間の同期活動の解析
○榛葉健太・斎藤淳史・高山祐三・小谷 潔・
神保泰彦 (東大)
14. 眼画像のボタン認識を用いた瞬目の自動検出
○早見武人 (岡山大)・福田恭介 (福岡県立大)・
松尾太加志 (北九州市大)・志堂寺和則 (九大)
15. 下半身リハ支援装置の開発—筋電図入力回路に関する考察—
○松田鶴夫・山本耕之 (久留米工大)
16. バレーボールの競技レベルによる予測能力の違い
○竹山智子・廣瀬信之・森 周司 (九大)
17. 回内回外運動の客観定期評価システム
○亀井優一郎 (九大)・平川 剛・
石西 洋 (ネットワーク応用技術研究所)・大矢崇志・
山下祐史朗 (久留米大)・高嶋幸男 (柳川療育センター)・
伊良皆啓治 (九大)

◆日本生体医工学会; ME とバイオサイバネティクス研究会共
催

☆MBE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

3 月 14 日 (水)~16 日 (金) 玉川大 [1 月 16 日 (月)] テー
マ: ME, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

中村英夫 (阪電通大)
〒575-0063 四條畷市清滝 1130-70
TEL & FAX [072] 876-5128
E-mail : h-nakamu@isc.osakac.ac.jp

◇ ◇ 第二種研究会開催案内 ◇ ◇

●次世代ナノ技術に関する時限研究専門委員会主催研 究会「グリーン&ライフイノベーションに向けた次 世代ナノ材料・デバイス」

委員長 井筒雅之

日時 平成 24 年 1 月 16 日 (月) 10:00~17:30

会場 産業技術総合研究所臨海副都心センター別館 11 階議室
(江東区青海 2-4-7. [http://www.aist.go.jp/aist_j/guidemap/
tokyo_waterfront/tokyo_waterfront_map_main.html](http://www.aist.go.jp/aist_j/guidemap/tokyo_waterfront/tokyo_waterfront_map_main.html))

参加費 (資料代含む) 一般 5,000 円, 学生 1,000 円

交流会費 3,000 円

定員 120 名

プログラム

セキュアライフとナノテクデバイス

1. カーボンナノ材料を用いた光源とセキュアライフ応用
山下真司 (東大)
2. 表面プラズモンのライフ分野への応用 梶川浩太郎 (東工大)
- 通信機器の省エネとナノテクデバイス
3. 光ネットワークの超低エネルギー化と光デバイス
石川 浩 (産総研)

午後 (13:40~)

4. 高性能 IT システムを実現する低消費電力光インターコネク
ト 中川 茂 (日本 IBM)
5. 量子ドットレーザの現状と将来展望 菅原 充 (QD レーザ)
- 次世代太陽電池・LED 照明とナノテク技術
6. 量子ドット太陽電池 岡田至崇 (東大)
7. 窒化物を用いた LED 及び太陽電池の現状と将来性
天野 浩 (名大)
8. 次世代のナノコラム LED 岸野克巳 (上智大)

◎17:40~19:40 に交流会を開催します。

【参加申込方法】 以下の内容を明記の上, E-mail (ieice.nnn.sec
@m.aist.go.jp) にてお申し込み下さい。

- ①氏名 (ふりがな), ②所属, ③住所, ④ E-mail, ⑤ TEL,
- ⑥研究会 御出席/御欠席, ⑦交流会 御出席/御欠席

申込締切日 1 月 10 日 (火)

◎最新情報は, 次世代ナノ技術に関する時限研究専門委員会ホー
ムページ <http://www.ieice.org/~nnn/> を御覧下さい。

補足: 定員を超えた場合には, HP 等にて参加申し込みの終了
に関してお知らせします。

【問合せ先】 次世代ナノ技術委員会 1 月研究会事務局

小森和弘 (産総研)

TEL [029] 861-5601 (秘書-3495), FAX [029] 861-5602
E-mail : ieice.nnn.sec@m.aist.go.jp

主催 次世代ナノ技術に関する時限研究専門委員会
協賛 IEEE Photonics Society Japan Chapter, 光エレクトロニクス研究専門委員会, レーザ・量子エレクトロニクス研究専門委員会, 早稲田大学ナノテクノロジーフォーラム

●平成 23 年度第 3 回高信頼制御通信研究会

委員長 河野隆二 (横浜国大)
副委員長 片山正昭 (名大)・原 晋介 (阪市大)
趣旨

高信頼制御通信は、人を中心とした従来の ICT から機械間の ICT, 人の命や安全性に関わる制御情報の ICT の高信頼化, 有無線ネットワークの統合における切れない無線, クリーンでエコな環境学習適応化等が必要となる技術です。この研究会では、モバイル ICT に続く新たな研究開発課題 “高信頼制御通信” 技術をテーマとして、先端 ICT の成果を生かしつつ新たなビジネスを開拓し、世界を牽引するグローバルビジョンを語り合い、若者に明るい未来のイメージを与えることを目的として開催します。多数の御参加をお待ち致しております。

期日 平成 24 年 1 月 27 日 (金)

会場 奈良県新公会堂

講演プログラム (案)

1. [招待講演] 産業用無線通信：高信頼化・各国規制・技術標準化 島田修作 (横河電機)
2. 巡回符号向きプロセッサアーキテクチャ 君家一紀・浜辺 崇・坂圭主史・武内良典・今井正治 (阪大)
3. 無線フィードバック制御システムにおけるパケットロスを考慮した伝送情報削減手法 水谷亮太・小林健太郎・岡田 啓・片山正昭 (名大)
4. マルチラテラル遠隔操作システムにおける情報結合に基づいた制御器設計 久保亮吾 (慶大)
5. 予測に基づくネットワーク化制御系の安定化 永原正章 (京大)
6. 不確かなシステムの安定化における通信量・損失に関する制約 岡野訓尚・石井秀明 (東工大)
7. 建物監視制御に考慮した頑健なネットワークインフラの必要性 (仮) 広瀬啓一 (清水建設)
8. [招待講演] 量子化制御：物理と情報をつなぐ新技術 東 俊一 (京大)

参加費 一般 5,000 円 (講演資料代を含む), 学生無料 (講演資料代は別途 2,500 円)

参加方法 事前登録は不要です。参加を希望される方は、当日直接会場受付にお越し下さい。

【問合先】

李 還帮 (NICT), 阪口 啓 (東工大)
E-mail : rrrc-sec@mail.ieice.org

◎プログラム及びその他の最新情報は下記 WEB で御覧下さい。
<http://www.ieice.org/~rrrc/>

主催 高信頼制御通信時限研究専門委員会

●第 3 回集積光デバイスと応用技術研究会

委員長 裏 升吾 (京都工繊大)

副委員長 粕川秋彦 (古河電工)

日時 平成 24 年 2 月 2 日 (木) 13:00~21:30
3 日 (金) 9:00~15:00

会場 古河電工健康保健組合逗子保養所・研修センター (逗子市桜山 9-1-10. JR 逗子駅下車, 京浜急行バス 3 番にて切通下バス停下車, 徒歩約 1 分. http://www.furukawadenko-kenpo.com/jigyo/hoyo_zusi.html)

テーマ 「集積光デバイス技術の歩みと応用—現在・過去・未来—」
集積光デバイスとその応用技術の研究の動向や今後の展開に関する五つのテクニカルセッション (「光インターコネクションと Si フォトニクス」「半導体量子構造光デバイス」「超高速光通信技術—Beyond 100 G, Tera/Peta/Exa-bps—」「新領域技術—ナノ・メタ・量子フォトニクス—」「光デバイスの信頼性・ディメンタビリティと標準化」) に加えて「光集積技術を俯瞰する」と題するランプセッション, 学生ポスターセッション (優秀講演賞贈呈予定) を盛り込んだ 1 泊 2 日の研究会を行います。多数の方々の御参加をお待ちしております。

講演プログラム (予定)

2 日

1. 委員長開会あいさつ 裏 升吾 (京都工繊大)
2. [招待講演] シリコン光導波路の光パススイッチへの展開 河島 整 (産総研)
3. [招待講演] LSI チップ間光配線に向けた光電子融合システム 中村隆宏・賣野 豊 (PECST/PETRA)・荒川泰彦 (PECST/東大)
4. [招待講演] 通信応用にむけたシリコンフォトニックプラットフォーム 山田浩治 (NTT)
5. [招待講演] 量子ドットを用いた偏波無依存デバイス 喜多 隆 (神戸大)
6. [招待講演] 歪補償技術を用いた超高密度 InAs 量子ドットによる光通信帯半導体レーザ 赤羽浩一 (NICT)
7. [招待講演] エクサビット情報社会に向けた光通信技術の飛躍的な高度化への挑戦 中沢正隆 (東北大)
8. [招待講演] 石英-LiNbO₃ ハイブリッド集積を用いた多値光変調器 山崎裕史 (NTT)
9. [招待講演] 高精度・高機能 LN 光変調技術と超高速デジタル・アナログ伝送への応用 菅野敦史 (NICT)
10. 学生ポスターセッション
11. ランプセッション：光集積技術を俯瞰して夢を語る 川上彰二郎 (フォトクワテイス)・井筒雅之 (東工大)・多田邦雄 (金沢工大)

3 日

1. [招待講演] デジタルコヒーレント光通信技術 菊池和朗 (東大)
2. [招待講演] 光信号処理を用いた光単側波帯変調方式 高野勝美 (山形大)
3. [招待講演] 高速/多値変調向け受信デバイス, 信号計測技術 セット ジイヨン (アルネアラボトリ)
4. [招待講演] フォトニックナノ構造光デバイスの進展 馬場俊彦 (横浜国大)
5. [招待講演] 電磁メタマテリアルの現状と展望 萩行正憲 (阪大)
6. [招待講演] 導波型非線形光学量子フォトニックデバイス

7. [招待講演] アクティブ系集積デバイスに関する国際標準化
吉田淳一 (千歳科技大)
8. [招待講演] VCSEL の信頼性研究の動向—その弱点を探る—
上田 修 (金沢工大)
9. [招待講演] 光ファイバ技術動向と信頼性
藤井隆志 (住友電工)
10. ポスターセッション優秀表彰・閉会あいさつ
裏 升吾 (京都工繊大)

参加資格 特に問いません

参加費 一般 15,000 円, 学生ポスター講演者 8,000 円 (一泊三食付)

参加申込 1月12日(木)までに, 電子メールで幹事・山下 (京都工繊大) (yamasita@kit.ac.jp) 宛, 氏名, 所属, 連絡先をお知らせ下さい。

(宿泊定員 50 名, 先着順) 1 日のみの参加や請求書発行などの御要望については幹事に御相談下さい。

【学生ポスター講演に関する申込・問合せ】

第 3 回研究会担当委員

村田博司 (阪大)

TEL [06] 6850-6306, FAX [06] 6850-6341

E-mail : murata@ee.es.osaka-u.ac.jp

【その他の研究会一般に関する問合せ】 幹事

大磯義孝 (NTT フォトニクス研)

TEL [046] 240-3282, FAX [046] 240-4345

E-mail : ohiso@aecl.ntt.co.jp

山下兼一 (京都工繊大)

TEL [075] 724-7423, FAX [075] 724-7400

E-mail : yamasita@kit.ac.jp

◎最新情報は, 集積光デバイスと応用技術時限研究専門委員会のホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/ipd/jpn/welcome.html>

主催 集積光デバイスと応用技術時限研究専門委員会

協賛 光産業技術振興協会 (OITDA), 光エレクトロニクス研究専門委員会, レーザ・量子エレクトロニクス研究専門委員会, シリコンフォトニクス時限研究専門委員会, IEEE Photonics Society Japan

●テラヘルツ応用システム研究会

テーマ: テラヘルツ技術の産業応用—THz 波通信の可能性を探る—

日時 平成 24 年 2 月 10 日 (金) 10:00~17:20 (9:30~受付)

会場 情報通信研究機構 (<http://www.nict.go.jp/about/hq.html>)

プログラム

- | | |
|------------------------|-------------|
| 1. 開会の挨拶 | 寶迫 巖 (NICT) |
| 2. THz 波通信の展開 (仮) | 久々津直哉 (NTT) |
| 3. HEMT デバイスロードマップ (仮) | 高橋 剛 (富士通) |
| 4. グラフェンデバイス (仮) | 尾辻泰一 (東北大) |
| 午後 | |
| 5. RTD デバイス (仮) | 浅田雅洋 (東工大) |
| 6. THz 波通信標準化 (仮) | 寶迫 巖 (NICT) |
| 7. NICT 見学会 | |
| 8. 閉会の挨拶 | 久々津直哉 (NTT) |

第二種研究会開催案内, 発表募集案内

参加費 一般 5,000 円 学生 無料

【連絡先】

味戸 (NTT マイクロシステムインテグレーション研究所)

E-mail : ajito.katsuhiko@lab.ntt.co.jp

<http://www.ieice.org/es/thz/>

主催 テラヘルツ応用システム時限研究専門委員会

◇ ◇ 第二種研究会発表募集案内 ◇ ◇

●第 47 回機能集積情報システム研究会

委員長 肥川宏臣 (関西大)

本研究会は, デイバングブルコンピューティング研究専門委員会の下での第二種研究会として開催します。本研究会は, 平成 3 年に設置された「ウェーハスケール集積システム時限研究専門委員会」以降, 複数の時限研究専門委員会の下での研究会を経て現在の研究会に引き継がれました。

近年の LSI 製造技術の進歩により, 大規模かつ斬新な情報処理機能をシリコンウェーハあるいは大規模 IC チップ上に集積・実装する情報システム FIIS (Functional Integrated Information System) の構築技術が注目されています。そこで, 本研究会では次に示す幅広い研究分野を対象としています。

まず, IC チップ製造段階では, チップの歩留まり解析, 歩留まり向上設計法, レイアウト解析, フォールトトレラント手法などが挙げられます。また, IC チップ上の情報システム構築 (SOC: System On Chip) 技術としては, IC 内部の欠陥検出法 (テスト手法や BIST: Build In Self Test) や誤り訂正・回復技術, 故障を許容する高並列プロセッサや相互結合網の再構成方式, 耐故障再構成可能情報システムの構築技術, 動的再構成可能情報システムの構築技術, 低消費電力技術などが挙げられます。更には, 故障モデルの解析, 信頼度解析, 性能評価などの理論的解析手法も挙げられます。

本機能集積情報システム (FIIS) 研究会は, 上述したような技術を, 応用分野の枠を超えた高性能・高信頼性・低消費電力のマイクロ情報システム実現のための強固な枠組みであると捉えています。本研究会では上記内容を中心としていますが, それらにとらわれず, 各種応用研究を含めた広い研究分野からの研究発表を歓迎致します。

今回の第 47 回機能集積情報システム研究会を下記要領で一般発表を募集致しますので, 多数の申込みをお待ちしております。

期日 平成 24 年 3 月 9 日 (金)

会場 金沢工業大学扇が丘キャンパス (野々市市扇が丘 7-1)

一般申込締切 1 月 13 日 (金)

発表を希望される方は, 論文題目, 著者, 所属, 連絡先を下記幹事までお知らせ下さい。

【申込・問合せ】

金子晴彦 (東工大大学院情報理工学研究所)

〒152-8552 目黒区大岡山 2-12-1-W8-65

TEL [03] 5734-3799, FAX [03] 5734-3501

E-mail : hkaneko@fuji.cs.titech.ac.jp

主催 デイバングブルコンピューティング研究専門委員会

情報・システムソサイエティ 会長 石田 亨

サービスコンピューティング研究専門委員会 (SC) が発足することになりました。ここでは、クラウドサービスに代表されるような多種多様なサービスの構成法について広く議論します。例えば、ネット上に構築されるサービスは、様々なモバイル端末、複数の Web アプリケーションを利用し、多様な人や組織への支援サービスを提供しています。よって、恩恵を享受する者、得られた利益の分配、知的財産権の扱いが複雑です。このような複雑なバリューチェーンを持つサービスの実現方法を広く議論する場として利用頂ければと思います。本研究専門委員会は、2009年4月に発足したサービスコンピューティング時限研究専門委員会が母体となっています。時代に先んじて準備してきた活動が、時代の波によって発展した模範的活動といえます。Google、Amazon を代表に、ICT 技術を駆使したサービスが重要になりつつある現在、ハイテクサービスで米国に遅れをとっている日本にとって、是非とも研究を加速し集中すべき分野です。そのためには、複雑なサービスモデル・サービスプラットフォームを効率良く構築する科学的なアプローチが必須です。本研究専門委員会に、学会の方のみならず、民間企業の研究者が集い、世界に発信できる成果を出して頂けることを期待するとともに、皆様の積極的な参加をお願いします。

—— 研究専門委員会新設 ——

● サービスコンピューティング研究専門委員会

クラウドコンピューティングの発展により、計算資源がインターネット上に集約され大規模化しつつあります。また、このようなスケールアウトを可能とする計算環境を前提に、多くの情報サービスやデータがインターネット上に集積され、スマートフォンなどのモバイル端末を介することで、従来の Web アプリケーションの範囲を越えて、社会の至る所で利用者の行動を支援するサービスが提供され始めています。このようなクラウド時代で

は、組織を越えて、ネットワークから計算資源、データ、その上で動作するアプリケーション、そして、ビジネスプロセスまで総合して提供されるサービス全体の实现方法が課題となります。そこで、ネットワークサービスから IaaS, PaaS, SaaS といった垂直型のサービス連携から、レイヤごとの水平型のサービス連携まで幅広い議論や意見交換を行う場が必要と考え、サービスコンピューティング研究専門委員会を新設致しました。

本研専は、2009年4月に発足したサービスコンピューティング時限研究専門委員会 (SC 時限研専) を発展させたものです。SC 時限研専では、当初、Web サービスを単位としてインターネット上でソフトウェアを構築するサービスコンピューティングの中心的課題について議論してきましたが、インターネット上のサービスの多様化により、ソフトウェアのサービス化だけでなく、ネットワークからハードウェア、プラットフォームまで幅広いレイヤのサービス化の研究も必要であることが分かりました。そこで、サービスの定義を Web サービスにとどめず、サービスの運用を支えるクラウドやサービスをエンドユーザに届けるモバイルまで拡大し、サービスのエコシステム全体に焦点を当てた研究会と致しました。

今後は、サービスを提供している産業界にもコミュニティを拡大し、実問題のケーススタディを共有することで、研究成果をサービスとして実社会へ還元し、サービスコンピューティング分野の活性化を行っていく予定です。会員の皆さまの積極的な御参加と御支援をお願い致します。

英文名称 Services Computing (略称 SC)

【問合せ・連絡先】

委員長 村上陽平 (NICT)

TEL [0774] 98-6907, FAX [0774] 98-6967

E-mail : yohei@nict.go.jp

副委員長 石川冬樹 (NII)

TEL [03] 4212-2584, FAX [03] 4212-2120

E-mail : f-ishikawa@nii.ac.jp

幹事 田中正弘 (NICT)

TEL [0774] 98-6909, FAX [0774] 98-6967

E-mail : mtnk@nict.go.jp

総合版ハンドブック

「知識ベース」の一般公開について

総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開を開始致しました。一般公開は、会員限定β版での公開後3か月を経過した一部のコンテンツが対象となります。

閲覧にあたっては、本会ホームページ (トップページ) → 「総合版ハンドブック「知識ベース」」または、以下の URL からお入りください。

<http://www.ieice-hbkb.org/portal/>



● 2012年総合大会開催案内 ●

本総合大会は、4 ソサイエティ、1 グループが合同で開催する大会です。奮って参加されますようお願い致します。会員以外の方の御参加も歓迎致します。

期 日 2012年3月20日(火)~23日(金)
 会 場 岡山大学 (岡山市)
 (会場構内は駐車禁止ですので公共機関を御利用下さい)
 交 通 岡山駅西口バスターミナル 22 番乗り場から【47】系統
 「岡山理科大学」行きに乗車の上、「岡大西門」下車、徒歩約
 3分。または、岡山空港 2 番 3 番乗り場から「岡山市内方
 面」行に乗車の上、「岡山大学筋」で下車、徒歩約 7分。

2012年総合大会ホームページ
http://www.toyoag.co.jp/ieice/G_top/g_top.html

主なイベント内容：上記ホームページにて (1月28日) 公開予定です。

◎聴講参加・冊子講演論文集予約申込みについては、上記から Web 登録をお願い致します。(1月12日公開)

※ソサイエティ大会に引続き団体・機関の図書館等の法人向けに継続購入の申込募集を行います。法人には法人用 DVD を大会終了後、2週間後に御送付致します。

<予約申込期限>

2月20日(月)締切厳守(電話による予約は不可)
 事前予約されますと、予約物を3月6日~3月8日までに請求書を同封して発送致します。
 また、3月12日(月)までに予約物が届いていない場合には必ず御連絡下さい。大会終了後では対応できない場合があります(発送・請求関係連絡先：tk-tyoko@ieice.org)。

<予約のお勧め (DVD) >

大会講演発表の申込み・投稿の電子化、講演論文集・プログラムの DVD 化により、講演内容等の必要情報の入手が一段と便利になります。聴講者におかれましても、是非この DVD の機能を有効に活用するため、事前予約をお勧め致します。
 御予約頂きますと、3月6日~3月8日までに索引機能を充実した DVD (全講演・プログラム) を発送致しますので、聴講の下調べ等にお役立て下さい。

なお、大会会場でも当日参加を受け付けておりますが、当日 DVD を活用する設備がございませんので、その旨御了承下さい。

◎ 聴講参加・冊子講演論文集予約について (予定)
 <聴講参加> (本会会員：不課税、本会会員外：消費税込)

☆ 2010年総合大会から、事前聴講申込者に対する参加費の割引制度を実施しております。事前申込みの割引制度を御利用頂くと当日申込みより 2 割引の参加費で大会聴講が可能となります。更に、非会員学生の聴講参加費を値下げ致しました。皆様、奮って御参加下さい。

【事前申込み (DVD 含む)】

| | |
|----------------|---------|
| 会 員 名誉員・正 員 | 8,000 円 |
| 学生員 (DVD 購入)** | 2,400 円 |
| 60 歳以上の会員*** | 2,400 円 |

| | |
|-------------|----------|
| 非会員 社会人 | 16,000 円 |
| 学生 (DVD なし) | 2,400 円 |
| 学生 (DVD 購入) | 4,800 円 |

【当日申込み (DVD 含む)】

| | |
|----------------|----------|
| 会 員 名誉員・正 員 | 10,000 円 |
| 学生員 (DVD なし)* | 無料 |
| 学生員 (DVD 購入)** | 3,000 円 |
| 60 歳以上の会員*** | 3,000 円 |
| 非会員 社会人 | 20,000 円 |
| 学生 (DVD なし) | 3,000 円 |
| 学生 (DVD 購入) | 6,000 円 |

【凡 例】
 * DVD を必要とされない「学生員」は無料で聴講できますので事前申込みの必要はございません。総合受付までお越し頂ければ参加章をお渡し致します。(会員証を提示して頂きますので御持参下さい。)
 ** 会場で会員証を提示して下さい。
 *** 年金以外の収入がない方が対象となります。

※この機会に入会されますと、会員扱いとさせていただきます。
 ※電気学会、照明学会、映像情報メディア学会、情報処理学会の会員及び本会と協定を締結した海外の学会の会員は会員扱いとなります。

<法人価格申込>

| | |
|-----------------|----------|
| 1. DVD 1 枚(合本付) | 90,000 円 |
| 2. DVD 1 枚 | 70,000 円 |

<冊子講演論文集>

論文集の内容は多少変わることもございますので、御了承下さい。
 冊子講演論文集は、予約部数に基づいて論文集を作成しておりますので、予約期限を過ぎますとお求めに出来ない場合がありますので、くれぐれも御注意下さい。
 (発行日：平成 24 年 3 月 6 日 / 価格は消費税込み)

各分冊講演論文集の内容・価格については、上記ホームページを御覧下さい(1月12日公開)。

<支払方法>

予約物に同封して請求・納品・見積・振込用紙をお送り致しますので御利用頂き、送金をお願い致します(振込先口座等は請求書に記載)。

申込みの問合先
 〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内
 (社)電子情報通信学会 集会事業部 大会論文集予約係
 TEL [03] 3433-6691, FAX [03] 3433-6659
 E-mail : taikai@ieice.org
 発送・請求の問合先 E-mail : tk-tyoko@ieice.org

今回の総合大会では男女共同参画委員会の活動の一環として予約・有料制の託児所を開設します。詳細は下記 URL に案内を掲示しますので御利用下さい。(http://www.toyoag.co.jp/ieice/G_top/g_top.html) (2月上旬を予定)

●…… 講演会・講習会・学術研究集会等 ……●

——信越支部——

●講演会

日時 平成24年1月24日(火) 15:00~16:00
会場 長岡技術科学大学電気1号棟6階会議室(611室)
題目 光波による分子配向高度制御と光機能素子応用
講師 川月喜弘(兵庫県立大)
問合せ 長岡技術科学大学 小野浩司
TEL [0258] 47-9528
その他 聴講は無料, 本会会員以外の方の聴講も歓迎
主催 電子情報通信学会信越支部

——関西支部——

●電子情報通信学会関西支部第17回学生会研究発表講演会

下記のとおり, 立命館大学(びわこ・くさつキャンパス)にて第17回学生会研究発表講演会を開催致します。皆様の奮っての御応募をお待ち申し上げます。

日時 平成24年3月9日(金) 10:00~17:00
会場 立命館大学 びわこ・くさつキャンパス(草津市野路東1-1-1)

対象分野 「基礎・境界」, 「通信」, 「エレクトロニクス」, 「情報・システム」ソサイエティが対象としている全技術分野
応募資格 大学(大学院を除く), 高等専門学校(専攻科を含む), 短期大学に所属する電子情報通信学会の学生会員, 若しくは入会予定者。

発表形式 口頭発表(発表12分, 質問3分, 合計15分)

参加費 無料

原稿執筆 原稿執筆及び投稿の要領に関しては, 電子情報通信学会関西支部学生会HPを御参照下さい。

発表申込 発表申込は原稿投稿をもって代えさせていただきます。
平成23年12月19日(月)~平成24年1月27日(金)に学生会HPにて, 原稿を御投稿下さい。

懇親会 研究発表講演会後に同大学キャンパス内にて懇親会を開催致します。万障お繰り合わせの上, 御参加をお待ち申し上げます。(懇親会費は実費負担となります。)学生会研究発表講演会について, 御不明な点や質問等ございましたら, 関西支部学生会幹事長(福森)まで御連絡下さい。

連絡先 学生会幹事長 福森隆寛(立命館大学大学院理工学研究科) cm013061@ed.ritsumeai.ac.jp

主催 電子情報通信学会関西支部学生会
※学生会HP: <http://ieice-kansai.jp/student/student/index.htm>

——本会が協賛等のもの——

(※は参加費割引あり)

固体光源分科会, 計測・標準分科会共催シンポジウム「固体照明光源に関する計測技術と標準化の動向」

期日 平成24年1月18日(水)
会場 日本大学理工学部駿河台校舎(東京都千代田区)
問合せ 照明学会 <http://www.ieij.or.jp/>

圧電材料・デバイスシンポジウム2012

期日 平成24年1月30日(月), 31日(火)
会場 東北大学工学部青葉記念会館(仙台市)
問合せ 東北大学大学院工学研究科電気・通信工学専攻内
圧電材料・デバイスシンポジウム事務局 担当 吉澤晋
TEL [022] 795-5843, FAX [022] 795-7147
piezodevice@ecei.tohoku.ac.jp
<http://www.ecei.tohoku.ac.jp/ume/PoPM-Dsymposium/>

第182回研究会「光が拓く新しい磁気の世界」(※)

期日 平成24年1月31日(火)
会場 日本化学会館(東京都千代田区)
問合せ 日本磁気学会事務局 TEL [03] 5281-0106
<http://www.wdc-jp.com/msj/seminar/topical/182.html>

第17回計算工学講演会(※)

期日 平成24年5月29日(火)~31日(木)
会場 京都教育文化センター(京都市)
問合せ 同講演会実行委員会 conf.office@jcsces.org

第17回分子動力学シンポジウム(※)

期日 平成24年6月5日(火)
会場 東京大学生産技術研究所(東京都目黒区)
問合せ md@md.jsms.jp

日本人間工学会第53回大会(※)

期日 平成24年6月9日(土), 10日(日)
会場 九州大学大橋キャンパス(福岡市)
問合せ 同大会事務局(九州大学大学院芸術工学研究院)
村木里志 info@jes2012.jp

●…………… 国 際 会 議 ……………●

情報理論とその応用国際シンポジウム (ISITA2012)

期日 2012年10月28日(日)~31日(水)
会場 Hawaii Convention Center, Honolulu, Hawaii, USA
分野 Error Control Coding, Coding Theory and Practice, Coded Modulation, Data Compression and Source Coding, Communication Systems, Optical Communications, Detection and Estimation, Mobile Communications, Spread Spectrum Systems, Pattern Recognition and Learning, Signal Processing, Speech/Image Coding, Rate-Distortion Theory, Shannon Theory, Stochastic Processes, Cryptology and Data Security, Data Networks, Applications of Information Theory, Multi-User Information Theory, Quantum Information Processing

2012 International Symposium on Information Theory and its Applications (ISITA2012) を2012年10月にハワイにて開催致

します。多数の方々の御参加及び論文発表をお待ちしております。なお、論文投稿方法などの詳細については、Web サイト (<http://www.isita.ieice.org/2012/>) を御覧下さい。

論文投稿締切 2012年3月28日

採録通知 2012年6月中旬

最終原稿締切 2012年7月18日

問合せ先 ISITA2012 実行委員会 (会議全般) isita-2012@mail.ieice.org

プログラム委員会 (論文投稿) isita-2012tpc@mail.ieice.org

主催 電子情報通信学会基礎・境界サイエティ情報理論とその応用サブサイエティ

協賛 IEEE Information Theory Society
Dept. of Electrical Engineering, Univ. of Hawaii at Manoa

第24回国際低温工学会議—2012年国際低温材料会議 (ICEC24-ICMC2012)

期日 2012年5月14日(月)~18日(金)

会場 福岡国際会議場(福岡市)

問合せ先 低温工学・超電導学会

TEL [03] 3818-4539, FAX [03] 3818-4573

LDJ04246@nifty.com

2012 The Nineteenth International Workshop on Active-Matrix Flatpanel Displays and Devices—TET Technologies and FPD Materials— (AM-FPD'12)

期日 2012年7月4日(水)~6日(金)

会場 龍谷大学アバンティ(京都市)

問合せ先 AM-FPD 事務局 (茂原アテックス) 吉田

TEL [0475] 23-1150, FAX [0475] 25-7703

amfpd@atecs.co.jp

第16回化学・生命科学マイクロシステム国際会議 (μ TAS 2012)

期日 2012年10月28日(日)~11月1日(木)

会場 沖縄コンベンションセンター(宜野湾市)

問合せ先 同国際会議事務局

TEL [03] 3346-8007, FAX [03] 3346-8002

info@microtas12.org

2012年ACMマルチメディア国際会議 (ACM Multimedia 2012)

期日 2012年10月29日(月)~11月2日(金)

会場 奈良県新公会堂(奈良市)

問合せ先 ACMMM 2012 事務局

TEL [06] 6879-7744, FAX [06] 6879-7684

babaguchi@comm.eng.osaka-u.ac.jp

<http://www.acmmm12.org/>

The 6th International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems, and the 13th International Symposium on Advanced Intelligent Systems (SCIS-ISIS2012) (※)

期日 2012年11月20日(火)~24日(土)

会場 神戸国際会議場(神戸市)

問合せ先 日本知能情報ファジィ学会事務局

TEL [0948] 24-3355, FAX [0948] 24-3356

soft@flsi.cird.or.jp <http://www.j-soft.org>

●..... 受賞候補者募集等●

——第41回日本産業技術大賞——

対象 ①産業の発展に貢献度の高い大型産業設備、構造物の開発、②独創的、画期的で産業・社会に変革をもたらしたシステム技術の開発、③地球環境保全に大きな効果を発揮した設備の開発などで、実際に工業化または活用されて効果を上げたもの。

応募締切 平成24年1月31日(火) 必着

問合せ先 日刊工業新聞社編集局「日本産業技術大賞事務局」科学技術部 藤元

TEL [03] 5644-7190, FAX [03] 5644-7089

grandprix@nikkan.co.jp www.nikkan.co.jp

——第53回藤原賞——

推薦対象 自然科学分野に属するもの。

候補者 日本に国籍があり、かつ日本在住の方であれば、ほかに賞を受けられた方でも、また以前に推薦された方でも可。

受賞件数及び賞金 毎年2件、1,000万円/件

締切日 平成24年1月31日(火)

問合せ先 藤原科学財団 TEL [03] 3561-7736,

FAX [03] 3561-7860 <http://www.fujizai.or.jp>

——第25回安藤博記念学術奨励賞——

対象研究分野 エレクトロニクス及びこれに関連する科学技術(通信・放送・音響・画像技術、コンピュータ・情報処理システム、半導体デバイス、材料、マイクロエレクトロニクス、マイクロメカトロニクス、ナノテクノロジー等の研究分野を含む。)

対象研究者 大学の若手研究者(原則として35歳未満、大学院生を含む)等で上記の研究分野において独創的・萌芽的な研究活動を行っている者。

奨励賞の内容 賞状、記念品及び賞金1件50万円で4件以上。

推薦者 原則として各所属機関長(学部長・大学院研究科長・研究所長等)を推薦者とし、1機関につき1件の推薦とする。

応募締切 平成24年2月末日(消印有効)

問合せ先 安藤研究所 表彰事業部 prize@ando-lab.or.jp

●…………… 求 人 欄 ……………●

求人欄出稿にあたってのお願い

求人欄原稿を受領後、事務局では原稿受領通知をお送りしております。原稿送信後、数日たっても受領の連絡がない場合は、事故防止のため下記までお問合せ願います。

問合先：電子情報通信学会出版事業部

TEL [03] 3433-6692, E-mail: shuppan@ieice.org

——教官・教員募集——

●北陸先端科学技術大学院大学

公募人員 情報科学研究科 助教1名（任期付・再任制度あり）
 専門分野及び関連する職務 情報セキュリティ（セキュアなソフトウェア／センサネットワーク、モデリング、プライバシー等）及び暗号理論（安全性解析、代数・数論アルゴリズム、暗号プロトコル・方式、認証等）の研究分野並びに関連する講義補助、ゼミ指導補助等
 応募締切 平成24年1月20日（金）必着
 問合先 情報科学研究科長 赤木正人, akagi@jaist.ac.jp
 詳細 <http://www.jaist.ac.jp/>
<http://grampus.jaist.ac.jp/miyaji-lab/index-jp.html>

●高知工業高等専門学校

公募人員 電気情報工学科 准教授または助教1名
 専門分野 電子工学
 担当科目 電子回路、電子回路演習、電気電子材料等
 応募資格 学生の教育・指導に熱心で、研究と両立可能な方、博士の学位を有する方（採用時まで取得していること）
 着任時期 平成24年4月1日
 応募締切 平成24年1月31日（火）必着
 問合先 電気情報工学科長 今井一雅
 imai@ee.kochi-ct.ac.jp
 詳細 <http://www.jm.kochi-ct.ac.jp/kobo/>

●大分大学

公募人員 工学部知能情報システム工学科 助教1名
 専門分野 計算機ネットワーク、情報セキュリティ
 応募資格 博士の学位を有し（見込み可）、教育及び研究に対し熱意のある方、ネットワークの設計・保守・運用に関する研究開発の経験の有ることが望ましい
 採用予定日 平成24年4月1日
 応募締切 平成24年2月7日（火）必着
 問合先 知能情報システム工学科長 越智義道
 TEL [097] 554-7869, ochi@oita-u.ac.jp
 詳細 <http://www.oita-u.ac.jp/> のお知らせ欄

●電気通信大学

公募人員 大学院情報理工学研究科総合情報学専攻 教授または准教授1名
 専門分野 音メディア（音響・音楽・音声など音に関する情報処理、感性情報処理、認識・合成など広く音に関する分野）
 応募締切 平成24年3月16日（金）必着
 問合先 総合情報学専攻 高橋治久
 TEL [042] 443-5244, takahasi@ice.uec.ac.jp
 詳細 <http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/>

●広島大学

公募人員 工学研究院情報部門 准教授1名
 専門分野 人の学習活動を活性化させるソフトウェアシステムに関する研究分野
 着任時期 平成24年10月1日
 応募締切 平成24年3月29日（木）必着
 問合先 大学院工学研究院情報部門教授 平嶋 宗
 tsukasa@isl.hiroshima-u.ac.jp
 詳細 http://www.hiroshima-u.ac.jp/top/saiyo_syusyoku/kyoinkobo/index.html

●豊田工業大学

公募人員 教授または准教授1名（いずれも Tenured あるいは Tenure Track とする）
 所 属 工学部先端工学基礎学科
 専門分野 電子デバイス（情報処理・通信・インタフェース等のための集積デバイス及び、そのプロセッシングを含む）に関連する分野
 応募締切 平成24年3月31日（土）当日消印有効
 問合先 電子デバイス分野教員選考委員会委員長 田中周治
 TEL [052] 809-1775, tanaka_mat@toyota-ti.ac.jp
 詳細 <http://www.toyota-ti.ac.jp/bosyu/index.html> 参照

●求人欄の執筆要領につきましては下記を御覧下さい。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/koukoku/kyokanshainboshu.html>

◎次回締切 3月号掲載分 平成24年1月25日（水）必着

◎会告求人欄に掲載された内容は本会ホームページにも掲載しておりますので、併せて御覧下さい。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/service/kyokanboshu.html>

●●・国際会議開催案内一覧・●●

(※は参加費割引あり)

第17回人工生命とロボットに関する国際シンポジウム (AROB 17th '12)

期日：2012年1月19日(木)～21日(土) 会場 B-Con Plaza (別府市) 問合せ先：AROB事務局 (ALife Robotics) TEL & FAX [097] 594-0181 arobsecr@alife-robotics.co.jp

第4回先進プラズマ科学と窒化物及びナノ材料への応用に関する国際シンポジウム (ISPlasma2012)

期日：2012年3月4日(日)～8日(木) 会場：中部大学(春日井市) 問合せ先：科学技術交流財団東海広域的クラスター創成事業本部 佐久間 TEL [052] 231-1656, FAX [052] 231-1640 isplasma@astf.or.jp

The 17th Workshop on Synthesis And System Integration of Mixed Information technologies (SASIMI 2012)

期日：2012年3月8日(木), 9日(金) 会場：別府国際コンベンションセンター(別府市) 問合せ先：立命館大学情報理工学部情報システム学科 山下茂 TEL & FAX [077] 561-4947, 内線 6737 ger@cs.ritsumeiji.ac.jp <http://www.sasimi.jp/>

第7回IEEE無線、移動、ユビキタス技術と教育に関する国際会議及び第4回IEEEデジタルゲームと知的玩具による教育に関する国際会議 (WMUTE2012 & DIGITEL2012)

期日：2012年3月27日(火)～30日(金) 会場：かがわ国際会議場, サンポートホール高松(高松市) 問合せ先：香川大学工学部 垂水浩幸 (WMUTE/DIGITEL2012 実行委員会代表) TEL [087] 864-2214, FAX [087] 864-2261 tarumi@eng.kagawa-u.ac.jp

8th International Conference on Optics-photonics Design & Fabrication (ODF'12)

期日：2012年7月2日(月)～5日(木) 会場：サンクトペテルスブルグ(ロシア) 問合せ先：ODF'12 運営事務局(プロアクティブ内) 林 TEL [03] 3669-6161, FAX [03] 3669-6162 odf12@pac.ne.jp

2012年情報理論とその応用に関する国際シンポジウム (ISITA 2012)

期日：2012年10月28日(日)～31日(水) 会場：ハワイ州ホノルル/Hawaii Convention Center 問合せ先：実行委員長 藤原融(大阪大学大学院情報科学研究科) TEL [06] 6879-4515 fujiiwara@ist.osaka-u.ac.jp

第31回国際心理学会議 (ICP2016)

期日：2016年7月24日(日)～29日(金) 会場：パシフィコ横浜(横浜市) 問合せ先：日本心理学会 担当 鈴木, 亀岡 jpa@psych.or.jp TEL [03] 3814-3953, FAX [03] 3814-3954

●…………… お 知 ら せ ……………●

——シニア会員申請登録は

1月31日が締切です! ——

平成20年から発足しましたシニア会員制度は、日頃の会員活動を通して本会の発展に寄与する継続的活動が認められた正員に対してシニア会員の称号を贈呈し、より具体的に敬意を表明するとともに、将来にわたって引き続き学会活動の中心になって、学会の発展、ひいては社会への貢献をお願いするものです。また、本制度は将来、フェロー選出の母体となる制度でもあります。

- ・申請期間：平成23年10月1日から平成24年1月31日まで
- ・年限基準：会員在籍累積5年以上の正員で本会の技術分野に10年以上従事されている方

- ・申請方法：Webでの自己申請で推薦者2名が必要

- ・推薦者：名誉員、フェロー、シニア会員とするが、平成24年までは在籍10年以上の正員でも可

該当の会員の皆様、是非登録申請して下さい。
会員の皆様の周りの該当の方々に、申請登録されるようお勧めさせていただきますようお願い致します。

申請方法等の詳細は下記URLを御覧ください。

<http://www.ieice.org/jpn/senior/index.html>

——平成24年度会費お払込みのお願い——

平成24年度(平成24年4月～平成25年3月)の会費(追加ソサイエティ代等含む)のお払込みを11月末にお願いしましたが、12月末で入金の確認がとれない方につきましては、1月末に再度振込用紙をお送りしますのでお支払いをお願い致します。

なお、本年5月末日までにお支払いの確認がとれない場合は7月号から会誌の送付及び論文誌の閲覧が停止してしまいますので、お早めのお支払いをお願い致します。

※法人会員(維持員・特殊員)の御請求は平成24年4月末にお送りする予定です。

——登録情報の変更・確認はマイページを

御利用下さい——

<http://www.ieice.org/jpn/service/member/mypage.html>

◆御利用方法

事前に、上記のURLからパスワードを取得の上御利用下さい。なお、パスワードは現在会員システムに登録されているメールアドレスに自動送信されます。

◆マイページで御利用頂ける内容

- (1) 登録情報の確認/変更について—送付先住所、会費支払方法(クレジットカードでのWeb決済、支払い方法の変更)、学生員申請、オンラインジャーナル購読内容の変更、満60歳以上の方の会費減額手続き、退会手続き
- (2) 研究会情報配信サービスのための研究会名登録

(注) †がついている内容は、会費の金額が変わる事項であり事故を防ぐため、マイページのリンク先から申請書類をダウンロードの上、FAX/郵送して頂く形式をとっております。

——英文論文誌 B レター カテゴリー——

——廃止について——

通信ソサイエティ英文論文誌編集委員会

現在、英文論文誌 B には Paper, Letter の二つのカテゴリーがありますが、2012 年 5 月 31 日を最後に Letter の投稿受付を停止し、英文論文誌 B は Paper (フルペーパー) のみの構成とすることになりましたので、お知らせ致します。ただし、英文論文誌 B に掲載された論文に対する紙上討論としての Letter は引き続き投稿を受け付けます。

Letter カテゴリーが対象としていた速報を目的とした短編の論文については、より速報性に優れたオンラインレター誌 Co-mEX (<http://www.comex.ieice.org/>) (2012 年 3 月 1 日投稿受付開始, 2012 年 6 月 1 日創刊) に御投稿頂きますようお願い致します。

——平成 24 年 1 月号及び 2 月号

和・英論文誌特集・小特集テーマ——

和・英論文誌編集委員会

(基礎・境界ソサイエティ)

1 月号 [和文] 人とエージェントのインタラクション

1 月号 [英文] ・Cryptography and Information Security
・Intelligent Transport Systems

2 月号 [英文] Analog Circuit Techniques and Related Topics
(通信ソサイエティ)

1 月号 [英文] Recent Progress in Antennas and Propagation in
Conjunction with Main Topics of ISAP2010

2 月号 [和文] 通信技術の未来を切り拓く学生論文
(エレクトロニクスソサイエティ)

1 月号 [英文] Recent Progress in Electromagnetic Theory and
Its Application

2 月号 [英文] Photonic Devices using Nanofabrication Technol-
ogy and Their Applications

(情報・システムソサイエティ)

1 月号 [和文] 異文化コラボレーション

1 月号 [英文] Trust, Security and Privacy in Computing and
Communication Systems

2 月号 [和文] データ工学と情報マネジメント

2 月号 [英文] ・Reconfigurable Systems
・Architectures, Protocols, and Applications for
the Future Internet

——平成 24 年度各研究会 (第一種) 開催予定——

研究会の発表申込・聴講参加等に御活用下さい。なお、開催日や会場・テーマなど変更されることがありますので、詳細な情報は各研究会の開催スケジュールや会告で御確認下さい。

[発表申込方法] 発表を御希望の方は研究会発表申込 (Web による申込み) ページ (<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushi.html>) を御利用下さい。本システムにて運用・登録していない研究会につきましては、各研究会の Web ページを御覧頂き、直接研究会幹事宛てにお申込み下さい。また、発表申込締切日も各研究会ごとに設定しておりますので、御注意下さい。

——基礎・境界ソサイエティ——

回路とシステム研究会 (CAS)

4 月休会 5 月休会 6 月休会

7 月 2 日 (月), 3 日 (火) 関西 (京都市サテパーク): システムと信号処理及び一般

8 月休会

9 月下旬四国 (高知県立大永国寺キャンパス): 一般

10 月休会

11 月東北 (岩手大): グラフ, ペトリネット, ニューラルネット, 及び一般

12 月休会 1 月九州: 一般 2 月休会

3 月未定: ネットワークプロセッサ, 通信のための信号処理, 無線 LAN/PAN, 一般

情報理論研究会 (IT)

4 月休会

5 月 25 日 (金) 九州 (飯塚研究開発センター): 一般

6 月休会

7 月 19 日 (木), 20 日 (金) 東海 (豊田工大): 一般, フレッシュマン

8 月休会 9 月未定: 一般, LDPC 符号 10 月休会

11 月未定: 若手研究者のための講演会 12 月休会

1 月未定: 一般 2 月休会

3 月未定: 一般, 合同研究会

信頼性研究会 (R)

4 月休会 5 月中国: ソフトウェアの信頼性, 信頼性一般

6 月 15 日 (金) 東京 (機械振興会館): 電子・電気機器の信頼性, 故障解析, 劣化診断, 信頼性一般

7 月 27 日 (金) 北海道: 信頼性理論, 通信ネットワークの信頼性, 信頼性一般

8 月 23 日 (木), 24 日 (金) 東北: 光部品・電子デバイス実装・信頼性, 一般 (OECC 報告)

9 月休会 10 月九州: 信頼性一般

11 月関西: 半導体と電子デバイスの信頼性, 信頼性一般

12 月 14 日 (金) 東京 (機械振興会館): 信頼性国際規格, 保水性, 信頼性一般

1 月休会

2 月東海: 機構デバイスの信頼性, 計算機システムの信頼性, 信頼性一般

3 月休会

超音波研究会 (US)

4月26日(木) 東京(日大駿河台キャンパス):一般
5月28日(月) 東京(機械振興会館):一般
6月21日(木) 東京(東大生研):医用超音波/アコースティックイメージング/一般
7月26日(木), 27日(金) 東海(名大):物性/一般
8月30日(木) 東京:水中音響
9月24日(月), 25日(火) 東北(秋田大):一般
10月22日(月), 23日(火) 北陸(金沢工大):一般
11月22日(木) 東海(静岡大):非線形/一般
12月27日(木) 東京(東工大すずかけ台キャンパス):強力超音波
1月関西(同志社大):一般/音響・超音波サブサイエティ合同研究会
2月21日(木) 未定:アコースティックイメージング/一般
3月休会

応用音響研究会 (EA)

4月休会
5月関西(阪大):応用(電気)音響/信号処理/音声
6月東海(ヤマハ):一般
7月北海道(北海道医療大):応用(電気)音響/音楽音響/聴覚
8月東北(東北大):音響信号処理/聴覚/一般 9月休会
10月北陸(富山県立大):一般
11月九州(大分大):異種メディア融合/コンテンツ処理/メディア検索/電子透かし/一般
12月7日(金) 東京(機械振興会館):一般
1月関西(同志社大):音響・超音波サブサイエティ合同研究会テーマ:応用(電気)音響/超音波
2月休会 3月東海:一般

非線形問題研究会 (NLP)

4月19日(木), 20日(金) 東海(三重):一般
5月東北(秋田):一般 6月休会
7月九州(鹿児島大):一般 8月休会
9月四国(高知県立大):一般 10月休会
11月中国(島根):一般 12月北陸(福井大):一般
1月北海道(はこだて未来大):一般 2月休会
3月東京(千葉大):一般

VLSI 設計技術研究会 (VLD)

4月休会
5月30日(水), 31日(木) 九州(北九州国際会議場):システム設計及び一般
6月休会
7月2日(月), 3日(火) 関西(京都市サーチパーク):システムと信号処理及び一般
8月休会 9月休会
10月東北(盛岡):プロセッサ, DSP, 画像処理技術及び一般
11月26日(月)~28日(水) 九州(九大):デザインガイア 2012—VLSI 設計の新しい大地—
12月休会 1月東京(慶大):FPGA 応用及び一般
2月休会
3月九州(沖縄県男女共同参画センター):システムオンシリコンを支える設計技術

情報セキュリティ研究会 (ISEC)

4月休会 5月18日(金) 東京(機械振興会館):一般
6月休会 7月未定:一般 8月休会
9月21日(金) 東京(機械振興会館):一般 10月休会
11月未定:一般
12月12日(水) 東京(機械振興会館):一般 1月休会
2月休会 3月未定:一般

信号処理研究会 (SIP)

4月休会 5月関西:音声・音響信号処理及び一般
6月休会
7月2日(月), 3日(火) 未定:システムと信号処理及び一般
8月休会 9月休会
10月未定:プロセッサ, DSP, 画像処理技術及び一般
11月休会 12月休会
1月未定:無線通信のための信号処理及び一般 2月休会
3月未定:無線 LAN/MAN, PAN, ネットワークプロセッサ, 通信のための信号処理, 一般

ワイドバンドシステム研究会 (WBS)

4月休会
5月東北(岩手県立大):符号化, 変復調・信号処理技術及び一般
6月休会 7月東海(名大):グリーンワイヤレス, 一般
8月休会 9月休会
10月関西(京大):グリーンワイヤレス, 一般, ポスター講演
11月休会 12月東京:一般, ポスター講演 1月休会
2月休会 3月未定:一般

システム数理と応用研究会 (MSS)

4月休会 5月休会 6月休会
7月関西(京都市サーチパーク):システムと信号処理及び一般
8月休会 9月休会 10月休会
11月東北(岩手大):グラフ, ペトリネット, ニューラルネット及び一般
12月休会 1月未定:一般 2月休会
3月未定:一般

思考と言語研究会 (TL)

4月休会 5月休会 6月東京:言語の学習の発達
7月休会 8月東北(山形大):人間の言語情報処理
9月休会 10月未定:一般 11月休会
12月東京(早大):言語と教育 1月休会
2月未定:言語哲学 3月休会

技術と社会・倫理研究会 (SITE)

4月休会 5月東京(東京):知的財産, 一般 6月休会
7月未定:セキュリティ関係, 一般 8月休会
9月休会 10月東京(東京):一般 11月休会
12月関西(大阪 or 京都):一般 1月休会 2月休会
3月未定:インターネットと情報倫理教育, 一般

安全性研究会 (SSS)

4月休会
5月24日(木) 東京(機械振興会館):交通関係を主として
6月休会

7月26日(木) 東京(機械振興会館):産業安全を主として
8月休会
9月20日(木) 東京(筑波大):安心・安全の心理を主として
10月休会:一般
11月22日(木) 東京(東京海洋大):情報システムの安全性を
主として
12月20日(木) 関西:製品・機械の安全性を主として
1月休会 2月休会
3月14日(木) 東京(明大):食品の安全を主として

ITS研究会(ITS)

4月休会 5月東京(YRP):ITSコア技術,一般
6月休会 7月東海:ITSポジショニング,一般
8月休会
9月東京:交通センシング,通信,情報処理,一般
10月休会 11月休会
12月未定:ポスターセッション,通信,一般 1月休会
2月北海道(北大):ITS画像処理,映像メディア,視覚及び一
般
3月関西(京大):ITS情報処理,一般

スマートインフォメディアシステム(SIS)

4月休会 5月休会
6月北海道:スマートパーソナルシステム,一般 7月休会
8月休会 9月関西:知的マルチメディアシステム,一般
10月休会 11月休会
12月東京:システムオンシリコン,RFID技術,一般
1月休会 2月休会
3月東海:ソフトコンピューティング,一般

イメージ・メディア・クオリティ研究会(IMQ)

4月休会 5月18日(金)未定:IMQ一般 6月休会
7月27日(金)東海(名大):視覚とIMQ一般 8月休会
9月関西(キャンパスプラザ京都):ヒューマンインタフェース
とIMQ一般 10月休会
11月東京(千葉大):メディカル画像とIMQ一般
12月休会 1月関西(神戸大):画像処理とIMQ一般
2月休会 3月未定:未定

—通信ソサイエティ—

アンテナ・伝播研究会(A・P)

4月19日(木),20日(金)東北(東北大):一般
5月24日(木),25日(金)九州(福岡):一般
6月14日(木)東京(機械振興会館):一般
7月26日(木),27日(金)北海道(北大):衛星通信,電波伝
搬,一般
8月27日(月),28日(火)信越(新潟大):測定,電力伝送,
一般
9月27日(木)東京(KDDI研):マイクロ波ミリ波帯における
アンテナ・伝搬技術,一般
10月休会
11月15日(木),16日(金)東京(東京電機大):アダプティブ
アンテナ,等化,干渉キャンセラ,MIMO,無線通信,一般
12月13日(木)東京(機械振興会館):一般

1月24日(木),25日(金)九州:電波伝搬,一般
2月7日(木)東京(産総研臨海センター):放送技術・アンテ
ナ,測定,一般
3月14日(木),15日(金)東京:一般

宇宙・航行エレクトロニクス研究会(SANE)

4月26日(木),27日(金)信越(JAXA(白田)):宇宙科学
ミッション・衛星技術及び一般
5月18日(金)東京(防衛大):リモートセンシング及び一般
6月28日(木),29日(金)東京(JAXA(つくば)):宇宙応用
シンポジウム
7月27日(金)東京(電子航法研):航法・交通管制及び一般
8月24日(金)信越(新潟大):環境計測及び一般
9月休会
10月16日(火)~18日(木)海外(ハワイ島):ICSANE2012
11月30日(金)東京(千葉大):リモートセンシング及び一般
12月21日(金)東京(日本工大):レーダ信号処理及び一般
1月24日(木),25日(金)九州(長崎):測位・航法及び一般
2月14日(木),15日(金)九州(琉球大):衛星応用技術及び
一般 3月休会

衛星通信研究会(SAT)

4月休会
5月24日(木),25日(金)東北(岩手県立大):符号化,変復
調・信号処理技術及び一般 6月休会
7月26日(木),27日(金)北海道(北大):衛星通信,電波伝
搬,一般
8月30日(木),31日(金)四国(高知):移動衛星通信,放送,
誤り訂正,無線通信一般
9月休会 10月未定:衛星通信技術及び一般
11月休会 12月休会 1月休会
2月14日(木),15日(金)九州(琉球大):衛星応用技術及び
一般 3月休会

環境電磁工学研究会(EMCJ)

4月20日(金)北陸(金沢大角間キャンパス):EMC一般
5月31日(木),6月1日(金)東京(首都大東京秋葉原サテラ
イト):EMC一般
6月関西:EMC一般
7月19日(木)東京(機械振興会館):若手研究発表会
7月20日(金)東京(機械振興会館):EMC一般,実装,放電
8月休会
9月7日(金)北海道(北大):EMC一般,生体
10月25日(木),26日(金)東北(東北学院大):EMC一般,
電磁界解析 11月休会
12月14日(金)東海(岐阜大):EMC一般,電力・生体
1月九州(長崎大):EMC一般,通信 2月休会
3月8日(金)東京(機械振興会館):EMC一般,放送

ネットワークシステム研究会(NS)

4月19日(木),20日(金)四国(高知県立大):トラヒック,
NW評価,性能,リソース管理・制御,トラヒックエンジニ
アリング,NW信頼性・レジリエンシ,一般
5月17日(木),18日(金)東京(NII):高度プロトコル・ネッ
トワーキング技術(IP及び高位レイヤルーチング・フィルタ
リング,マルチキャスト,品質・経路制御,IPNWの利用技

術 (P2P, P4P, オーバレイ, SIP, NGN), ネットワークシステム関連技術 (システム構成法, インタフェース, アーキテクチャ, ハードウェア・ソフトウェア・ミドルウェア), 一般

6月21日(木), 22日(金) 東北(山形大): コア・メトロシステム, フォトニックネットワーク・システム, 光ネットワーク運用管理, 光ネットワーク設計, トラヒックエンジニアリング, シグナリング, GMPLS, ドメイン間経路制御, ネットワーク監視, イーサネット, 光伝達網 (OTN), 高速インタフェース, 光制御 (波長変換・スイッチング・ルーチング), 光ノード技術, 光クロスコネクタ (OXC), 光分岐挿入多重 (OADM), 光多重・分離装置, 光信号処理, 光スイッチ素子, 一般

7月19日(木), 20日(金) 東北(岩手大): 有線/無線シームレスネットワーク, ハンドオーバ, リレー, 分散 MIMO, モバイル・アドホックネットワーク, ユビキタス・センサネットワーク, 一般 8月休会

9月20日(木), 21日(金) 東北(東北大): ポスト IP ネットワーキング, 新世代ネットワーク, ネットワークモデル, インターネットトラヒック, TCP/IP, マルチメディア通信, ネットワーク管理, リソース管理, プライベートネットワーク, NW 安全性及び一般

10月11日(木), 12日(金) 関西(京大): ネットワークアーキテクチャ (オーバレイ, P2P, ユビキタス NW, スケールフリー NW, アクティブ NW, NGN・新世代 NW), 次世代パケットトランスポート (高速 Ethernet, IP over WDM, マルチサービスパケット技術, MPLS), グリッド, 一般

11月15日(木), 16日(金) 関西(彦根勤労福祉会館): ネットワーク管理, ネットワーク品質, 一般

12月13日(木), 14日(金) 四国(愛媛大): モバイル, アドホック, ユビキタス, 無線, セキュリティ, マルチアクセス, アクセスネットワーク・UserNetworkInterface, Home ネットワーク, 一般

1月24日(木), 25日(金) 九州(熊本大): ネットワークソフトウェア (ソフトウェアアーキテクチャ, ミドルウェア), NW アプリケーション, SOA/SDP, NGN/IMS/API, 分散制御・ダイナミックルーチング, グリッド, NW 及びシステム信頼性, NW 及びシステム評価, 一般 2月休会

3月7日(木), 8日(金) 九州(残波岬ロイヤルホテル): 一般

情報ネットワーク研究会 (IN)

4月12日(木), 13日(金) 関西(京都): 情報家電ネットワーク, ホームネットワーク, スマートグリッド, 省エネルギー, M2M, Participatory Sensing, モバイルネットワーク, ユビキタスネットワーク, 及び一般

5月17日(木), 18日(金) 東京(東工大): ワイヤレスインターネット, マルチホップネットワーク, メッシュネットワーク, ネットワーク符号化, クロスレイヤ技術, 無線通信及び一般

6月21日(木), 22日(金) 北海道(函館市民会館): 品質制御, 輻輳制御, 信頼性技術, IPTV, コンテンツネットワーク, ネットワークソフトウェア及び一般

7月19日(木), 20日(金) 北海道(北大): 新世代・次世代ネットワーク, ネットワークとシステムの仮想化, 仮想化環境の管理・監視, オーバレイ, IPv6 ネットワーク, フォトニックネットワーク, 及び一般 8月休会

9月20日(木), 21日(金) 東北(東北大): ポスト IP ネットワーキング, 新世代ネットワーク, ネットワークモデル, イン

ターネットトラヒック, TCP/IP, マルチメディア通信, ネットワーク管理, リソース管理, プライベートネットワーク, NW 安全性及び一般

10月18日(木), 19日(金) 東京(東大山上会館): Resilient Network, デザスタ・リカバリ, BCP (Business Continuity Plan), 臨時ネットワーク構築, 省電力ネットワーク技術, TCP/IP, プロトコル, ルーチング, ネットワーク管理, 認証/ID 管理及び一般

11月15日(木), 16日(金) 九州(福岡工大): ホームネットワーク, ユビキタスネットワーク, クラウドコンピューティング, コンテキストウェア, 位置情報サービス, eコマース及び一般

12月13日(木), 14日(金) 中国(広島市大): インターネットやイントラネットの信頼性, 品質, 計測, 監視, セキュリティ, トラヒック理論及び一般

1月24日(木), 25日(金) 九州(沖縄 or 鹿児島): ソーシャル・ネットワーク, セキュリティ管理, 災害時情報流通, オーバレイネットワーク, P2P ネットワーク, 自律分散制御及び一般

2月休会 3月6日(水)~8日(金) 九州: 一般

通信方式研究会 (CS)

4月19日(木), 20日(金) 九州(石垣島): ユビキタス/ブロードバンドネットワーク品質, サービス品質, 品質評価モデル, 信頼性とセキュリティ, コンテンツ配信, 一般

5月休会 6月休会

7月5日(木), 6日(金) 九州(沖永良部島): 次世代ネットワーク, 電力線通信, 無線通信方式, 一般 8月休会

9月20日(木), 21日(金) 東北(東北大): ポスト IP ネットワーキング, 新世代ネットワーク, ネットワークモデル, インターネットトラヒック, TCP/IP, マルチメディア通信, ネットワーク管理, リソース管理, プライベートネットワーク, NW 安全性及び一般 10月休会

11月北海道: ブロードバンドアクセス, ホームネットワーク, ネットワークサービス, 通信利用アプリケーション, 一般

12月6日(木), 7日(金) 東海(名大): 画像符号化, 通信・ストリーム技術, 一般

1月24日(木), 25日(金) 四国(愛媛大): コア・メトロシステム, 光アクセスシステム・次世代 PON, ブロードバンドアクセス方式, (広域) イーサネット, 光伝達網 (OTN), 高速インタフェース, アナログ光伝送, 量子通信, 一般

2月休会

3月未定: ネットワークプロセッサ, 通信のための信号処理, 無線 LAN/PAN, 一般

電子通信エネルギー技術研究会 (EE)

4月休会

5月東京: スwitching電源, エネルギー関連及び家電・民生技術, 一般 6月休会

7月未定: エネルギー技術, 半導体変換技術, 一般

8月休会 9月休会

10月東京: 部品・照明・デバイス・材料技術関連, 一般

11月東京: 回路・制御技術関連, 一般 12月休会

1月九州: 回路技術及び高効率エネルギー変換技術関連, 一般

2月東京: 電池技術関連, 一般 3月休会

光通信システム研究会 (OCS)

4月休会

5月18日(金) 東京(機械振興会館):【光通信方式】光変復調方式, 多値光変復調, コヒーレント光通信, 光増幅・中継技術, 非線形・偏波問題, コア・メトロシステム, 海底伝送システム, 光伝送システム設計・ツール, 一般(OFC報告)

6月21日(木), 22日(金) 東北(山形大):【光通信機器】コア・メトロシステム, フォトニックネットワーク・システム, 光ネットワーク運用管理, 光ネットワーク設計, トラヒックエンジニアリング, シグナリング, GMPLS, ドメイン間経路制御, ネットワーク監視, イーサネット, 光伝達網(OTN), 高速インタフェース, 光制御(波長変換・スイッチング・ルーティング), 光ノード技術, 光クロスコネクト(OXC), 光分岐挿入多重(OADM), 光多重・分離装置, 光信号処理, 光スイッチ素子, 一般

7月26日(木), 27日(金) 東海(ニューウェルシティ湯河原):【光通信方式】【光通信機器】光変復調方式, 多値光変復調, コヒーレント光通信, 非線形・偏波問題, 分散補償デバイス, 光信号処理, 光測定器, 光通信用デジタル信号処理, 光通信計測, 光通信用LSI, 誤り訂正, 一般

8月30日(木), 31日(金) 北海道(函館):【光ファイバ伝送路】光ファイバケーブル・コード, 通信用光ファイバ, 光ファイバ線路構成部品, 光線路保守監視・試験技術, 接続・配線技術, 光ファイバ測定技術, 光コネクタ, ホーリーファイバ, 機能性光ファイバ, 光信号処理, 光ファイバ型デバイス, 光測定器, レーザ加工, ハイパワーレーザ光輸送, 光給電, 一般

9月休会

10月25日(木), 26日(金) 九州(ホテルメリーージュ):【デバイス応用】超高速伝送・変復調・分散補償技術, 超高速光信号処理技術, 広帯域光増幅・WDM技術, 受光デバイス, 高光出力伝送技術, 一般(ECOC報告)

11月15日(木), 16日(金) 九州(熊本):【光通信網・規格】【光ファイバ伝送路】光アクセスシステム・次世代PON, 地上・衛星放送システム, 衛星通信システム, CATVシステム, イーサネット, 伝送監視制御, 光ファイバケーブル・コード, 通信用光ファイバ, 光線路保守監視・試験技術, 光ファイバ測定技術, 地上・衛星放送関連デバイス・機器・設備, 家庭用受信デバイス・機器, ホーリーファイバ, 機能性光ファイバ, 光ファイバ線路構成部品, 光回路部品, 周波数有効利用技術, 変復調技術, 電磁界解析及びシミュレーション技術, 無線・光伝送境界領域, 光ケーブル布設技術, 光ファイバ線路設計技術, 光ファイバ線路構成部品信頼性, 空間・可視光伝送, 一般

12月休会

1月24日(木), 25日(金) 四国(愛媛大):【光通信網・規格】コア・メトロシステム, 光アクセスシステム・次世代PON, ブロードバンドアクセス方式, (広域)イーサネット, 光伝達網(OTN), 高速インタフェース, アナログ光伝送, 量子通信, 一般

2月未定:未定 3月休会

無線通信システム研究会 (RCS)

4月19日(木), 20日(金) 関西(京大):無線アクセス技術, 一般

5月17日(木), 18日(金) 東京(東工大):ワイヤレスインターネット, マルチホップネットワーク, メッシュネットワーク, ネットワーク符号化, クロスレイヤ技術, 無線通信及び一

般

6月21日(木), 22日(金) 北海道(函館市中央図書館):初めての研究会, 鉄道, 車々間・路車間通信, リソース制御, スケジューリング, 無線通信一般

7月19日(木), 20日(金) 東北(岩手大):有線/無線シームレスネットワーク, ハンドオーバー, リレー, 分散MIMO, モバイル・アドホックネットワーク, ユビキタス・センサネットワーク, 一般

8月30日(木), 31日(金) 四国(高知まるぼーと):移動衛星通信, 放送, 誤り訂正, 無線通信一般 9月休会

10月17日(水)~19日(金) 九州(福岡大):無線分散ネットワーク及び一般

11月15日(木), 16日(金) 東京(東京電機大):アダプティブアンテナ, 等化, 干渉キャンセラ, MIMO, 無線通信, 一般

12月13日(木), 14日(金) 四国(愛媛大):モバイル, アドホック, ユビキタス, 無線, セキュリティ, マルチアクセス, アクセスネットワーク, UserNetworkInterface, Homeネットワーク, 一般

1月未定:未定

2月27日(水)~3月1日(金) 東京(早大):移動通信ワークショップ 3月休会

コミュニケーションクオリティ研究会 (CQ)

4月19日(木), 20日(金) 九州(石垣島):ユビキタス/ブロードバンドネットワーク品質, サービス品質, 品質評価モデル, 信頼性とセキュリティ, コンテンツ配信, 一般

5月休会 6月休会

7月12日(木), 13日(金) 四国(愛媛大):映像/音声サービスの品質, メディア品質, ネットワークの品質・QoS制御, 次世代/新世代ネットワークアーキテクチャ, 災害時のネットワークとコミュニケーション, 一般 8月休会

9月未定:モバイル/放送融合技術・システム及びアプリケーション, モバイルコンテンツ配信, P2P/アドホックネットワーク, 及びこれらの品質, 一般 10月休会

11月15日(木), 16日(金) 関西(彦根勤労福祉会館):ネットワーク品質, トラヒック計測, 一般 12月休会

1月25日(金) 東京(機械振興会館):ネットワーク品質, 映像・音声品質, メディア品質, 一般 2月休会

3月未定:五感メディアの品質, コミュニケーションデザイン, 画像符号化, 一般

フォトニックネットワーク研究会 (PN)

4月休会 5月休会

6月21日(木), 22日(金) 東北(山形):フォトニックネットワーク・システム, 光制御(波長変換, スwitching, ルーティング), 光ノード技術, WDM技術, マルチレイヤ・クロスレイヤ, 次世代トランスポート(高速Ethernet, ASON/OTN), 一般

7月休会 8月未定:一般 9月休会 10月休会

11月東京:フォトニックネットワークシステム, 光ルーティング, ブロードバンドアプリケーション, 一般

12月休会

1月関西(阪大):フォトニックNWデバイス, フォトニック結晶・ファイバとその応用, 光集積回路, 光導波路素子, 光スイッチング, 導波路解析, 一般

2月休会 3月九州:一般

光ファイバ応用技術研究会 (OFT)

- 4月休会 5月24日(木), 25日(金) 東海: 一般
6月休会 7月休会
8月30日(木), 31日(金) 北海道: 光ファイバケーブル・コード, 通信用光ファイバ, 光ファイバ線路構成部品, 光線路保守監視・試験技術, 接続・配線技術, 光ファイバ測定技術, 光コネクタ, ホーリーファイバ, 機能性光ファイバ, 光信号処理, 光ファイバ型デバイス, 光測定器, レーザ加工, ハイパワーレーザ光輸送, 光給電, 一般
9月休会 10月18日(木), 19日(金) 中国: 一般
11月15日(木), 16日(金) 九州: 光アクセスシステム・次世代PON, 地上・衛星放送システム, 衛星通信システム, CATVシステム, イーサネット, 伝送監視制御, 光ファイバケーブル・コード, 通信用光ファイバ, 光線路保守監視・試験技術, 光ファイバ測定技術, 地上・衛星放送関連デバイス・機器・設備, 家庭用受信デバイス・機器, ホーリーファイバ, 機能性光ファイバ, 光ファイバ線路構成部品, 光回路部品, 周波数有効利用技術, 変復調技術, 電磁界解析及びシミュレーション技術, 無線・光伝送境界領域, 光ケーブル布設技術, 光ファイバ線路設計技術, 光ファイバ線路構成部品信頼性, 空間・可視光伝送, 一般
12月休会 1月24日(木), 25日(金) 関西: 一般
2月28日(木), 3月1日(金) 東京: 光波センシング, 光波制御・検出, 光計測, ニューロ, 光ファイバ, 一般
3月休会

情報通信マネジメント研究会 (ICM)

- 4月休会
5月10日(木), 11日(金) 東北(秋田大): サービス管理, 運用管理技術, 及び一般(仮) 6月休会
7月12日(木), 13日(金) 北海道: 管理機能, 理論・運用方法論, 及び一般(仮)
8月休会 9月休会 10月休会
11月15日(木), 16日(金) 関西(彦根勤労福祉会館たちばな): ネットワーク管理, ネットワーク品質, 及び一般(仮)
12月休会
1月17日(木), 18日(金) 九州: ライフログ活用技術, オフィス情報システム, ビジネス管理, 一般(仮) 2月休会
3月14日(木), 15日(金) 九州: エレメント管理, 管理機能, 理論・運用方法論, 及び一般(仮)

モバイルマルチメディア通信研究会 (MoMuC)

- 4月休会
5月21日(月), 22日(火) 九州(沖縄県青年会館): モバイルコンピューティング, モバイルアプリケーション, ユビキタス通信, モバイルマルチメディア通信及び一般 6月休会
7月未定: IPTV, 画像符号化, ストリーム技術, マルチメディアホームネットワーク, ウェアラブルコンピューティング, コンテンツネットワーク, モバイルマルチキャスト, ストリーム技術及び一般 8月休会
9月未定: モバイル/放送融合技術・システム及びアプリケーション, モバイルコンテンツ配信, P2P/アドホックネットワーク, 及びこれらの品質, 一般 10月休会
11月九州: ホームネットワーク, ユビキタスネットワーク, クラウドコンピューティング, コンテキストアウェア, 位置情報サービス, e-コマース及び一般 12月休会

お知らせ

- 1月24日(木), 25日(金) 未定: モバイルユビキタス/センサ技術, アドホックネットワーク, RFID, 一般及び技術展示(仮)
2月休会
3月東京: モバイルアドホックネットワーク, モバイル時代を支える次世代無線技術, フィールドセンシング及び一般

インターネットアーキテクチャ研究会 (IA)

- 4月休会 5月休会
6月7日(木), 8日(金) 東京(機械振興会館): 一般
7月休会 8月東京: 一般 9月東京: 一般
10月海外(タイ): 一般 11月未定: 一般
12月中国(広島市大): 一般 1月休会
2月東京: 一般 3月未定: 一般

ソフトウェア無線研究会 (SR)

- 4月休会
5月24日(木), 25日(金) 東京(慶大): 技術展示, ソフトウェア無線機, 無線ハードウェア技術 6月休会
7月26日(木), 27日(金) 九州(屋久島): コグニティブ無線ネットワーク・ヘテロジニアスネットワーク・クロスレイヤ無線技術 8月休会 9月休会
10月17日(水)~19日(金) 九州(福岡大): 無線分散ネットワーク 11月休会 12月休会
1月26日(木), 27日(金) 信越(信州大): コグニティブ/ソフトウェア無線・標準化・国際ワークショップ
2月27日(水)~3月1日(金) 東京(早大): 移動通信ワークショップ 3月休会

アドホックネットワーク研究会 (AN)

- 4月休会
5月未定: フレッシュマン(WIP)セッション及び一般
6月休会
7月12日(木), 13日(金) 東北(岩手県立大): 一般
8月休会 9月休会
10月17日(水)~19日(金) 九州(福岡大): 無線分散ネットワーク及び一般 11月休会 12月休会
1月24日(木), 25日(金) 未定: モバイルユビキタス/センサ技術, アドホックネットワーク, RFID, 一般及び技術展示
2月休会
3月東京: モバイルアドホックネットワーク, モバイル時代を支える次世代無線技術, フィールドセンシング及び一般

ユビキタス・センサネットワーク研究会 (USN)

- 4月休会
5月17日(木), 18日(金) 東海(豊橋): フレッシュマン・セッション, ユビキタス・センサネットワーク, ユビキタス・システム, アドホックネットワーク 6月休会
7月19日(木), 20日(金) 東北(岩手大): 有線/無線シームレスネットワーク, ハンドオーバー, リレー, 分散MIMO, モバイル・アドホックネットワーク, ユビキタス・センサネットワーク, 一般 8月休会 9月休会
10月17日(水)~19日(金) 九州(福岡大): 無線分散ネットワーク, 一般 11月休会 12月休会
1月24日(木), 25日(金) 未定: モバイルユビキタス/センサ技術, アドホックネットワーク, RFID, 一般及び技術展示
2月休会 3月休会

告 57

——エレクトロニクスソサイエティ——

機構デバイス研究会 (EMD)

- 4月休会 5月25日(金)東北(東北文化学園大):一般
6月22日(金)東京(機械振興会館):エレンソ材料デバイスサ
マーマーケティング
7月20日(金)東京(機械振興会館):放電・EMC,及び一般
8月21日(火),22日(水)or23日(木),24日(金)東北
(東北大):光部品・電子デバイス実装技術,一般(OECC報
告) 9月休会
10月19日(金)東京(富士通):トライボロジ,及び一般
11月東京(千葉工大):国際セッションIS-EMD2012
12月21日(金)東京(機械振興会館):一般
1月18日(金)東京(日立):一般
2月15日(金)東海(住友電装):機構デバイスの信頼性,信頼
性一般
3月1日(金)東京(日本工大):ショートノート特集(卒論・
修論特集)

磁気記録・情報ストレージ研究会 (MR)

- 4月休会 5月休会
6月14日(木),15日(金)東北(東北大):記録システム+一
般
7月19日(木),20日(金)東京(茨城大):媒体+一般
8月休会 9月休会
10月18日(木),19日(金)東北(秋田県産業技術センター):
ヘッド・スピントロニクス+一般
11月16日(金)東京(早大):ハードディスクドライブ+一般
12月13日(木),14日(金)四国(愛媛大):信号処理+一般
1月24日(木),25日(金)関西(パナソニック):映像情報機
器・固体メモリ+一般
2月休会 3月8日(金)東海(名大):光記録+一般

超伝導エレクトロニクス研究会 (SCE)

- 4月20日(金)東京(機械振興会館):マイクロ波,一般
5月休会 6月休会
7月19日(木)東京(機械振興会館):信号処理基盤技術及びそ
の応用,一般 8月休会 9月休会
10月16日(火)東京(機械振興会館):超伝導エレクトロニク
ス基盤技術,一般 11月休会 12月休会
1月21日(月)東京(機械振興会館):超伝導センシング基盤技
術及びその応用,一般 2月休会 3月休会

電子ディスプレイ研究会 (EID)

- 4月休会 5月休会 6月休会
7月東京:SID報告会 7月東京:ディスプレイ一般
8月休会 9月休会
10月東京:画像技術・視覚・その他一般
11月東京:高臨場感ディスプレイフォーラム
11月東京:IMID報告会 12月休会
1月24日(木),25日(金)東海(静岡大):発光型・非発光型
ディスプレイ合同 2月休会 3月休会

電子デバイス研究会 (ED)

- 4月東北(山形大):TFT(有機,酸化物),一般
5月東海:結晶成長,評価及びデバイス(化合物,Si,SiGe,電
子・光材料) 6月休会
7月北陸:半導体プロセス・デバイス(表面,界面,信頼性),
一般 8月休会 9月休会
10月関西:電子管と真空ナノエレクトロニクス及びその評価技
術
11月関西:窒化物及び混晶半導体デバイス
12月東北(東北大):ミリ波・テラヘルツ波デバイス・システム
1月16日(水)~18日(金)東京(機械振興会館):化合物半導
体デバイス及び超高周波デバイス/一般
2月北海道(北大):機能ナノデバイス及び関連技術
3月休会

電子部品・材料研究会 (CPM)

- 4月休会
5月東海:結晶成長,評価及びデバイス(化合物,Si,SiGe,電
子・光材料)
6月22日(金)東京(機械振興会館):圧電デバイス・材料,強
誘電体材料,有機エレクトロニクス,一般(材料デバイスサ
マーマーケティング)
7月休会 8月東北(山形大):電子部品・材料,一般
8月北海道:光部品・電子デバイス実装技術,信頼性,一般
9月東京:光記録技術・電子材料,一般
10月信越:薄膜プロセス・材料,一般
11月関西:窒化物半導体,光・電子デバイス・材料及び関連技
術,一般
11月九州(九大):LSIシステムの実装・インタフェース技術及
びテスト技術
12月休会 1月休会 2月東京:電池技術関連,一般
3月休会

電磁界理論研究会 (EMT)

- 4月休会 5月中国:電磁界理論一般 6月休会
7月北海道(函館):マイクロ波フォトニクス技術,一般
8月休会 9月休会 10月休会
11月未定:電磁界理論一般 12月休会
1月関西(阪大):フォトリックNW・デバイス,フォトリック
結晶,ファイバとその応用,光集積回路,光導波路素子,光ス
イッチング,導波路解析,及び一般
2月休会 3月休会

シリコン材料・デバイス研究会 (SDM)

- 4月未定:薄膜機能デバイス・材料・評価技術及び一般
5月未定:結晶成長,評価及びデバイス(化合物,Si,SiGe,電
子・光材料)
6月未定:ゲート絶縁膜,容量膜,機能膜及びメモリ技術
7月休会
8月未定:VLSI回路,デバイス技術(高速,低電圧,低消費電
力) 9月休会
10月未定:プロセス科学と新プロセス技術
11月未定:プロセス・デバイス・回路シミュレーション及び一般
12月未定:シリコン関連材料の作製と評価
1月未定:IEDM特集(先端CMOSデバイス・プロセス技術)
2月未定:配線・実装技術と関連材料技術

2月未定：機能ナノデバイス及び関連技術
3月未定：不揮発メモリと関連技術及び一般

マイクロ波研究会 (MW)

4月19日(木), 20日(金) 東京(機械振興会館): マイクロ波超伝導及び一般
5月24日(木), 25日(金) 関西(京大): 一般
6月28日(木), 29日(金) 東海(岐阜大): マイクロ波信号発生, 計測技術及び一般
7月19日(木), 20日(金) 北海道(函館): 光・電波ワークショップ 8月休会
9月6日(木), 7日(金) 東京(KDDI研): マイクロ波ミリ波及び一般
10月18日(木), 19日(金) 東京(宇都宮大): 学生発表会
11月22日(木), 23日(金) 九州(石垣島): 一般
12月13日(木), 14日(金) 信越(山梨大): 一般
1月16日(水)~18日(金) 東京(機械振興会館): 化合物半導体IC及び超高速・超高周波デバイス, 一般
2月休会 3月7日(木), 8日(金) 中国(広島大): 一般

集積回路研究会 (ICD)

4月東北(盛岡): メモリ技術(DRAM, SRAM, フラッシュ, 新規メモリ) 5月休会 6月休会
7月東北(山形大): アナログ, アナデジ混載, RF及びセンサインタフェース回路
8月北海道(札幌): 低電圧/低消費電力技術, 新デバイス・回路とその応用 9月休会
10月未定: プロセッサ, DSP, 画像処理技術及び一般
11月: デザインガイア(実装技術)
12月未定: 若手研究会
1月未定: アーキテクチャ(プロセッサ, DSP, システムLSI, DVFS) 2月休会 3月休会

有機エレクトロニクス研究会 (OME)

4月九州: 薄膜(Si, 化合物, 有機, フレキシブル) 機能デバイス・材料・評価技術
5月東京: 作製・評価技術・一般
6月22日(金) 東京(機械振興会館): 材料デバイスサマーミーティング
7月信越: 機能性有機材料・一般 8月休会
9月関西: 有機材料・一般
10月東京: 有機デバイス・センサ, デバイス, 一般
11月東京: 光機能性有機材料・デバイス, 光非線形現象, 一般
12月東京: 有機デバイス・センサ, デバイス, 一般
1月東海: 有機材料・一般 2月休会
3月東京: ポリマー光回路

光エレクトロニクス研究会 (OPE)

4月休会
5月18日(金) 東京(機械振興会館): 光波ネットワーク・光アクセスに向けた光波デバイス, 光集積回路, 一般 (OFC報告)
6月22日(金) 東京(機械振興会館): アクティブデバイスと集積化技術, 一般「材料デバイスサマーミーティング」
7月26日(木), 27日(金) 北海道(函館): マイクロ波フォトニクス技術, 一般「光・電波ワークショップ」
8月23日(木), 24日(金) 東北(東北大): 光部品・電子デバ

イス実装技術, 信頼性, 一般, (OECC報告) 9月休会
10月25日(木), 26日(金) 九州(ホテルリメージュ(宮崎)): 超高速伝送・変復調・分散補償技術, 超高速光信号処理技術, 広帯域光増幅・WDM技術, 受光デバイス, 高光出力伝送技術, 一般 (ECOC報告)
11月16日(金) 東京(機械振興会館): 光機能性有機材料・デバイス, 光非線形現象, 一般
12月14日(金) 東京(機械振興会館): 光パッシブコンポーネント(フィルタ, コネクタ, MEMS), 光ファイバ, シリコンフォトニクス, 一般
1月24日(木), 25日(金) 関西(阪大): フォトニックNW・デバイス, フォトニック結晶, 光集積回路, 光導波路素子, 光スイッチング, 導波路解析, マイクロ波・ミリ波フォトニクス, ファイバとその応用, 一般
2月28日(木), 29日(金) 未定: 光波センシング, 光波制御・検出, 光計測, ニューロ, 光ファイバ, 一般 3月休会

レーザ・量子エレクトロニクス研究会 (LQE)

4月休会
5月25日(金) 北陸(福井大): 量子光学, 非線形光学, 超高速現象, レーザ基礎, 及び一般
6月22日(金) 東京(機械振興会館): 量子効果デバイス(光信号処理, LD, 光増幅, 変調等)と集積化技術, 及び一般
7月休会
8月23日(木), 24日(金) 東北(東北大): 光部品・電子デバイス実装・信頼性, 及び一般 (OECC報告) 9月休会
10月25日(木), 26日(金) 九州(宮崎ホテルメリーージュ): 超高速伝送・変復調・分散補償技術, 超高速光信号処理技術, 広帯域光増幅・WDM技術, 受光デバイス, 高光出力伝送技術, 及び一般 (ECOC報告)
11月未定: 窒化物半導体光・電子デバイス・材料, 及び関連技術, 及び一般
12月13日(木) 東京(機械振興会館): 半導体レーザ関連技術, 及び一般
1月24日(木), 25日(金) 関西(阪大): フォトニックNW・デバイス, フォトニック結晶・ファイバとその応用, 光集積回路, 光導波路素子, 光スイッチング, 導波路解析, マイクロ波・ミリ波フォトニクス, 及び一般
2月休会 3月休会

エレクトロニクスシミュレーション研究会 (EST)

4月休会 5月休会
6月1日(金) 東京(青学大): シミュレーション技術, 一般
7月19日(木), 20日(金) 北海道(函館): 一般
8月休会 9月休会
10月24日(木), 25日(金) 東北(仙台): 一般
11月休会 12月休会
1月関西: フォトニックNW・デバイス, フォトニック結晶, ファイバとその応用, 光集積回路, 光導波路素子, 光スイッチング, 導波路解析, 一般 2月休会 3月休会

マイクロ波・ミリ波フォトニクス研究会 (MWP)

4月東京: 未定 5月休会 6月休会
7月北海道(函館): マイクロ波フォトニクス技術, 一般
8月休会 9月休会 10月東京: THz, MWPデバイス
11月休会 12月休会

1 月関西：フォトリック NW・デバイス，フォトリック結晶・ファイバとその応用，光集積回路，光導波路素子，光スイッチング，導波路解析，一般 2 月休会 3 月休会

——情報・システムサイエティ——

ME とバイオサイバネティックス研究会 (MBE)

4 月休会 5 月北陸 (富山大)：一般
6 月北海道 (北大)：一般 7 月中国 (岡山大)：一般
8 月休会 9 月信越：一般
10 月関西 (阪電通大)：一般 11 月東北 (東北大)：一般
12 月東海：一般 1 月九州：一般 2 月休会
3 月東京 (玉川大)：一般

ライフインテリジェンスとオフィス情報システム研究会 (LOIS)

4 月休会
5 月 17 日 (木)，18 日 (金) 東京：ライフログ活用技術，グループウェアとネットワーク，一般 6 月休会
7 月 19 日 (木)，20 日 (金) 東北：ドキュメントオートメーションとオンサイトデータ活用技術，及び一般 8 月休会
9 月中国 (山口大)：マルチメディア通信，マルチメディアシステム，ライフログ活用技術，IP 放送/映像伝送，一般
10 月休会
11 月関西：情報セキュリティ，ライフログ活用技術，ライフインテリジェンス，オフィス情報システム，一般 12 月休会
1 月 17 日 (木)，18 日 (金) 九州：情報通信マネジメント，ライフログ活用技術，オフィス情報システム，一般 2 月休会
3 月 7 日 (木)，8 日 (金) 九州：ライフログ活用技術，オフィスインフォメーションシステム，ライフインテリジェンス，及び一般

画像工学研究会 (IE)

4 月東京 (成蹊大)：画像処理・符号化及び一般
5 月東海：医療画像解析及び映像の符号化と理解
6 月休会 7 月関西：画像映像処理・システム，一般
8 月休会
9 月中国 (山口大)：マルチメディア通信/システム，ライフログ活用技術，IP 放送/映像伝送，メディアセキュリティ，一般
10 月東北 (盛岡)：プロセッサ，DSP，画像処理技術及び一般
11 月九州：高精細画像処理・表示及び一般
12 月東海 (名大)：画像符号化，通信・ストリーム技術，一般
1 月休会
2 月北海道 (北大)：ITS 画像処理，映像メディア，視覚及び一般
3 月未定：未定

言語理解とコミュニケーション研究会 (NLC)

4 月休会 5 月休会
6 月東京：多次元信号処理と自然言語との境界 (仮題)
7 月休会 8 月休会
9 月東京：テキストマイニング・シンポジウム
10 月休会 11 月休会
12 月東京：音声言語シンポジウム 1 月休会
2 月未定：集合知シンポジウム 3 月休会

コンピュータシステム研究会 (CPSY)

4 月 17 日 (火) 東京 (東工大)：耐故障技術及び一般
5 月休会 6 月休会 7 月休会
8 月 2 日 (木) 中国 (とりぎん文化会館)：並列・分散・協調処理に関する夏のワークショップ (SWoPP2012)
9 月休会 10 月関西：クラスタ技術及び一般
11 月 26 日 (月) 九州 (九大)：デザインガイア 2012
12 月休会 1 月東京 (慶大)：FPGA 技術及び一般
2 月休会
3 月未定：組み込み技術とネットワークに関するワークショップ

コンピューテーション研究会 (COMP)

4 月関西 (阪府大)：一般 5 月四国 (愛媛大)：一般
6 月北海道 (北大)：一般 7 月休会 8 月休会
9 月東京 (法政大)：一般 10 月東北 (東北大)：一般
11 月休会 12 月九州 (九大)：一般 1 月休会
2 月休会 3 月東海 (岐阜大)：一般

人工知能と知識処理研究会 (AI)

4 月休会 5 月東京：Web インテリジェンス及び一般
6 月休会 7 月休会 8 月休会 9 月休会
10 月関西：言語グリッド
11 月九州：コンテキストを意識した知識の利用 12 月休会
1 月東京：Web サービス・クラウド 2 月休会
3 月北海道：社会システムと人工知能

ソフトウェアサイエンス研究会 (SS)

4 月休会 5 月四国 (愛媛大)：一般 6 月休会
7 月北海道：一般 8 月休会 9 月休会 10 月休会
11 月未定：一般 12 月休会 1 月未定：一般
2 月休会 3 月未定：一般

データ工学研究会 (DE)

4 月休会 5 月休会
6 月東京：サイバーフィジカルシステム+一般
7 月休会
8 月上旬東海 (名古屋)：アーバン・センシング+一般
9 月休会 10 月休会 11 月休会
12 月中旬関西 (大阪)：ビッグデータ，機械学習+一般
1 月休会 2 月休会 3 月休会

パターン認識・メディア理解研究会 (PRMU)

4 月休会
5 月 17 日 (木)，18 日 (金) 東海 (名工大)：医療における多次元大規模データ解析
6 月下旬東京 (早大)：自然言語とパターン認識の境界 (画像に拘らないパターン認識，自然言語との境界)
7 月休会 8 月休会
9 月上旬東京 (法政大)：コンピュータビジョンとパターン認識のための機械学習及び企業ニーズセッション
10 月東京 (幕張メッセ)：パターン認識によるインタフェースの未来 11 月休会
12 月東北 (山形大)：持続可能な社会に貢献するパターン認識
1 月関西：実時間処理，実空間センシングと環境理解
2 月東京：大規模データベースとパターン認識
3 月関西：文字・文書の認識と理解及びアルゴリズム・システム評価

ディペンダブルコンピューティング研究会 (DC)

4月東京：ディペンダブルコンピュータシステムとセキュリティ技術及び一般
5月休会 6月東京：設計／テスト／検証及び一般
7月休会
8月3日(金) 中国：並列／分散／協調とディペンダブルコンピューティング及び一般 9月休会
10月東京：ネットワーク環境でのディペンダビリティ及び一般
11月26日(月)～28日(水) 九州：VLSI の設計／検証／テスト(デザインガイア) 及び一般
12月未定：安全性及び一般 1月休会
2月東京：VLSI 設計とテスト及び一般
3月未定：組込み技術とネットワーク及び一般

ニューロコンピューティング研究会 (NC)

4月休会 5月休会
6月21日(木), 22日(金) 九州(琉球大)：機械学習によるバイオデータマイニング, 一般
7月19日(木), 20日(金) 関西(奈良先端大)：脳活動の計測と解析, 生命現象の非線形性, 一般
8月休会 9月休会
10月18日(木), 19日(金) 九州(九工大)：ニューロハードウェア, 一般
11月19日(月), 20日(火) 東北(東北大)：BCI/BMI とその周辺, 一般
12月19日(水) 東海(豊橋技科大)：ME, 一般
1月21日(月), 22日(火) 北海道(北大)：神経ダイナミクス, 一般 2月休会
3月13日(水)～15日(金) 東京(玉川大)：ME, 一般

知能ソフトウェア工学研究会 (KBSE)

4月休会 5月25日(金), 26日(土) 東京(慶大)：一般
6月休会 7月27日(金), 28日(土) 北海道：一般
8月休会 9月休会 10月休会
11月22日(木), 23日(金) 北陸(金沢大)：一般
12月休会
1月28日(月), 29日(火) 東京(機械振興会館)：一般
2月休会
3月14日(木), 15日(金) 東京(芝浦工大)：一般

音声研究会 (SP)

4月休会
5月10日(木), 11日(金) 関西：電気音響, 信号処理, 音声一般
6月21日(木), 22日(金) 東海：音声知覚生成と聴覚コミュニケーション, 一般
7月19日(木), 20日(金) 東北：認識, 理解, 対話, 一般
8月休会 9月休会
10月11日(木), 12日(金) 東京：福祉と音声処理, 一般
11月15日(木), 16日(金) 九州：合成, 生成, 韻律, 音声一般
12月20日(木), 21日(金) 東京：第14回音声言語シンポジウム
1月休会 2月7日(木), 8日(金) 東北：一般
3月7日(木), 8日(金) 東京：音声・言語・教育, 一般

教育工学研究会 (ET)

4月休会
5月26日(土) 関西(近畿大)：インタフェース技術と学習支援システム／一般
6月23日(土) 東海(名大)：教育・学習支援に対する新展開／一般
7月28日(土) 東北(東北学院大)：Web 技術と先端的学習支援／一般 8月休会
9月29日(土) 中国(岡山理科大)：ブレンディッドラーニングにおけるメディアの役割／一般
10月20日(土) 信越(信州大)：教育・学習支援プラットフォーム／一般
11月30日(金), 12月1日(土) 九州(国民宿舎虹の松原)：一般 12月休会
1月12日(土) 東京(東京農工大)：特別支援教育／障害者教育／看護教育／福祉教育／一般 2月休会
3月29日(金) 四国(愛媛大)：学習データの蓄積と利活用支援／一般

医用画像研究会 (MI)

4月休会
5月17日(木), 18日(金) 東海(名工大)：医療画像解析及び映像の符号化と理解, 一般
6月休会 7月東北(山形大)：イメージング関連, 一般
8月休会 9月東京(東大)：手術映像関連, 一般
10月休会 11月中国(山口大)：未定 12月休会
1月九州(那覇てんぶす館)：未定 2月休会 3月休会

ソフトウェアインタプライズモデリング研究会 (SWIM)

4月休会
5月26日(土) 東京(機械振興会館)：環境の劇的変化に対応するビジネスモデリング(広域災害, 経済環境等)
6月休会 7月休会
8月23日(木) 東京(機械振興会館)：スマートデバイスによるビジネスイノベーション 9月休会 10月休会
11月30日(金) 東京(東海大高輪)：ビジネスシステムの要求定義とモデリング 12月休会 1月休会
2月20日(水) 東京(機械振興会館)：安心・安全なクラウドサービス 3月休会

リコンフィギャラブルシステム研究会 (RECONF)

4月休会
5月29日(火), 30日(水) 九州(沖縄)：リコンフィギャラブルシステム, 一般
6月休会 7月休会 8月休会
9月未定：リコンフィギャラブルシステム, 一般 10月休会
11月九州(九大)：デザインガイア 2011—VLSI 設計の新しい大地—
12月休会 1月東京(慶大)：FPGA 応用及び一般
2月休会 3月休会

情報通信システムセキュリティ研究会 (ICSS)

4月休会 5月休会
6月7日(木), 8日(金) 東京(機械振興会館)：ネットワークセキュリティ
7月未定：一般 8月休会 9月休会 10月休会

11月中国(広島大):一般 12月休会 1月休会
2月休会 3月東京(横浜国大):一般

情報論的学習理論と機械学習研究会 (IBISML)

4月休会 5月休会 6月未定:機械学習一般
7月休会 8月休会
9月未定:学習とパターン認識・メディア信号処理
10月休会
11月未定:機械学習一般(情報論的学習理論ワークショップ
(IBIS2012))
12月休会 1月休会 2月休会
3月未定:データマイニング

マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究会(EMM)

4月休会 5月休会 6月休会 7月未定:一般
8月休会
9月中国(山口大):マルチメディア通信, マルチメディアシス
テム, ライフログ活用技術, IP放送/映像伝送, 一般
10月東京(幕張):未定
11月未定:異種メディア融合, コンテンツ処理, メディア検索,
電子透かし, 一般 12月休会
1月東北(東北大):臨場感生成, ユニバーサルメディア, デイ
ジタルエンタテインメント, 一般 2月休会
3月関西:画質・音質評価, 知覚・認知メトリクス, 人間視聴覚
システム, 一般

クラウドネットワークロボット研究会 (CNR)

4月休会 5月休会 6月東京(慶大):人口ロボット共生
7月休会 8月休会
9月九州(OIST):環境知能とネットワークロボット
10月休会 11月休会
12月東京(つくば):災害対応クラウドネットワークロボット
1月休会
2月東京:ネットワークロボットとサービスコンテンツ流通
3月休会

サービスコンピューティング研究会 (SC)

4月休会 5月東京(NII):サービス・クラウド運用・管理
6月休会
7月東京(NII):サービス・クラウドにおけるAI応用及び一般
8月休会 9月休会 10月休会
11月関西(京大):モバイル・実世界・CPS及び一般
12月休会 1月休会 2月休会
3月東京(NII):QoS・SLA・ポリシー及び一般

——ヒューマンコミュニケーショングループ——

ヒューマンコミュニケーション基礎研究会 (HCS)

4月休会
5月23日(水), 24日(木)九州(沖縄産業支援センター):コ
ミュニケーション支援及び一般
6月休会 7月休会
8月下旬未定:言語・非言語コミュニケーション及び一般
9月休会
10月13日(土), 14日(日)東京(東京電機大):顔とコミュニ

ケーション及び一般

11月休会 12月休会

1月下旬未定:コミュニケーションの心理及び一般
2月休会 3月上旬東海(浜松):HCSワークショップ

ヒューマン情報処理研究会 (HIP)

4月休会
5月九州(沖縄産業支援センター):コミュニケーション支援
6月休会
7月北海道:実・バーチャル空間の知覚・認知, 一般
8月休会 9月休会 10月休会
11月東北(東北大):マルチモーダル, 感性情報処理, 視知覚と
その応用, 一般
12月東北(山形大):特徴抽出系 1月休会
2月未定:未定 3月休会

マルチメディア・仮想環境基礎研究会 (MVE)

4月休会
5月14日(月), 15日(火)東京(東工大):未定
6月26日(火), 27日(水)東京(東大):人工現実感
7月休会 8月休会 9月休会
10月北海道(根室):複合現実感, 仮想都市 11月休会
12月休会 1月未定:未定 2月休会
3月未定:未定

福祉情報工学研究会 (WIT)

4月休会 5月信越(新潟大):視覚障害者支援及び一般
6月休会 7月休会
8月九州(九工大):聴覚障害者支援及び一般 9月休会
10月東京:福祉情報工学と音声 11月休会 12月休会
1月東海(名工大):福祉情報工学一般 2月休会
3月未定:一般

——ワイドバンドシステム小特集号

(英文論文誌 A) 論文募集——

ワイドバンドシステム小特集編集委員会

基礎・境界サイエティ英文論文誌では、平成 25 年 1 月号に、ワイドバンドシステム小特集号を企画致しました。

情報通信におけるワイドバンドシステム全般に関する論文を広く募集致します。募集テーマは下記のとおりですが、特にその分野を特定するものではありませんので、多数の御投稿をお待ちしております。

1. 対象分野

- ・ワイドバンドシステム一般

グリーン通信、高速電力線伝送システム・モデリング、高速 xDSL 通信、ITS、スペクトル拡散技術、マルチキャリア技術、OFDM 技術、ウルトラワイドバンド (UWB) 技術、カオス通信、光通信、可視光通信、ソフトウェア無線技術、デジタル TV 技術、無線 LAN 技術など

- ・ワイドバンドシステムのための通信方式・信号処理

変復調方式、同期捕捉、同期追尾、符号、送受信装置、多重アクセス技術 (CDMA, SDMA, TDMA, FDMA, またその複合技術)、信号処理技術、モデリング、測距技術、MIMO 技術など

- ・ワイドバンドシステムのためのデバイス・モジュール・装置

同期回路、低消費電力化技術、モデム、アンテナ、アンプ (PA, LNA など)、LSI 設計・試作、高速動作技術など

2. 論文の執筆と取扱い、投稿方法

投稿は電子投稿でのみ受け付けます。登録と投稿は https://review.ieice.org/regist_e.aspx で行えます。論文は刷り上がり 8 ページ、レターは 2 ページ以内を原則とします。学会ホームページの “Information for Authors” に記載された様式で原稿の準備をお願いします。また、“Copyright Transfer and Page Charge Agreement” と “Confirmation Sheet of Manuscript Registration” を論文投稿締切日までに下記送付先 (編集幹事) まで郵送して下さい。その他の詳細は <http://www.ieice.org/eng/shiori/index.html> で閲覧できます。査読後の再提出期間 (通常 60 日) を短縮する場合がございますので、あらかじめ御了承下さい。採録された全ての論文・レターに関して、掲載別刷代を請求致します。掲載別刷代は、<http://www.ieice.org/eng/shiori/appb.html> にて閲覧できます。

3. WBS 学生奨励賞

採録された論文の中から優れた内容のものには WBS 研究専門委員会から WBS 学生奨励賞を贈呈致します。受賞論文の対象は、第一著者が学生であるものに限りです。

4. 論文投稿締切日 平成 24 年 3 月 16 日 (金) 必着

5. 小特集編集委員会

編集委員長：伊丹 誠 (東京理科大)

幹事：滝沢賢一 (NICT)、小野文枝 (横浜国大)

編集委員：井家上哲史 (明大)、岩切直彦 (東大)、大内浩司 (静岡大)、落合秀樹 (横浜国大)、片山正昭 (名大)、亀田 卓 (東北大)、佐藤慎一 (モバイルテクノ)、齋藤将人 (琉球大)、眞田幸俊 (慶大)、清水昌彦 (富士通研)、庄納 崇 (インテル)、高橋

賢 (広島市大)、羽渕裕真 (茨城大)、浜村昌則 (高知工大)、前原文明 (早大)、宮嶋照行 (茨城大)、村田英一 (京大)、森 香津夫 (三重大)

6. 問合せ先及び送付先

WBS 研究専門委員会 幹事 小野文枝

横浜国立大学大学院工学研究院

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5

TEL [045] 339-4148, FAX [045] 338-1157

E-mail : fumie@ynu.ac.jp

Web サイト : <http://www.ieice.org/~wbs/>

7. 付記

本小特集号に論文を投稿する場合、著者のうち少なくとも 1 名は電子情報通信学会の会員である必要があります。また、全ての著者が会員であることを推奨致します。入会につきましては下記 URL を参照下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>

——暗号と情報セキュリティ小特集号

(英文論文誌 A) 論文募集——

暗号と情報セキュリティ小特集編集委員会

基礎・境界サイエティでは、英文論文誌 IEICE Transactions on Fundamentals において、「暗号と情報セキュリティ小特集」(Special Section on Cryptography and Information Security) を平成 25 年 1 月号に掲載する予定で企画しています。

本小特集では、このテーマに関する英文論文を一般に広く募集します。特に、平成 24 年 1 月下旬に本学会情報セキュリティ研究専門委員会が主催する「2012 年暗号と情報セキュリティシンポジウム (SCIS2012)」での発表論文の積極的な御投稿をお願いします。なお、同名同目的の小特集は、平成 2 年 7 月号、平成 3 年 8 月号、平成 5 年から平成 24 年の各年 1 月号に掲載実績があります。

1. 対象分野

暗号及び情報セキュリティに関する分野、特に新しく発展しつつある研究分野。

2. 論文の投稿規程及びフォーマット

論文の投稿規程は、電子情報通信学会の Web サイト「The Information for Authors」(http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_ess.html) を御参照下さい。フォーマットは同 Web サイトの 3 章「Manuscript Style Specifications」を御参照下さい。なお、刷り上がりのページ数は、本論文の場合 8 ページ、レターの場合 2 ページを基準とします。

また、<http://www.ieice.org/eng/ads.html> にあります二重投稿に関するポリシーを注意深くお読み下さい。

3. 論文の投稿

Web による投稿のみ受け付けます。下記の投稿手順に従って下さい。

手順 1 : 電子情報通信学会 Web サイト https://review.ieice.org/regist_e.aspx を使って投稿して下さい。Type of issue (section)/Category of Transactions では [Special-EA] Cryptography and Information Security を選択して下さい。[Regular-EA] Fundamentals は選択しないで下さい。

手順 2 : “Copyright Transfer and Page Charge Agreement” と “Confirmation Sheet of Manuscript” を下記へ送付して

下さい。送付方法は、郵送、FAX、スキャンしPDF化したもののメール添付、のいずれの手段でも構いません。これらの書類がないと査読が開始されません。

4. 論文投稿締切日 平成24年3月23日(金) 必着

“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”と“Confirmation Sheet of Manuscript”がこの期日までに下記送付先(河内)に届くようにして下さい。

5. 採否判定通知

著者には平成24年8月中旬頃までに採否判定結果を通知します。なお、論文採録の場合には、掲載別刷代をお支払い頂きます。

6. 送付先及び問合せ先

河内亮周

東京工業大学大学院情報理工学研究科数理・計算科学専攻

〒152-8552 目黒区大岡山2-12-1

TEL [03] 5734-3868, FAX [03] 5734-3204

E-mail : kawachi@is.titech.ac.jp

※問合せはなるべく電子メールにてお願いします。

7. 小特集編集委員会

委員長 松本 勉(横浜国大)

委員 浅野智之(ソニー), 岩田 哲(名大), 岡田光司(東芝ソリューション), 岡本 健(筑波技大), 桶屋勝幸(ルネサスエレクトロニクス), 金岡 晃(筑波大), 菊池浩明(東海大), 清本晋作(KDDI研), 國廣 昇(東大), 桑門秀典(神戸大), 駒野雄一(東芝), 境隆一(阪電通大), 崎山一男(電通大), 佐々木 悠(NTT), 時田俊雄(三菱電機), 中西 透(岡山大), 花岡悟一郎(産総研), 廣瀬勝一(福井大), 本間尚文(東北大), 松尾和人(情報セキュリティ大), 松尾真一郎(NICT), 松崎なつめ(パナソニック), 宮地充子(北陸先端大), 安永憲司(九州先端研), 吉田真紀(阪大)

幹事 河内亮周(東工大), 寺西 勇(NEC)

——システム数理学と応用小特集号

(英文論文誌 A) 論文募集——

システム数理学と応用小特集編集委員会

システム数理学は、数理モデルに基づいた設計、解析、検証、制御のための方法論を研究する分野であり、サイバーフィジカルシステム、人間-機械システム、オープンシステムサイエンス、システムバイオロジーなど、最近注目されている様々なシステムに応用することができます。

そこで、システム数理学とその応用に関して、最新の成果や将来の課題を展望することを目的として、小特集号(平成25年2月号)を企画しました。皆様の積極的な御投稿をお願いします。

1. 対象分野

システム数理学の基礎理論、それに基づいた解析、設計、検証、制御のための方法論、各種応用事例に関する研究成果を期待します。

- (1) システム理論(ペトリネット, コンカレントシステム, 離散事象システム, ハイブリッドシステム)
- (2) システム設計・検証(モデル検査, 証明系, スケジューリング, スーパーバイザ制御)

- (3) サイバーフィジカルシステム(組込みシステム, リアルタイムシステム)
- (4) ヒューマンファクタの数理(人間行動の解析とモデル化, ビジネスプロセス, サービスサイエンス)
- (5) 新しい数理的手法(オープンシステムサイエンス, システムバイオロジー)
- (6) システム数理的手法の応用・ケーススタディ(マルチカーエレベータ, 生産システム, 交通システム, 企業情報システム)

2. 論文の執筆と取扱い

・通常の英文論文と同一とし、原則として、論文は刷り上がり8ページ以内、レターは2ページ以内とします。詳細は、「投稿のしおり」http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_ess.htmlを御参照下さい。

・投稿は電子投稿でのみ受け付けます。登録と投稿はhttps://review.ieice.org/regist_e.aspxで行えます。なお、登録の際、“Type of Issue (Section)/Category of Transactions”については “[Special-EA] Mathematical Systems Science and its Applications” を選択して下さい。“[Regular-EA]” を選択しないよう御注意願います。また、“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”と“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”を論文投稿締切日までに下記送付先(ゲストエディタ)まで、電子メール、FAX、郵送のいずれかの手段で送付して下さい。郵送の場合封筒には「システム数理学と応用小特集号」と朱書して下さい。

・本小特集号に論文を投稿する場合、著者のうち少なくとも1名は本会の会員である必要があります。ただし、招待論文に関してはこの限りではありません。また、全ての著者が会員であることを推奨致します。入会につきましては下記 URL を参照下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>

査読後の再提出(条件付採録)の期間が通常の60日以内よりも短縮する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。採録論文数が多くなった場合には、一部次号に掲載される可能性があります。なお、論文採録の場合は掲載別刷代が必要となります。

3. 論文投稿締切日 平成24年3月31日(土) 必着

4. 送付先・問合せ先

名嘉村盛和 琉球大学工学部情報工学科

〒560-8531 沖縄県中頭郡西原町千原1番地

TEL [098] 895-8715, FAX [098] 895-8727

E-mail : morikazu@ie.u-ryukyuu.ac.jp

5. 小特集編集委員会

ゲストエディタ: 名嘉村盛和(琉球大)

編集委員: 磯部祥尚(産総研), 太田 淳(愛知県立大), 北村聖一(三菱電機), 田岡智志(広島大), 土屋達弘(阪大), 宮本俊幸(阪大), 山口真悟(山口大), 山崎達志(摂南大), 山根 智(金沢大)

—無線通信のための符号化及び 符号理論に基づく信号処理小特集号

(英文論文誌 B) 論文募集—

無線通信のための符号化及び 符号理論に基づく信号処理小特集編集委員会

近年、無線通信の更なるスループット及び信頼度向上を目指して、より高性能な通信路符号化・ネットワーク符号等の符号化技術や符号理論に基づく信号処理が盛んに検討されています。具体的には、高性能な誤り訂正符号や、誤り訂正符号とネットワーク符号の統合、ターボ等化などが挙げられます。これらは、今後の無線通信技術の核となることが期待されています。そこで、この分野の最新技術を広く内外から集め、今後の研究開発を促進する目的で本小特集号(平成24年12月号掲載)を企画致します。

1. 対象分野

無線通信のための符号化及び符号理論に基づく信号処理に関する以下の分野を対象とします。

- ・通信路符号
- ・ネットワーク符号
- ・重畳符号
- ・分散符号
- ・時空間符号
- ・符号理論に基づく信号処理

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は、原則として、論文の場合は刷り上がり8ページ、レターの場合は刷り上がり2ページを標準とします。初期投稿時のレターの最大ページ数は4ページです。標準ページ数を超えると、掲載別刷代が急に高くなりますので御注意下さい。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_cs.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間(通常は60日)を短縮する場合があります。

3. 投稿方法

Webによる電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順1: https://review.ieice.org/regist_e.aspx から登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体(TeX/Word)、図、著者の写真、biographyも投稿する必要があります。なお登録時には必ず“Type of Issue (Section)/Category of Transactions”で [Special-EB] Coding and Coding Theory-Based Signal Processing for Wireless Communications を選択して下さい。[Regular-EB] を決して選択しないで下さい。

手順2: 登録時に生成される“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”と“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”を、論文投稿締切日までに下記送付先へ電子メール添付、FAX、郵送のいずれかの方法でお送り下さい。これらの書類が期日までに届かない場合、投稿が取下げになることがあります。

4. 論文投稿締切日 平成24年4月13日(金) 必着

5. 投稿書類送付先及び問合せ先

山里敬也

名古屋大学教養教育院教養教育推進室教材開発部門

〒464-8603 名古屋市千種区不老町 C3-1 (631)

TEL [052] 747-6596, FAX [052] 789-3173

E-mail: rcs_ac-ss@mail.ieice.org

論文特集号原稿募集

6. 小特集編集委員会

委員長: 大槻知明(慶大)

幹事: 山里敬也(名大), 岡本英二(名工大)

委員: 石井光治(香川大), 井田一郎(富士通研), 衣斐信介(阪大), 岡田 啓(名大), 奥村幸彦(NTTドコモ), 小西 聡(KDDI研), 須山 聡(東工大), 平明徳(三菱電機), 西村寿彦(北大), 林 和則(京大), 村田英一(京大)

7. 付記

* 締切日を厳守して下さい。

* 招待論文を含む全ての採録論文については掲載別刷代(別刷50部含む)が必要となります。

* 投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。 <http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html>

—ネットワーク社会の更なる発展を支える 光通信技術論文特集号

(和文論文誌 B) 論文募集—

ネットワーク社会の更なる発展を支える 光通信技術特集編集委員会

光通信技術の進歩は、コアネットワークシステムからアクセスシステムに至る通信ネットワーク全体の劇的な高速化を実現し、社会インフラとしてのブロードバンドサービスの全国的な普及を支えています。更にこれをベースとして、クラウドコンピューティングの進展やスマートフォンに代表される移動体端末の進化が推し進められ、より高度なサービスが実現されつつあります。光通信技術は、このようなクラウド時代の新たなブロードバンドサービスを支え続け、また、急増する移動体トラフィックのオフロードに対応するために、更に発展してゆくものと期待されています。これらを支える新たな技術として、デジタルコヒーレント伝送技術、光信号処理や光バケット・バースト技術、光多重アクセス技術、光ネットワーク制御技術、光通信用誤り訂正技術、新光ファイバ技術など、様々な技術の研究開発が進められています。そこで本特集号(2013年3月号)では、ネットワーク社会の更なる発展を支える、コアネットワーク分野及びアクセスネットワーク分野の新たな光通信技術に関して、幅広く論文を募集することとします。積極的な御投稿をお待ちしております。

1. 対象分野

光通信方式、光変復調・符号化方式、光通信機器、光ファイバ伝送路、光デバイスのシステム応用、光通信網・規格、光アクセスネットワーク、光無線融合技術、その他、光通信方式・光アクセス方式の関連分野

2. 論文の執筆と取扱い

通常的一般論文と同一とし、論文は原則として刷り上がり8ページ以内とします。詳細は和文論文誌投稿のしおり http://www.ieice.org/jpn/shiori/cs_mokuji.html を御参照下さい。査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 投稿方法

(A) 電子投稿

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に到着するように送付して下さい。

【注意】

登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送による投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール (Notification of completion for Temporary Registration) が送信されますので、メール内に記載の URL から「仮登録情報の修正/削除、電子投稿 (原稿のアップロード) 画面」にアクセスして下さい。表示される画面から原稿のアップロードができますので、必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。

(B) 郵送

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト、著作権譲渡書、投稿原稿、編集用データを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

送付先:

電子情報通信学会出版事業部ソサイエティ誌出版課
〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館
郵送時、封筒に「光通信技術特集」と朱記して下さい。
FAX [03] 3433-6616 E-mail: wabun-b@ieice.org

4. 主なスケジュール

投稿締切: 2012年6月11日 (月) 厳守
最終判定予定: 2012年11月中旬
発行月: 2013年3月号

5. 特集編集委員会

編集委員長 上田裕巳 (東京工科大)
編集幹事 可児淳一 (NTT), 宮田英之 (富士通研)
編集委員 池田博樹 (日立), 植之原裕行 (東工大), 大越春喜 (古河電工), 太田昌孝 (東工大), 神尾享秀 (NICT), 小泉佑揮 (阪大), 小崎成治 (三菱電機), 齊藤晋聖 (北大), 島田達也 (NTT), 外林秀之 (青学大), 坪井利憲 (東京工科大), 廣岡俊彦 (東北大), 丸田章博 (阪大)

6. 問合せ先

可児淳一 (NTT アクセスサービスシステム研究所)
〒239-0847 横須賀市光の丘 1-1, Y707C
TEL [046] 859-2196, E-mail: kani.junichi@lab.ntt.co.jp
宮田英之 (富士通研究所ネットワークシステム研究所)
〒211-8588 川崎市中原区上小田中 4-1-1, 研 S207
TEL [044] 754-2636, E-mail: hmiyata@jp.fujitsu.com

——マイクロ波論文 (大学発) 特集号

(和文論文誌 C) 論文募集——

マイクロ波論文 (大学発) 特集編集委員会

近年の携帯電話に代表されるワイヤレス情報通信機器の飛躍的普及に伴い、マイクロ波・ミリ波帯におけるデバイス、回路、システム等の技術は急速に進歩し続けております。また将来に向けてより高度な技術が求められております。こうした要求に対して、大学等の教育研究機関による基礎的研究、産業界との共同研究の推進は、技術的貢献のみならず若手技術者の育成などの面でも、この分野の発展に大きく寄与することはいまでもありませ

ん。そこで、和文論文誌 C 分冊では、大学をはじめとする教育機関が主体となって行われた研究、開発成果を集約した「マイクロ波論文 (大学発) 特集号」(平成 24 年 12 月号) の発行を企画致しました。本特集号の目的は、教育機関でのマイクロ波・ミリ波技術の基礎研究から応用研究にわたる優れた研究成果を発掘し、それらの成果を、産業界をはじめとする幅広い分野の方々に紹介することとしております。対象分野は、各種回路、アンテナ、通信システム、シミュレーション技術、測定評価技術などマイクロ波・ミリ波技術全般としておりますので、教育機関の皆様からの積極的な御投稿を期待しております。

1. 対象分野

マイクロ波・ミリ波技術全般が対象で、トピックスを以下に示しますが、これらに限定するものではありません。

- ・能動回路・受動回路・アンテナ
- ・通信システム
- ・測定評価技術
- ・シミュレーション技術
- ・マイクロ波・ミリ波応用

2. 論文の執筆と取扱い

通常の和文論文誌と同様とし、論文は刷り上がりページ数 8 ページ程度、ショートノートは 2 ページ程度とします。執筆の詳細は「和文論文誌 C 投稿のしおり」(http://www.ieice.org/jpn/shiori/es_mokuji.html) を御参照下さい。なお、査読後の再提出期間 (通常は 60 日) を短縮する必要があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 論文投稿締切日 平成 24 年 3 月 30 日 (金) 必着

4. 投稿方法

投稿は原則、電子投稿とします。https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に電子メール添付、FAX、郵送のいずれかの方法で送付して下さい。

【注意】登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送による投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール (Notification of completion for Temporary Registration) が送付されます。メール内に記載の URL にアクセスし、「電子投稿 (ファイルアップロード)」から必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。

送付先: 電子情報通信学会出版事業部ソサイエティ誌出版課
〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内
FAX [03] 3433-6616
E-mail: wabun-c@ieice.org

5. 問合せ先

川上憲司 三菱電機株式会社情報技術総合研究所光・マイクロ波回路技術部
〒247-8501 鎌倉市大船 5-1-1
TEL [0467] 41-2549
E-mail: Kawakami.Kenji@dc.mitsubishielectric.co.jp

6. 特集編集委員会

委員長 高木 直 (東北大)
幹事 川上憲司 (三菱電機)
編集委員 石崎俊雄 (龍谷大), 伊東健治 (金沢工大), 小野直子 (STARC), 加屋野博幸 (東芝), 河合 正 (兵庫県立大), 佐藤 圭 (NTT ドコモ), 沢田浩和 (東北大), 平塚敏朗 (村田製作所), 山口 陽 (NTT)

——理論計算機科学～アルゴリズムと 計算理論の新展開～小特集号

(英文論文誌 D) 論文募集——
理論計算機科学小特集編集委員会

本会は、情報・システムサイエティの英文論文誌 IEICE Transactions on Information and Systems の 2013 年 3 月号において、小特集号「理論計算機科学～アルゴリズムと計算理論の新展開～(Special Section on Foundations of Computer Science—New Trends in Algorithms and Theory of Computation—)」を掲載致します。本小特集は、2003 年まで発行されて参りました LA シンポジウム小特集の後継にあたり、理論計算機科学の最新研究の御発表の場として、読者の方、研究者の方より御好評を頂くうち 10 回目を迎えるものです。今回の小特集でも、下記分野・関連する新しい分野のオリジナル論文を募集致しますので、奮って御投稿下さい。

1. 対象分野

- ・計算の理論とモデル
チューリング機械、帰納的関数、書換え系、並列・分散計算、量子計算、分子計算等
- ・オートマトンと形式言語理論
様々な文法モデル、セルオートマトン、言語・記号処理への応用、符号理論、計算学習理論等
- ・アルゴリズムとデータ構造
グラフアルゴリズム、組合せ・最適化アルゴリズム、計算幾何、確率・近似・並列・分散等の各種アルゴリズム
- ・計算の複雑さの理論
アルゴリズムの計算量、計算可能性、回路計算量、通信計算量等

上記以外でも、理論計算機科学の研究分野に寄与するものであれば広く歓迎します。

2. 論文投稿要領

- ・御投稿にあたっては、“The Information for Authors” (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html) を御一読の上、できるだけ本会の論文スタイル (<http://www.ieice.org/ftp/index-e.html>) にて原稿を御準備頂きますようお願い致します。標準的な原稿ページ数は、ペーパーで 8 ページ、レターで 2 ページとなります。
- ・投稿原稿の御提出は、本会の Web サイト (https://review.ieice.org/regist_e.aspx) を通じてお願いします。電子メールや郵便での御投稿は受け付けできません。御投稿の際は、投稿フォームの“Type of Issue (Section)/Transactions”の項目にて、“[Special-ED] Foundations of Computer Science”をお選び下さい。
- ・原稿御提出後一週間以内に、“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”と“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”を下記、編集委員長まで、電子メール添付、FAX、郵送、のいずれかの方法でお送り下さい。

堀山貴史 埼玉大学大学院理工学研究科
〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255
TEL & FAX [048] 858-3957
E-mail: horiyama@al.ics.saitama-u.ac.jp

- ・原稿提出の締切は 2012 年 3 月 28 日(水)です。

3. その他注意事項

- ・論文が採録となった場合、掲載別刷代(論文別刷代金を含

む)をお支払い頂くことになります。

- ・条件付採録の場合の改訂原稿再提出までの期限は、通常の 60 日より短縮される場合があります。
- ・投稿に際し、著者のうち少なくとも 1 名は、本会会員でなければなりません。投稿資格を満たさない著者からの御投稿は受け付けません。入会の案内は (<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>) を御覧下さい。

4. 小特集編集委員会

編集委員長(ゲストエディタ): 堀山貴史(埼玉大)

編集委員: 荒木 徹(群馬大), 泉 泰介(名工大), 上原隆平(北陸先端大), 宇野裕之(阪府大), 小野廣隆(九大), 河内亮周(東工大), 日下卓也(岡山大), 酒井正彦(名大), 定兼邦彦(NII), 瀧本英二(九大), 谷 聖一(日大), 玉置 卓(京大), 中村篤祥(北大), 西村治道(阪府大), 藤田 聡(広島大), 溝口佳寛(九大), 宮崎修一(京大), 山崎浩一(群馬大)

お問合せ等は編集委員長まで、可能な限り電子メールにてお願い致します。(件名に「IEICE (FCS2013)」とお書き下さい。)

——学生論文特集号(和文論文誌 D) 論文募集——

学生論文特集編集委員会

和文論文誌 D 編集委員会では、情熱と進取の気概にあふれる若手研究者を育成するために、学生論文の特集号(2013 年 3 月号)を企画致しました。情報通信技術の発展は、多様な研究に支えられており、学生は日々高度化する技術を体系的に学ぶと同時に、若き研究者として研究の最先端を担っています。学生の研究成果が広く論文として刊行されることは、情報通信分野の学術活性化にとって極めて重要です。本特集号を通して、次世代を担う若手研究者による研究の広がりを世の中に示すことはもちろん、若手研究者同士の分野横断的な新しい研究交流、そして研究活性化の契機となることを期待しています。更に、論文の執筆・修正を通じて、若手研究者の方々が、問題の本質を捉え、自らのアイデアを整理・検証し、その核心を必要十分に説明する能力を涵養されることを望んでいます。是非この機会に研究成果を取りまとめ、投稿して頂くようお願い致します。通常の論文と同じ査読基準で論文を評価しますが、査読・編集を通じて、筆頭著者が学生であることを踏まえたコメントを返すように心掛けております。著者におかれましては、指導教員と十分議論し論文の完成度を高めて、投稿して頂くようお願い致します。なお、特に秀でた論文については、「学生論文特集号秀逸論文(仮称)」などとして掲載することを予定しています。

1. 対象分野

情報・システム分野全般:

情報・システム基礎、計算機システム、ディペンダブルコンピューティング、ソフトウェアシステム、ソフトウェア工学、情報ネットワーク、データ工学・Web 情報システム、人工知能・データマイニング、ヒューマンコンピュータインタラクション、オフィスインフォメーションシステム、教育工学、福祉工学、生体工学、バイオサイバネティクス、ニューロコンピューティング、パターン認識、画像・映像処理、画像認識、コンピュータビジョン、コンピュータグラフィックス、マルチメディア処理、音声、聴覚、音楽情報処理、自然言語処理、感性情報処理

2. 対象論文

学生が筆頭著者である論文に限定します。ただし、学生とは投稿時点若しくは2012年3月末時点で学生（社会人学生を含む）であることを指します。

3. 論文の執筆と取扱い

論文の執筆要領、査読基準は通常の投稿論文と同一です。システム開発論文も受け付けますが、レターは除きます。「投稿のしおり」は下記 URL で閲覧できます。

http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss_mokuji.html

4. 論文投稿方法

(A) 電子投稿

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイルと編集用電子ファイルを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に送付して下さい。

【注意】 登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送による投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール（Notification registration completion）が送信されます。メール内に記載の URL にアクセスし、「電子投稿（ファイルアップロード）」から必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。

(B) 郵送

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト、著作権譲渡書、投稿原稿、編集用電子ファイルを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

送付先

〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館

(社)電子情報通信学会出版事業部サイエティ誌出版課

FAX [03] 3433-6616 E-mail: wabun-d1@ieice.org

※郵送の際は、封筒に「学生論文特集号」を朱記して下さい。

5. 論文投稿締切日 2012年6月3日（日）23：59 厳守

（6月4日0時0分に受付がクローズします）

6. 問合せ先

(社)電子情報通信学会 和文論文誌 D 担当

TEL [03] 3433-6692 E-mail: wabun-d1@ieice.org

7. 特集編集委員会

委員長 杉本晃宏 (NII)

幹事 井上美智子 (奈良先端大), 山口 修 (東芝), 和田親宗 (九工大)

委員 和文論文誌 D 編集委員 (2012年度)

複写される方へ

(社)電子情報通信学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。本誌に掲載された著作物の複写を御希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい。ただし、企業等法人による社内利用目的の複写については、当該企業等法人が社団法人日本複写権センター（(社)学術著作権協会が社内利用目的の複写に関する権利を再委託している団体）と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はございません。（社外頒布目的の複写については、許諾が必要です。）

<権利委託先> 一般社団法人学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル 3F FAX [03] 3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾（著作物の引用、転載、翻訳等）に関しては、(社)学術著作権協会に委託致しておりません。直接、下記へお問い合わせ下さい。

<問合せ先> (社)電子情報通信学会

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内 TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659

Reprographic Reproduction outside Japan

Making a copy of this publication

Please obtain permission from the following Reproduction Rights Organizations (RROs) to which the copyright holder has consigned the management of the copyright regarding reprographic reproduction.

Obtaining permission to quote, reproduce; translate, etc.

Please contact the copyright holder directly.

→Users in countries and regions where there is a local RRO under bilateral contract with Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Users in countries and regions of which RROs are listed on the following website are requested to contact the respective RROs directly to obtain permission.

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Address 9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

Website <http://www.jaacc.jp/> E-mail: info@jaacc.jp Fax: +81-33475-5619

論文特集号論文募集カレンダー

◎基礎・境界ソサイエティ

| 特集テーマ | 投稿締切日 / 分冊・発行月 | 問合せ先 | 募集案内掲載号 | |
|---|-----------------------------------|--|---------|---------------------------------|
| | | | 会告 | 論文誌 |
| 信号設計とその通信への応用小特集 | ・24年1月16日(月) ・英文誌 A 24年11月号 | 戒田高康：近畿大学産業理工学部情報学科 TEL [0948] 22-5655, FAX [0948] 23-0536 E-mail : kaida@fuk.kindai.ac.jp | 9月号 | A分冊 9～11月号 EA分冊 9～11月号 |
| 信号処理の実用的な応用と実現技術小特集 | ・24年1月20日(金) ・英文誌 A 24年10月号 | 大谷 猛：(株)富士通研究所スピーチ&ランゲージテクノロジー研究部 TEL [044] 754-2639 E-mail : otani.takeshi@jp.fujitsu.com | 11月号 | A分冊 11～1月号 EA分冊 11～1月号 |
| 情報理論とその応用小特集 | ・24年2月10日(金) ・英文誌 A 24年12月号 | 岩田賢一：福井大学大学院工学研究科情報・メディア工学専攻 TEL [0776] 27-8419, FAX [0776] 27-8751 E-mail : k-iwata@u-fukui.ac.jp | 11月号 | A分冊 11～1月号 EA分冊 11～1月号 |
| スマート通信・マルチメディアシステム小特集 | ・24年1月23日(月) ・英文誌 A 24年11月号 | 笹岡直人：鳥取大学大学院工学研究科情報エレクトロニクス専攻 TEL [0857] 31-5493, FAX [0857] 31-5493 E-mail : sasaoka@ele.tottori-u.ac.jp | 12月号 | A分冊 12～2月号 EA分冊 12～2月号 |
| Special Section on Bifurcations Nonlinear Theory and Its Applications | ・24年2月29日(水) ・NOLTA 24年10月号 | Hiroyuki Torikai : Department of Systems Innovation, Graduate School of Engineering Science, Osaka University FAX [06] 6850-6388 E-mail : torikai@sys.es.osaka-u.ac.jp | 12月号 | A分冊 12～2月号 EA分冊 12～2月号 |
| VLSI 設計と CAD アルゴリズム小特集 | ・24年3月15日(木) ・英文誌 A 24年12月号 | 廣瀬哲也：神戸大学大学院工学研究科電気電子工学専攻 TEL [078] 803-6075, FAX [078] 803-6075 E-mail : hirose@eedept.kobe-u.ac.jp | 12月号 | A分冊 12～2月号 EA分冊 12～2月号 |
| ワイドバンドシステム小特集 | ・24年3月16日(金) ・英文誌 A 24年12月号 | 小野文枝：横浜国立大学大学院工学研究院 TEL [045] 339-4148, FAX [045] 338-1157 E-mail : fumie@ynu.ac.jp | 1月号 | A分冊 1～3月号 EA分冊 1～3月号 |
| 暗号と情報セキュリティ小特集 | ・24年3月23日(金) ・英文誌 A 25年1月号 | 河内亮周：東京工業大学大学院情報理工学研究科数理・計算科学専攻 TEL [03] 5734-3868, FAX [03] 5734-3204 E-mail : kawachi@is.titech.ac.jp | 1月号 | A分冊 1～3月号 EA分冊 1～3月号 |
| システム数理学と応用小特集 | ・24年3月31日(木) ・英文誌 A 25年2月号 | 名嘉村盛和：琉球大学工学部情報工学科 TEL [098] 895-8715, FAX [098] 895-8727 E-mail : morikazu@ie.u-ryukyu.ac.jp | 1月号 | A分冊 1～3月号 EA分冊 1～3月号 |

◎通信ソサイエティ

| 特集テーマ | 投稿締切日 / 分冊・発行月 | 問合せ先 | 募集案内掲載号 | |
|--------------------------------|-----------------------------------|---|---------|-----------------------------------|
| | | | 会告 | 論文誌 |
| 無線システムの進展の基盤となるアンテナ・伝搬技術特集 | ・24年1月6日(金) ・和文誌 B 24年9月号 | 西森健太郎：新潟大学工学部情報工学科 TEL [025] 262-7431, FAX [025] 262-7431 E-mail : nishimori@ie.niigata-u.ac.jp | 7月号 | B分冊 7～9月号 |
| 多様な社会要請に適応可能なインターネットアーキテクチャ特集 | ・24年1月31日(火) ・和文誌 B 24年10月号 | 山井成良：岡山大学情報統括センター TEL & FAX [086] 251-7238 E-mail : yamai@cc.okayama-u.ac.jp | 9月号 | B分冊 9～11月号 |
| アドホック・無線メッシュネットワークの新たな技術・応用小特集 | ・24年1月5日(木) ・英文誌 B 24年9月号 | 岡田 啓：名古屋大学エコトピア科学研究所 TEL [052] 789-2374, FAX [052]-789-3173 E-mail : an-ss12-kanji@mail.ieice.org | 10月号 | B分冊 10～12月号 EB分冊 10～12月号 |

| | | | | |
|----------------------------------|-----------------------------------|--|------|---------------------------------|
| 災害復興とヒューマンヘルスケア支援のための医療情報通信技術小特集 | ・24年1月16日(月) ・英文誌 B 24年10月号 | 杉本千佳：横浜国立大学大学院工学研究院 TEL [045] 339-4141 E-mail : mict2012special@ml.ynu.ac.jp | 11月号 | B分冊 11～1月号 EB分冊 11～1月号 |
| ユビキタス・センサネットワークを支えるシステム開発論文特集 | ・24年2月1日(水) ・和文誌 B 24年11月号 | 猿渡俊介：東京大学先端科学技術研究センター TEL [03] 5452-5368 E-mail : usn-12@mail.ieice.org | 11月号 | B分冊 11～1月号 EB分冊 11～1月号 |
| JC-SAT 2011 関連衛星通信技術小特集 | ・24年3月16日(金) ・英文誌 B 24年11月号 | 高山佳久：情報通信研究機構ワイヤレスネットワーク研究所宇宙通信システム研究室 TEL [042] 327-5450, FAX [042] 327-6825 E-mail : sat_ac-jc@mail.ieice.org | 12月号 | B分冊 12～2月号 EB分冊 12～2月号 |
| 無線通信のための符号化及び符号理論に基づく信号処理小特集 | ・24年4月13日(金) ・英文誌 B 24年12月号 | 山里敬也：名古屋大学教養教育院教養教育推進室教材開発部門 TEL [052] 747-6596, FAX [052] 789-3173 E-mail : rcs_ac-ss@mail.ieice.org | 1月号 | B分冊 1～3月号 EB分冊 1～3月号 |
| ネットワーク社会の更なる発展を支える光通信技術特集 | ・24年6月11日(月) ・和文誌 B 25年3月号 | 可見淳一：NTT アクセスサービスシステム研究所 TEL [046] 859-2196 E-mail : kani.junichi@lab.ntt.co.jp 宮田英之：富士通研究所ネットワークシステム研究所 TEL [044] 754-2636 E-mail : hmiyata@jp.fujitsu.com | 1月号 | B分冊 1～3月号 EB分冊 1～3月号 |

◎エレクトロニクスソサイエティ

| 特集テーマ | 投稿締切日 / 分冊・発行月 | 問合せ先 | 募集案内掲載号 | |
|-------------------------------|-----------------------------------|--|---------|---------------------------------|
| | | | 会告 | 論文誌 |
| 最新マイクロ波ミリ波技術小特集 | ・24年2月15日(水) ・英文誌 C 24年10月号 | 堀井康史：関西大学総合情報学部 TEL [072] 690-2476 E-mail : horii@res.kutc.kansai-u.ac.jp | 11月号 | C分冊 11～1月号 EC分冊 11～1月号 |
| 電子ディスプレイ小特集 | ・24年2月24日(金) ・英文誌 C 24年11月号 | 山口留美子：秋田大学大学院工学資源学研究所電気電子工学科専攻 TEL [018] 889-2483 E-mail : yrumiko@ipc.akita-u.ac.jp | 11月号 | C分冊 11～1月号 EC分冊 11～1月号 |
| 高密度実装を牽引する材料技術とヘテロインテグレーション特集 | ・24年2月29日(水) ・和文誌 C 24年11月号 | 福島誉史：東北大学未来科学技術共同研究センター TEL [022] 795-4119, FAX [022] 795-6907 E-mail : fukushima@bmi.niche.tohoku.ac.jp | 12月号 | C分冊 12～2月号 |
| 電磁界理論の進展とその応用小特集 | ・24年3月26日(月) ・英文誌 C 25年1月号 | 藤崎清孝：九州大学大学院システム情報科学研究センター情報知能工学部門 TEL [092] 802-3636, FAX [092] 802-3600 E-mail : fujisaki@ait.kyushu-u.ac.jp | 12月号 | C分冊 12～2月号 EC分冊 12～2月号 |
| マイクロ波論文(大学発)特集 | ・24年3月30日(金) ・和文誌 C 24年12月号 | 川上憲司：三菱電機(株)情報技術総合研究所光・マイクロ波回路技術部 TEL [0467] 41-2549 E-mail : Kawakami.Kenji@dc.mitsubishielectric.co.jp | 1月号 | C分冊 1～3月号 |

◎情報・システムソサイエティ

| 特集テーマ | 投稿締切日 / 分冊・発行月 | 問合せ先 | 募集案内掲載号 | |
|-----------------------------|----------------------------------|--|---------|---------------------------------|
| | | | 会告 | 論文誌 |
| ヒューマンコミュニケーション特集 | ・24年3月28日(水) ・和文誌 D 25年1月号 | 安藤英由樹：大阪大学 TEL [06] 6879-7830 E-mail : hide@ist.osaka-u.ac.jp | 12月号 | D分冊 12～2月号 |
| 顔の知覚と認知小特集 | ・24年6月10日(日) ・英文誌 D 25年3月号 | 鈴木健嗣：筑波大学システム情報系 TEL [029] 853-5761, FAX [029] 853-5761 E-mail : kenji@ieee.org | 12月号 | D分冊 12～2月号 ED分冊 12～2月号 |
| 理論計算機科学～アルゴリズムと計算理論の新展開～小特集 | ・24年3月28日(水) ・英文誌 D 25年3月号 | 堀山貴史：埼玉大学大学院理工学研究科 TEL [048] 858-3957, FAX [048] 858-3957 E-mail : horiyama@al.ics.saitama-u.ac.jp | 1月号 | D分冊 1～3月号 ED分冊 1～3月号 |
| 学生論文特集 | ・24年6月3日(日) ・和文誌 D 25年3月号 | (社)電子情報通信学会 和文論文誌 D 担当 TEL [03] 3433-6692 E-mail : wabun-d1@ieice.org | 1月号 | D分冊 1～3月号 |

通信ソサイエティオンラインジャーナル

IEICE Communications Express (ComEX)

創刊のお知らせ

IEICE Communications Express 編集委員会
編集委員長 菊間信良

■ 創刊の主旨

英文論文誌 B では、毎年、数多くのレターが投稿されております。レターを投稿された著者は、迅速な研究成果の公表と優先性の確保を主たる目的とされているものと思っております。

そのニーズに応え、更なる掲載までの期間の短縮を図るため、通信ソサイエティでは 2012 年 6 月より、ウェブを用いた英文オンラインジャーナル IEICE Communications Express (ComEX) を創刊することとなりました。ComEX では、採録が決定したレターは、校正後、随時掲載致します。したがって、迅速な成果公開が可能です。なお、ComEX 創刊に伴い、2012 年 5 月 31 日付で英文論文誌 B のレター（研究速報）の投稿受付は停止致します。

ComEX では、エレクトロニクスソサイエティのオンラインジャーナル IEICE Electronics Express (ELEX) と同様に文字数、図表点数に制約を加えたフォーマットを採用した点が、英文論文誌 B のレターからの大きな変更点となります。ただし、著者の皆様に、新規性、有効性の主張点を簡潔に記述して頂くことで、よりスピーディで正確な査読・編集作業が実現できるものと考えております。

しばらくの間、会員 / 非会員にかかわらず閲覧可能となります。また、2013 年 5 月 31 日までに投稿頂いたものに対しては掲載料を半額とします。皆様からの最新の研究成果の御投稿をお待ちしております。

対象分野 ▶

英文論文誌 B が網羅する全ての分野

スケジュール ▶

投稿受付開始：2012 年 3 月 1 日

ComEX 創刊：2012 年 6 月 1 日

問合せ先 ▶

電子情報通信学会出版事業部 (comex@ieice.org)



ComEX ウェブサイト
(<http://www.comex.ieice.org/>)



ComEX 原稿サンプル

■ IEICE Communications Express 編集委員会 (2011 年 12 月 1 日現在)

編集委員長：菊間信良 (名工大)

編集副委員長：山田寛喜 (新潟大), 太田能 (神戸大)

編集委員：大槻知明 (慶大), 上山憲昭 (NTT), 関口高志 (三菱), 関屋大雄 (千葉大), 関谷勇司 (東大), 太郎丸真 (福岡大), 長谷川幹雄 (東京理科大), 原井洋明 (NICT), 萬代雅希 (上智大), 藤元美俊 (福井大), 松本隆太郎 (東工大), 米永一茂 (NTT), Jian Yang (清華大)



FIT2012 第11回情報科学技術フォーラム 査読付き論文・一般論文 講演募集予告

会 期：2012年9月4日(水)～6日(金)
会 場：法政大学(東京都小金井市梶野町3-7-2)

FIT2012 Web ページ <http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2012/>

査読付き論文受付期間(予定)：2012年3月7日(水)～4月18日(水)
一般論文 受付期間(予定)：2012年4月25日(水)～5月24日(月)

◆論文ページ数：2～8 ページ程度 ◆講 演 時 間：20 分
◆3 ページ目以降はエクストラページ料金(3,000 円/ページ)が必要です

電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ(ISS)並びにヒューマンコミュニケーショングループ(HCG)と情報処理学会(IPSJ)とは、2002年から合同で毎年秋季に、「情報科学技術フォーラム(FIT: Forum on Information Technology)」を開催しており、2012年9月には第11回目を法政大学で開催します。

本フォーラムは、両学会の大会の流れをくむものですが、従来の大会の形式にとらわれずに、新しい発表形式を導入し、タイムリーな情報発信、活気ある議論・討論、多彩な企画、他分野研究者との交流、などを実現してきております。

皆様の研究成果発表の場として、標記のとおり論文発表を募集致しますので奮って御応募下さい。

●申込主要日程(予定) ※査読付き論文と一般論文では、登録申込/投稿受付開始時期が異なりますので御注意下さい。

■査読付き論文

登録申込/投稿受付開始：2012年3月7日(水)
登録申込締切/査読用原稿の投稿締切
：2012年4月18日(水)
査読の採否結果通知：2012年6月20日(水)
論文誌への推薦可否結果通知(推薦希望者のみ)
：2012年6月22日(金)
最終掲載原稿締切：2012年7月2日(月)

■一般論文

登録申込/投稿受付開始：2012年4月25日(水)
登録申込締切：2012年5月25日(木)
最終掲載原稿締切：2012年7月2日(月)

※登録申込と原稿投稿は、上記のFIT2012 Web ページよりお願い致します。

※登録申込、原稿投稿要領の詳細は、決定次第 FIT2012 Web ページでお知らせ致します。

●査読付き論文(4～8 ページ程度)

査読付き論文は、FIT 設立に伴い新たに導入された企画です。

査読者や読者に研究内容が十分に伝わるように、最大8ページ程度に制限緩和された論文ページ数を活用して下さい。また、採録された論文の中から、査読会議において各分野の応募総数の5%を上限として優秀な論文を推薦、その中から船井ベストペーパー賞3件程度、FIT 論文賞7件程度を選定し、表彰式(FIT2012 会期中)にて表彰致します。船井ベストペーパー賞受賞論文には船井情報科学振興財団より賞金20万円、FIT 論文賞受賞論文には FIT 推進委員会より賞金5万円を贈呈します。皆様、是非ともチャレンジして下さい。

なお、査読付き論文に投稿されて不採録となった場合には、一般論文として扱います(一般論文発表となります)。

※一部の研究分野では査読付き論文の募集を致しません。査読付き論文の募集を行う研究分野については、Web ページを御覧下さい。

●論文誌への道! 「FIT 査読付き論文」論文誌推薦制度(6～8 ページ程度)

FIT では、情報分野のより一層の活性化を目的として、「FIT 査読付き論文」について優秀な論文を FIT として電子情報通信学会または情報処理学会の論文誌へ推薦する制度がございます。

「FIT 査読付き論文」の申込みと併せて「論文誌への推薦希望」も受け付け致しますので、御希望の方は、Web からの講演申込みの際に「論文誌への推薦希望」欄にチェックを入れて下さい。論文誌へ推薦されるためには、完成度の高い論文であることが求められます。論文誌への推薦可否結果は、2012年6月22日(金)に推薦を希望された皆様にお知らせする予定です。本制度を利用し是非チャレンジして下さい。

※論文誌掲載の採否は、それぞれの学会の論文誌編集委員会が決定致します。

●一般論文(2～8 ページ程度)

当該 FIT での発表件数の1.5%を上限として、2012年12月31日現在で33歳未満の講演者(査読付き論文及び一般論文)を対象に優れた発表を選定し、ヤングリサーチャー賞(賞金3万円)として FIT2013 の表彰式で贈呈します。

●問合せ先(FIT2012 幹事学会)

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館101号室
社団法人 電子情報通信学会 集会事業部 TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659 E-mail: ieicefit@ieice.org